

## 第11回福島県「県民健康管理調査」検討委員会 次第

日 時：平成25年6月5日(水)10:15~12:30

場 所：コラッセふくしま5階 研修室

### 1 開会

### 2 座長選出等

- ・ 座長選出（委員互選）
- ・ 座長代行、議事録署名人指名

### 3 議事

(1) 基本調査について

(2) 詳細調査について

- ① 甲状腺検査
- ② 健康診査
- ③ こころの健康度・生活習慣に関する調査
- ④ 妊産婦に関する調査

(3) その他

### 4 閉会

## 「県民健康管理調査」検討委員会設置要綱

### (設置)

第1条 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、もって、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることを目的として、福島県が実施する「県民健康管理調査（以下、「調査」という。）」に関し、専門的見地から広く助言等を得るために、「県民健康管理調査」検討委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事項を所掌する。

- (1) 調査の実施方法等の検討に関すること。
- (2) 調査の進捗管理及び評価に関すること。
- (3) その他、調査の実施に必要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 委員会は、知事が指名する有識者により構成する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、任期期間中において、新たに指名された委員の任期は、他の委員と同じとする。
- 3 委員は、再任されることができる。
- 4 委員会に座長を置き、委員の互選によってこれを定める。
- 5 座長は、委員会の会務を総理する。
- 6 委員会に座長代行を置き、座長がこれを指名する。
- 7 座長に事故があるとき又は座長が欠けたときは、座長代行が、その職務を代理する。

### (運営)

第4条 委員会の会議は、座長が招集する。ただし、委員の任期満了に伴い新たに組織された委員会の最初に開催される会議は、知事が招集する。

- 2 座長は、委員会の会議の議長となる。
- 3 座長は、必要があると認めるときは、委員会の会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

### (部会)

第5条 委員会は、専門的な事項について検討をするため、部会を設置することができる。部会の設置に必要な事項については知事が別に定める。

### (事務局)

第6条 委員会の庶務を処理するため、福島県保健福祉部健康衛生総室に委員会の事務局を置く。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、知事が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成23年5月19日から施行する。

### 附 則

- 1 この要綱は、平成25年4月17日から施行する。
- 2 この要綱の施行日以後最初の指名があるまでの間、委員の任期は、改正後の要綱第3条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

## 「県民健康管理調査」検討委員会運営要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、「県民健康管理調査」検討委員会設置要綱（以下、「要綱」という。）第7条の規定に基づき、「県民健康管理調査」検討委員会（以下、「委員会」という。）の運営について、必要な事項を定めるものとする。

### (開催)

第2条 委員会は、定例会及び臨時会として開催する。

- 2 定例会は、年4回（概ね5月、8月、11月、2月）開催する。
- 3 臨時会は、前項の定例会開催以外に座長が必要と認めた場合に開催するものとする。
- 4 委員会の開催にあたっては、緊急の場合を除き、開催日の属する週の2週前の金曜日までに、報道機関への資料提供、県政情報センター、福島県ホームページに掲示することにより周知を行う。

### (公開)

第3条 委員会は、原則として公開するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、議長が会議に諮って、全部又は一部を公開しないことができる。

- (1) 委員会において、福島県情報公開条例（平成12年福島県条例第5号）第7条各号に定める不開示事由に該当する情報（以下、「不開示情報」という。）に関し審議を行う場合
  - (2) 委員会を公開することにより、公正又は円滑な議事運営に著しい支障が生じると認められる場合
- 2 全部又は一部を公開しないとした場合のオブザーバーの取扱については、議長が会議に諮って決定する。

### (資料)

第4条 委員会の資料は、次の各号のいずれかに該当する場合を除き原則として公開するものとする。

- (1) 福島県情報公開条例第7条各号に定める不開示事由に該当する情報に関する資料
- (2) 前条第1項第2号において使用した資料（ただし、委員会において公開することとしたものを除く）
- (3) 計数が確定していない資料等公開することが適当でない資料

### (議事録)

第5条 委員会を開催した場合は、議事録を作成する。

- 2 議事録は、事務局で案を作成し、議長が委員会で指名した2名の議事録署名人の確認を得る。
- 3 議事録は、作成後すみやかに福島県ホームページに掲示し公開する。
- 4 前項の場合において、委員会の全部又は一部を公開せずに行った審議の内容については、議事録の内容に代えて、次の事項を記載する。
  - (1) 委員会の全部又は一部を公開せずに開催した理由
  - (2) 審議の概要
  - (3) 審議において使用した資料の名称

### 附 則

この要領は、平成25年4月18日から施行する。

# 「県民健康管理調査」検討委員会委員 名簿

50音順、敬称略

	氏 名	所 属
1	アガシ 真言 明石 真言	独立行政法人 放射線医学総合研究所 理事
2	イサカ アキラ 井坂 晶	双葉郡医師会 顧問
3	イバ トシヤ 稲葉 俊哉	国立大学法人 広島大学 原爆放射線医科学研究所長・教授
4	カサガ フミコ 春日 文子	日本学術会議 副会長 (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長)
5	コダマ カズノリ 見玉 和紀	公益財団法人 放射線影響研究所 主席研究員
6	サウ トシノブ 佐藤 敏信	環境省 環境保健部長
7	シミズ カズオ 清水 一雄	学校法人 日本医科大学 内分泌・心臓血管・呼吸器外科統括責任者 内分泌外科学大学院教授 日本甲状腺外科学会理事長
8	シミズ シウジ 清水 修二	国立大学法人 福島大学 人文社会学群経済経営学類 教授
9	タカムラ ノボル 高村 昇	国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授 福島県放射線リスク管理アドバイザー
10	ツガネ シウイチロウ 津金 昌一郎	独立行政法人 国立がん研究センター がん予防・検診研究センター長
11	トナミ シンジ 床次 眞司	国立大学法人 弘前大学 被ばく医療総合研究所 放射線物理学部門 教授
12	ナルイ カナエ 成井 香苗	福島県臨床心理士会 副会長
13	ホシ ホト 星 北斗	社団法人 福島県医師会 常任理事
14	マハラ 和乎 前原 和乎	社団法人 福島県病院協会 会長
15	ムツキ ジュン 室月 淳	地方独立行政法人 宮城県立こども病院産科部長 国立大学法人 東北大学大学院医学系研究科先進発達医学講座胎児医学分野教授

# 第11回福島県「県民健康管理調査」検討委員会 出席者名簿

平成25年6月5日  
50音順、敬称略

○委員

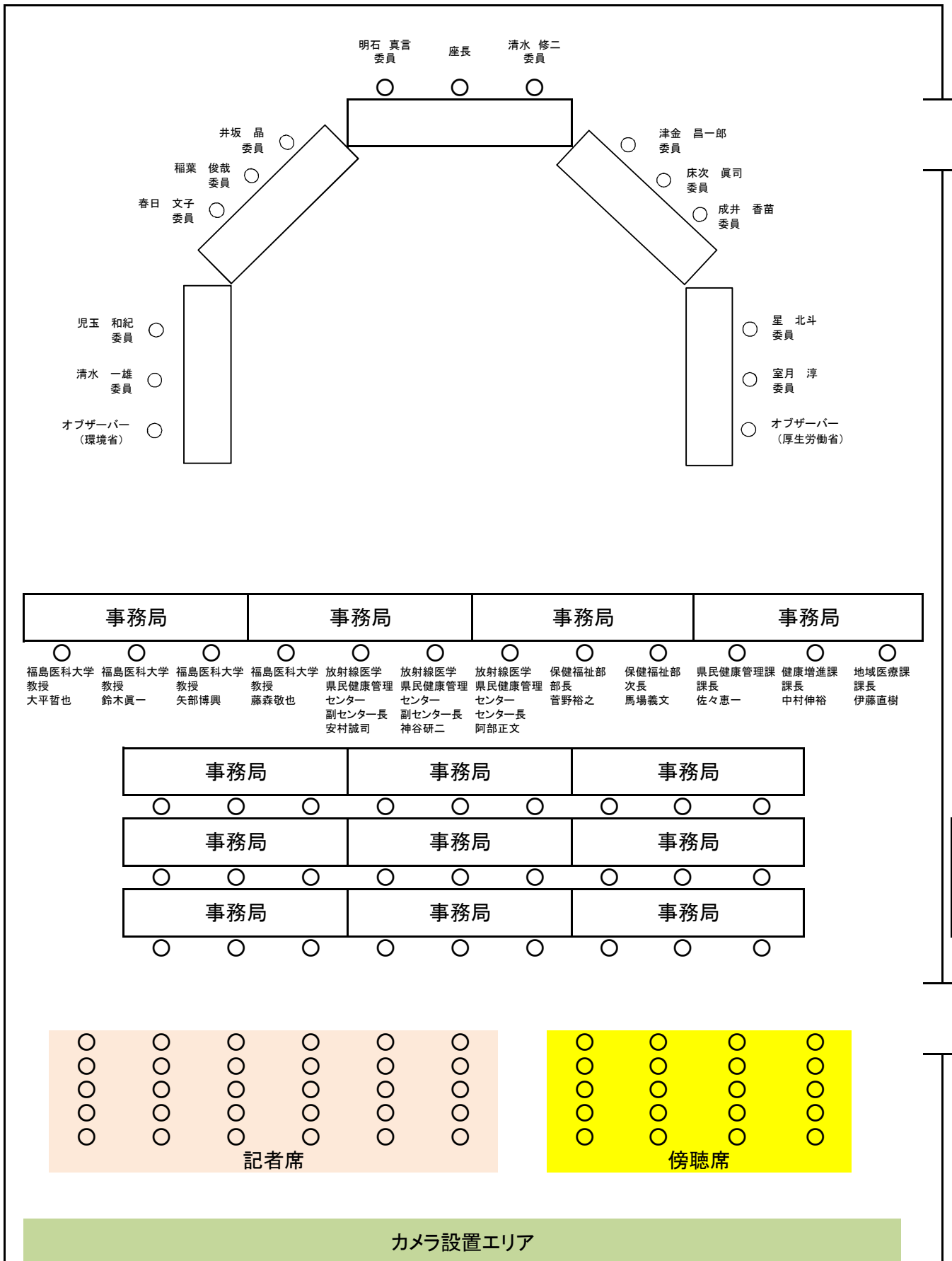
氏名	所属	出欠
明石 真言	独立行政法人 放射線医学総合研究所 理事	出席
井坂 晶	双葉郡医師会 顧問	出席
稲葉 俊哉	国立大学法人 広島大学 原爆放射線医科学研究所長・教授	出席
春日 文子	日本学術会議 副会長 (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長)	出席
児玉 和紀	公益財団法人 放射線影響研究所 主席研究員	出席
佐藤 敏信	環境省 環境保健部長	欠席
清水 一雄	学校法人 日本医科大学 内分泌・心臓血管・呼吸器外科統括責任者 内分泌外科学大学院教授 日本甲状腺外科学会理事長	出席
清水 修二	国立大学法人 福島大学 人文社会学群経済経営学類 教授	出席
高村 昇	国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授 福島県放射線リスク管理アドバイザー	欠席
津金 昌一郎	独立行政法人 国立がん研究センター がん予防・検診研究センター長	出席
床次 眞司	国立大学法人 弘前大学 被ばく医療総合研究所 放射線物理学部門 教授	出席
成井 香苗	福島県臨床心理士会 副会長	出席
星 北斗	社団法人 福島県医師会 常任理事	出席
前原 和平	社団法人 福島県病院協会 会長	欠席
室月 淳	地方独立行政法人 宮城県立こども病院産科部長 国立大学法人 東北大学大学院医学系研究科先進発達医学講座胎児医学分野教授	出席

○オブザーバー

氏 名	所 属
桐生 康生	環境省 総合環境政策局環境保健部 放射線健康管理担当 参事官
野村 知司	厚生労働省 厚生科学課 健康危機管理対策室長

# 第11回福島県「県民健康管理調査」検討委員会 座席表

会場：コラッセふくしま 5階研修室  
 開催時刻：平成25年6月5日(水) 10:15~12:30



1 問診票の回答状況及び線量推計作業状況

(1) 問診票の回答状況

平成25年3月31日現在、全県ベースでは対象者2,056,994人のうち、481,423人から回答が寄せられ、回答率は23.4%となっている。

先行調査地区（川俣町山木屋地区、浪江町、飯館村）では、回答率が半数を超える58.2%に達しているのに対し、先行地区を除く全県民調査においては、22.9%に留まっている。相双地区では42%に達している一方、会津・南会津地区においては13～15%台であるなど、地域による偏りがみられる。（表1）

(2) 線量推計作業・結果通知

回答された問診票の行動記録をデジタルデータ化し、（独）放射線医学総合研究所が開発した評価システムを用いて外部被ばく積算実効線量を推計しているが、3月末現在、回答数481,423件のうち87.4%にあたる420,543件の推計作業が完了しており、うち410,539件が結果通知済みとなっている。（表1）

表1 基本調査問診票 回答・線量推計・結果通知 H25. 3.31現在

調査区分		調査対象者数 a	回答数 b	回答率 c=b/a	線量推計済数 d	推計率 e=d/b	結果通知済数 f	通知率 g=f/b
先行調査	川俣町(山木屋) 浪江町, 飯館村	29,044	16,905	58.2%	16,208	95.9%	15,957	94.4%
全県民調査 (先行地区を除く)	県北	504,291	132,702	26.3%	120,537	90.8%	117,432	88.5%
	県中	560,116	116,076	20.7%	101,702	87.6%	100,335	86.4%
	県南	152,776	26,830	17.6%	23,485	87.5%	23,019	85.8%
	会津	267,696	40,272	15.0%	34,460	85.6%	33,458	83.1%
	南会津	30,831	4,128	13.4%	3,589	86.9%	3,521	85.3%
	相双	168,409	70,762	42.0%	58,460	82.6%	55,406	78.3%
	いわき	343,831	73,748	21.4%	62,102	84.2%	61,411	83.3%
計	2,027,950	464,518	22.9%	404,335	87.0%	394,582	84.9%	
合計	2,056,994	481,423	23.4%	420,543	87.4%	410,539	85.3%	

※市町村別の状況は、別添資料1のとおり。

(3) 一時滞在者等からの問診票提出状況等

震災当時県内に滞在されていた方や住民票を置かずに居住されていた方に対し、希望により問診票を送付しているが、これまで2,064件の回答が寄せられ、1,589件、77.0%の推計が完了し、順次、通知作業を行っている。

(表2)

表2 一時滞在者からの問診票回答・線量推計・結果通知 平成25年3月31日現在

発送数 a	回答数 b	回答率 c=b/a	線量推計済数 d	推計率 e=d/b	結果通知済数 f	通知率 g=f/b
3,789	2,064	54.5%	1,589	77.0%	1,478	71.6%

(4) 線量推計作業及び結果通知の今後の見通し

線量推計の基礎となる行動記録のデジタル化に際して、行動記録が大きく欠落しているものや、場所が曖昧で位置（緯度経度）が特定できないもの等については、電話や文書により直接本人から確認し追記する「補記」作業を行っている。

その対象件数は全体の約16%、約76,000件だったが、「補記」作業の進捗に伴い、3月末における残件数は約46,000件となっている。

問診票に電話番号の記載がない等、「補記」作業が困難なものもあり、一定程度時間を要しているが、今後も直接確認が出来た分から順次、デジタル化を行い通知作業を実施していく。



## 2 実効線量推計結果の状況

累計420,543人の推計を行い、そのうち放射線業務従事経験者を除く411,922人の推計結果は、県北・県中地区では90%以上の方が2mSv未満、県南地区では約91%の方が、会津・南会津地区では99%以上の方が1mSv未満となり、相双地区は約78%の方が、いわき地区でも99%以上の方が1mSv未満となっている。(表3)

実効線量 (mSv)	全データ	放射線業務従事経験者を除く										「放射線業務従事経験者を除く」の地域別内訳(%は地域ごとの線量割合)			
		県北 (注1)		県中		県南		会津		南会津		相双 (注2)		いわき	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～1未満	277,356	271,820	66.0%	59,857	59.5%	21,237	91.4%	33,935	99.6%	3,536	99.4%	54,236	77.8%	60,466	99.2%
～2未満	121,174	119,033	28.9%	35,168	35.0%	1,989	8.6%	146	0.4%	22	0.6%	11,563	16.6%	436	0.7%
～3未満	18,591	18,261	4.4%	5,337	5.3%	10	0.0%	3	0.0%	0	—	1,787	2.6%	19	0.0%
～4未満	1,346	1,280	0.3%	245	0.2%	0	—	1	0.0%	0	—	643	0.9%	3	0.0%
～5未満	577	544	0.1%	5	0.0%	0	—	0	—	0	—	504	0.7%	0	—
～6未満	456	407	0.1%	2	0.0%	0	—	0	—	0	—	387	0.6%	0	—
～7未満	256	227	0.1%	0	—	0	—	0	—	0	—	222	0.3%	0	—
～8未満	145	114	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	113	0.2%	0	—
～9未満	114	79	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	79	0.1%	0	—
～10未満	66	42	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	42	0.1%	0	—
～11未満	70	42	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	42	0.1%	0	—
～12未満	40	27	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	26	0.0%	0	—
～13未満	35	14	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	14	0.0%	0	—
～14未満	32	10	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	10	0.0%	0	—
～15未満	30	11	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	11	0.0%	0	—
15以上～	255	11	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	11	0.0%	0	—
計	420,543	411,922	100.0%	100,614	100%	23,236	100%	34,085	100%	3,558	100%	69,690	100%	60,924	100%
最高値	66mSv	25mSv	100.0%	5.9mSv	100%	2.6mSv	100%	3.6mSv	100%	1.6mSv	100%	25mSv	100%	3.9mSv	100%

※線量別分布状況、年齢別・男女別内訳は、別添資料2、3のとおり。市町村内訳は、別添資料4のとおり。

### 3 実効線量推計結果の評価

実効線量の推計結果に関しては、これまでと同様の傾向にあると言える。

これまでの疫学調査により100mSv以下での明らかな健康への影響は確認されていないことから、4ヶ月間の積算実効線量推計値ではあるが、「放射線による健康影響があるとは考えにくい」と評価される。

### 4 回答率の向上に向けて

各種機会を捉えて基本調査の趣旨（今後の健康管理の基礎資料であり、外部被ばく線量を知る唯一の機会であること、個人の行動により推計値が異なるため個々の記入が必要なこと等）の周知を図り、市町村等と連携しながら、回答率向上に向けた各種取り組みを展開している。

直近の取り組みとしては1月より、仮設住宅等避難者への戸別訪問による「書き方支援」を業務委託により実施した。また、市町村を通じたアプローチとして、役場等公的機関への書き方相談コーナーの設置や、市町村広報誌等を通じた「出前書き方説明会・相談会の開催」の呼びかけを実施している。

引き続き、対面式での記入支援要望に合わせた事業展開を中心とし、回答率向上に努めていく。

(平成25年3月31日現在)

活動区分	活動内容	場所及び期間	回数等	備考
県民への直接アプローチ	仮設住宅等避難者への戸別訪問による「書き方支援」（業務委託）	県内仮設住宅等 平成25年1月21日～3月29日	-	対象者 約12,000人
	甲状腺検査会場での啓発（2次検査含む）	福島市内 平成24年6月6日～平成25年3月18日	41回	対象者 約2,700人
	よるず健康相談、面接調査等実施箇所での「書き方相談コーナー」	いわき市・二本松市他 平成24年10月11日～11月22日	17回	対象者 約850人
	県内看護学生・他県学生による仮設住宅戸別訪問ボランティア活動	福島市宮代仮設住宅他 平成24年4月21日～8月23日	12回	ボランティア協力 延べ182人
	ふるさと絆情報ステーションにおける「書き方相談コーナー」設置	福島市内及び郡山市内 平成24年7月2日～8月31日	30回	対象者 約4,000人
	病院来院者に対する「書き方相談コーナー」設置	医大附属病院ロビー 平成24年5月28日～5月30日	3回	対象者 約750人
市町村を通じたアプローチ	市町村広報誌による「出前書き方説明会・相談会の開催」呼びかけ	県内全市町村対象 平成24年11月27日～平成25年3月29日	58回	平成24年12月号より掲載
	市町村主催イベントでの啓発活動	中島村、矢吹町 平成24年11月3日～11月11日	2回	要望に応じて対応
	書き方相談コーナーの設置（飯舘村、郡山市、福島市、いわき市）	県内の各地域 平成24年5月28日～平成25年3月29日	70回	対象者 約10,100名
企業等を通じたアプローチ	企業に対する書き方説明会の実施	福島市、郡山市他 平成24年9月12日～平成25年2月5日	11回	対象者（参加者） 約700名
	企業・団体への訪問要請	県内一円 平成24年2月1日～平成25年3月29日	495回	企業訪問強化策 447回 医大による訪問 48回
	アドバイザーグループ講演会実施時における書き方説明会	福島市 平成24年7月3日～7月26日	3回	対象者 約330名
メディアによるアプローチ	ラジオによる広報（40秒・60秒CMや制作番組放送）	県内全域 平成24年3月10日～平成25年3月29日	1日 1回程度	県内一円（白羽ゆり・西田敏行氏ら出演）
	新聞・テレビによる報道（書き方相談・戸別訪問等の取材による）	-	新聞32回 テレビ22回 ラジオ13回	県政放送、県政CM、企業等との包括協定によるポスター掲示等も対応

## 5 問診票記入をより容易にするための方策（※「問診票－簡易版－」）について

避難等により居住地を移動しなかった方などに配慮した、例えば初期の2週間の1時間ごとの詳細な行動記録から、行動パターンに沿った簡単な書き方ができないかや、その他の部分も簡略記載できるところはないか、また比較的再検数が多い質問項目において、より明確な記述にできるところはないかなど検討を行い、「問診票－簡易版－」を作成した。

現行の問診票と新たに作成した簡易版の両方について調査を行い、実際の推計にどのような影響があるのかなどについて、現在、少人数を対象に検証を行っている。

その結果をもとに、実効性の観点から、配布方法や回答方法等について、さらに導入の是非について、判断していく。

基本調査 問診票 市町村別 回答・線量推計・結果通知 状況  
(先行十全県民)

H25. 3. 31 現在

地域区分		調査対象者数 a	回答数 b	回答率 c=b/a	線量推計済数 d	推計率 e=d/b	結果通知済数 f	通知率 g=f/b	備考
北	福島市	296,421	82,895	28.0%	76,459	92.2%	74,215	89.5%	
	二本松市	60,967	14,489	23.8%	12,856	88.7%	12,751	88.0%	
	伊達市	67,854	15,830	23.3%	13,839	87.4%	13,557	85.6%	
	本宮市	31,874	7,467	23.4%	6,528	87.4%	6,408	85.8%	
	桑折町	13,293	3,554	26.7%	3,252	91.5%	3,161	88.9%	
	国見町	10,342	2,687	26.0%	2,435	90.6%	2,355	87.6%	
	川俣町	15,916	4,965	31.2%	4,486	90.4%	4,364	87.9%	
	大玉村	8,872	1,606	18.1%	1,411	87.9%	1,337	83.3%	
計	505,539	133,493	26.4%	121,266	90.8%	118,148	88.5%		
中	郡山市	341,841	74,159	21.7%	65,417	88.2%	64,532	87.0%	
	須賀川市	80,425	13,409	16.7%	11,763	87.7%	11,652	86.9%	
	田村市	41,805	10,087	24.1%	8,396	83.2%	8,303	82.3%	
	鏡石町	13,172	2,431	18.5%	2,088	85.9%	2,053	84.5%	
	天栄村	6,481	944	14.6%	739	78.3%	716	75.8%	
	石川町	17,518	3,645	20.8%	2,993	82.1%	2,926	80.3%	
	玉川村	7,385	1,275	17.3%	1,109	87.0%	1,068	83.8%	
	平田村	7,088	1,388	19.6%	1,234	88.9%	1,221	88.0%	
	浅川町	7,200	1,228	17.1%	1,100	89.6%	1,081	88.0%	
	古殿町	6,349	1,091	17.2%	970	88.9%	968	88.7%	
	三春町	19,086	4,269	22.4%	3,880	90.9%	3,809	89.2%	
小野町	11,766	2,150	18.3%	2,013	93.6%	2,006	93.3%		
計	560,116	116,076	20.7%	101,702	87.6%	100,335	86.4%		
南	白河市	65,542	11,667	17.8%	10,004	85.7%	9,817	84.1%	
	西郷村	20,137	4,107	20.4%	3,660	89.1%	3,565	86.8%	
	泉崎村	7,025	1,139	16.2%	970	85.2%	910	79.9%	
	中島村	5,316	724	13.6%	641	88.5%	638	88.1%	
	矢吹町	18,509	3,339	18.0%	2,941	88.1%	2,901	86.9%	
	棚倉町	15,416	2,306	15.0%	2,084	90.4%	2,052	89.0%	
	矢祭町	6,494	1,169	18.0%	1,058	90.5%	1,018	87.1%	
	埜町	10,125	1,714	16.9%	1,547	90.3%	1,541	89.9%	
	鮫川村	4,212	665	15.8%	580	87.2%	577	86.8%	
計	152,776	26,830	17.6%	23,485	87.5%	23,019	85.8%		
津	会津若松市	128,052	20,982	16.4%	18,395	87.7%	17,733	84.5%	
	喜多方市	53,270	6,674	12.5%	5,752	86.2%	5,597	83.9%	
	北塩原村	3,283	414	12.6%	346	83.6%	344	83.1%	
	西会津町	7,732	1,158	15.0%	952	82.2%	938	81.0%	
	磐梯町	3,897	556	14.3%	464	83.5%	455	81.8%	
	猪苗代町	16,328	2,786	17.1%	2,341	84.0%	2,299	82.5%	
	会津坂下町	17,914	2,263	12.6%	1,726	76.3%	1,694	74.9%	
	湯川村	3,524	426	12.1%	346	81.2%	315	73.9%	
	柳津町	4,081	527	12.9%	419	79.5%	415	78.7%	
	三島町	2,048	313	15.3%	235	75.1%	235	75.1%	
	金山町	2,549	530	20.8%	445	84.0%	437	82.5%	
	昭和村	1,570	316	20.1%	237	75.0%	229	72.5%	
	会津美里町	23,448	3,327	14.2%	2,802	84.2%	2,767	83.2%	
計	267,696	40,272	15.0%	34,460	85.6%	33,458	83.1%		
南会津	下郷町	6,656	895	13.4%	794	88.7%	785	87.7%	
	檜枝岐村	618	97	15.7%	83	85.6%	81	83.5%	
	只見町	5,038	788	15.6%	676	85.8%	673	85.4%	
	南会津町	18,519	2,348	12.7%	2,036	86.7%	1,982	84.4%	
計	30,831	4,128	13.4%	3,589	86.9%	3,521	85.3%		
相	相馬市	37,511	12,228	32.6%	10,412	85.1%	10,195	83.4%	
	南相馬市	70,326	29,365	41.8%	24,175	82.3%	22,566	76.8%	
	広野町	5,141	2,163	42.1%	1,484	68.6%	1,433	66.3%	
	檜葉町	8,052	4,071	50.6%	3,039	74.6%	2,969	72.9%	
	富岡町	15,794	8,462	53.6%	7,455	88.1%	7,275	86.0%	
	川内村	3,039	1,499	49.3%	1,255	83.7%	1,233	82.3%	
	大熊町	11,500	5,871	51.1%	4,665	79.5%	4,150	70.7%	
	双葉町	7,140	3,874	54.3%	3,405	87.9%	3,205	82.7%	
	浪江町	21,249	12,754	60.0%	12,274	96.2%	12,087	94.8%	
	葛尾村	1,545	797	51.6%	532	66.8%	512	64.2%	
	新地町	8,361	2,432	29.1%	2,038	83.8%	1,868	76.8%	
	飯館村	6,547	3,360	51.3%	3,205	95.4%	3,154	93.9%	
計	196,205	86,876	44.3%	73,939	85.1%	70,647	81.3%		
一い	いわき市	343,831	73,748	21.4%	62,102	84.2%	61,411	83.3%	
計	2,056,994	481,423	23.4%	420,543	87.4%	410,539	85.3%		

※先行地区（川俣町山木屋地区、浪江町及び飯館村）を含む全県ベース

県民健康管理調査 基本調査

外部被ばく線量推計結果

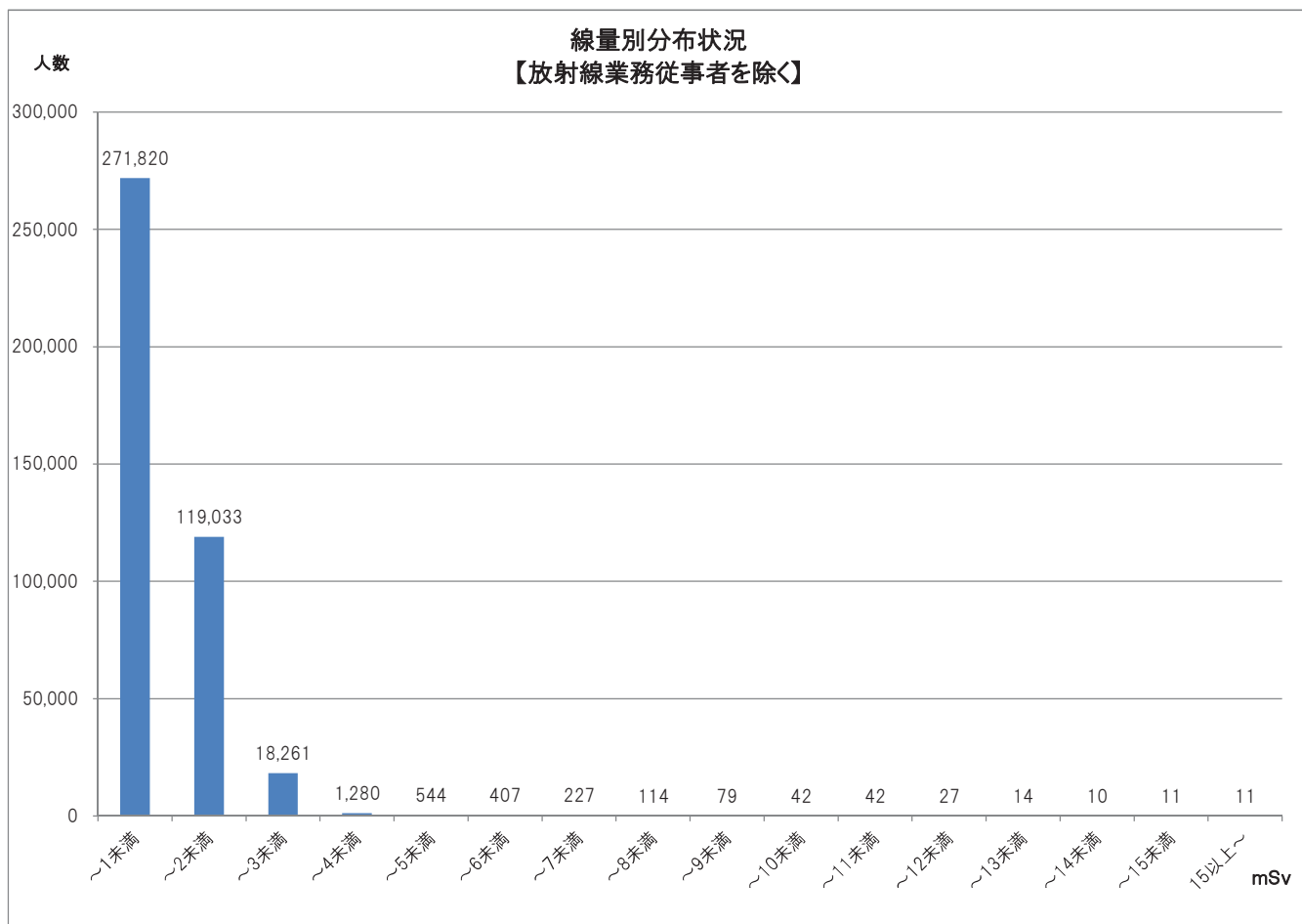
【 全県調査(先行調査+全県民調査) 】

地域別・線量別推計

平成25年3月31日現在

実効線量 (mSv)	全データ	放射線業務従 事者除く	左の内訳							放射線業務従事者除く線量別割 合(%)		
			県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき			
～1未満	277,356	271,820	38,553	59,857	21,237	33,935	3,536	54,236	60,466	66.0	94.9	99.8
～2未満	121,174	119,033	69,709	35,168	1,989	146	22	11,563	436	28.9		
～3未満	18,591	18,261	11,105	5,337	10	3	0	1,787	19	4.4	4.7	
～4未満	1,346	1,280	388	245	0	1	0	643	3	0.3		
～5未満	577	544	35	5	0	0	0	504	0	0.1	0.2	
～6未満	456	407	18	2	0	0	0	387	0	0.1		
～7未満	256	227	5	0	0	0	0	222	0	0.1	0.1	
～8未満	145	114	1	0	0	0	0	113	0	0.0		
～9未満	114	79	0	0	0	0	0	79	0	0.0	0.0	
～10未満	66	42	0	0	0	0	0	42	0	0.0		
～11未満	70	42	0	0	0	0	0	42	0	0.0	0.0	
～12未満	40	27	1	0	0	0	0	26	0	0.0		
～13未満	35	14	0	0	0	0	0	14	0	0.0	0.0	
～14未満	32	10	0	0	0	0	0	10	0	0.0		
～15未満	30	11	0	0	0	0	0	11	0	0.0	0.0	
15以上～	255	11	0	0	0	0	0	11	0	0.0		
計	420,543	411,922	119,815	100,614	23,236	34,085	3,558	69,690	60,924	100.0	100.0	100.0
最高値	66	25	11	5.9	2.6	3.6	1.6	25	3.9			

※割合(%)は線量別に端数処理を行っている



## 年齢別・線量別 内訳【放射線業務従事者を除く】

平成25年3月31日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									計
	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	
～1未満	30,387	25,394	19,735	31,055	26,456	33,705	44,690	35,809	24,589	271,820
～2未満	14,005	12,223	8,491	15,617	14,577	16,715	18,506	12,001	6,898	119,033
～3未満	3,432	1,913	907	1,951	1,874	2,545	3,012	1,811	816	18,261
～4未満	154	113	77	132	136	226	212	158	72	1,280
～5未満	22	52	36	42	77	105	88	75	47	544
～6未満	17	19	23	33	46	95	81	65	28	407
～7未満	4	6	11	18	27	44	57	39	21	227
～8未満	2	7	6	7	14	31	20	18	9	114
～9未満	1	6	3	6	8	18	15	10	12	79
～10未満	0	0	1	2	4	11	12	8	4	42
～11未満	1	1	1	1	10	12	6	7	3	42
～12未満	0	0	0	2	0	6	10	8	1	27
～13未満	0	0	0	0	1	6	4	2	1	14
～14未満	0	0	1	1	0	5	3	0	0	10
～15未満	0	0	0	0	0	6	4	1	0	11
15以上～	0	1	0	0	2	2	5	0	1	11
計	48,025	39,735	29,292	48,867	43,232	53,532	66,725	50,012	32,502	411,922

男女別・線量別 内訳  
【放射線業務従事者を除く】

平成25年3月31日現在

実効線量 (mSv)	男女別				計	左の線量別 割合(%)
	男性	左の線量別 割合(%)	女性	左の線量別 割合(%)		
～1未満	118,743	64.4	153,077	67.3	271,820	66.0
～2未満	54,302	29.4	64,731	28.5	119,033	28.9
～3未満	9,831	5.3	8,430	3.7	18,261	4.4
～4未満	785	0.4	495	0.2	1,280	0.3
～5未満	291	0.2	253	0.1	544	0.1
～6未満	210	0.1	197	0.1	407	0.1
～7未満	129	0.1	98	0.0	227	0.1
～8未満	64	0.0	50	0.0	114	0.0
～9未満	44	0.0	35	0.0	79	0.0
～10未満	26	0.0	16	0.0	42	0.0
～11未満	29	0.0	13	0.0	42	0.0
～12未満	15	0.0	12	0.0	27	0.0
～13未満	6	0.0	8	0.0	14	0.0
～14未満	7	0.0	3	0.0	10	0.0
～15未満	7	0.0	4	0.0	11	0.0
15以上～	9	0.0	2	0.0	11	0.0
計	184,498	100.0	227,424	100.0	411,922	100.0

※割合(%)は線量別に端数処理を行っている

市町村別・評価線量別集計 (放射線業務従事者を除く)

平成25年3月31日現在

市町村名	積算線量(mSv)															計		
	～1 未満	～2 未満	～3 未満	～4 未満	～5 未満	～6 未満	～7 未満	～8 未満	～9 未満	～10 未満	～11 未満	～12 未満	～13 未満	～14 未満	～15 未満		15以上	
県北	福島市	23,954	44,630	6,728	117	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,437
	二本松市	3,137	7,154	2,365	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,720
	伊達市	5,776	6,940	876	118	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,718
	本宮市	1,580	4,106	764	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,466
	桑折町	782	2,394	55	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,232
	国見町	1,303	1,104	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,419
	川俣町	1,508	2,587	217	72	23	14	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4,428
	大玉村	513	794	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,395
<b>県北計</b>	<b>38,553</b>	<b>69,709</b>	<b>11,105</b>	<b>388</b>	<b>35</b>	<b>18</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>119,815</b>	
県中	郡山市	28,027	31,325	5,090	236	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,685
	須賀川市	9,313	2,168	182	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,667
	田村市	7,714	531	19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,266
	鏡石町	2,022	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,066
	天栄村	353	357	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	735
	石川町	2,942	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,971
	玉川村	1,085	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,098
	平田町	1,197	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,225
	浅川町	1,083	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,096
	古殿町	953	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	962
	三春町	3,224	603	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,847
	小野町	1,944	51	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,996
<b>県中計</b>	<b>59,857</b>	<b>35,168</b>	<b>5,337</b>	<b>245</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>100,614</b>	
県南	白河市	9,199	662	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,865
	西郷村	2,426	1,203	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,631
	泉崎村	948	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	964
	中島村	631	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	638
	矢吹町	2,862	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,913
	棚倉町	2,035	25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,063
	矢祭町	1,046	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,052
	塙町	1,518	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,535
	鮫川村	572	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	575
	<b>県南計</b>	<b>21,237</b>	<b>1,989</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>23,236</b>
会津	会津若松市	18,092	82	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,175
	喜多方市	5,652	26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,679
	北塩原村	342	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	344
	西会津町	946	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	946
	磐梯町	450	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	460
	猪苗代町	2,309	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,322
	会津坂下町	1,709	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,711
	湯川村	344	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	345
	柳津町	416	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	418
	三島町	234	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	234
	金山町	439	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	440
	昭和村	236	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	236
	会津美里町	2,766	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,775
<b>会津計</b>	<b>33,935</b>	<b>146</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>34,085</b>	
南会津	下郷町	789	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	791
	檜枝岐村	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82
	只見町	669	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	672
	南会津町	1,996	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,013
<b>南会津計</b>	<b>3,536</b>	<b>22</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,558</b>	
相双	相馬市	9,834	354	73	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,276
	南相馬市	17,779	5,171	402	66	28	3	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	23,458
	広野町	1,363	34	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,398
	檜葉町	2,686	109	12	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,809
	富岡町	5,499	1,003	86	13	2	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6,608
	川内村	882	286	16	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,185
	大熊町	2,864	1,083	90	12	8	4	4	1	0	2	2	0	0	1	0	0	4,071
	双葉町	2,520	416	64	16	3	3	1	4	2	1	0	0	0	0	0	0	3,030
	浪江町	8,065	2,367	477	99	48	27	27	17	12	6	13	7	5	4	4	8	11,186
	葛尾村	384	115	17	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	519
	新地町	1,992	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,009
飯館村	368	609	549	422	411	348	185	84	62	33	27	19	9	5	7	3	3,141	
<b>相双計</b>	<b>54,236</b>	<b>11,563</b>	<b>1,787</b>	<b>643</b>	<b>504</b>	<b>387</b>	<b>222</b>	<b>113</b>	<b>79</b>	<b>42</b>	<b>42</b>	<b>26</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>69,690</b>	
いわき	いわき市	60,466	436	19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,924
<b>計(A)</b>	<b>271,820</b>	<b>119,033</b>	<b>18,261</b>	<b>1,280</b>	<b>544</b>	<b>407</b>	<b>227</b>	<b>114</b>	<b>79</b>	<b>42</b>	<b>42</b>	<b>27</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>411,922</b>	
割合		66.0	28.9	4.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		94.9		4.7		0.2		0.1		0.0		0.0		0.0		0.0	100.0	
			99.8					0.2				0.0					0.0	100.0
一時滞在者等(B)		1,317	234	17	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,572
<b>計(A)+(B)</b>	<b>273,137</b>	<b>119,267</b>	<b>18,278</b>	<b>1,282</b>	<b>545</b>	<b>407</b>	<b>227</b>	<b>115</b>	<b>79</b>	<b>42</b>	<b>42</b>	<b>27</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>413,494</b>	



この問診票は見本です。この用紙に記入して送付いただいても、結果をお返すことはできません。

# 県民健康管理調査

## 基本調査問診票-簡易版-

★すでに基本調査問診票の詳細版か簡易版、いずれかを提出された方は、回答不要です。

見 本

平成23年(2011年)3月11日から7月11日までの間に、避難地域以外にお住いの方々に、震災や転勤、進学、引っ越しなどにより、住居地や日常行動パターンに大きな変更がありましたか？(あてはまる口に✓してください。) なお、震災日の行動パターンの変化は含めません。

いいえ

はい

1回大きく変わった

2回以上大きく変わった

} 次ページからの質問にお答えください。

→ 基本調査問診票(詳細版)をお送りしますので、そちらにご回答お願いいたします。以降の記載の必要ありません。

この問診票は、平成23年(2011年)3月11日の震災から同年7月11日までの4か月間に、いつ、どこにいたか(「行動記録」)から、初期の被ばく線量を推定するもので、今後の健康管理のための基礎資料の一つとなります。

問診票は、ご本人がご記入ください。ただし、未成年者については、保護者の同意のもと実施しますので、次ページの保護者署名欄にご署名の上、記入してください。なお、小学生以下については保護者の方が記入してください。また、高齢等によりご自分で記入できない場合には、家族の方や同居されている方がご記入下さい。

記入後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。

なお記載された個人情報は、健康管理に必要な場合は、お住まいの市町村の求めに応じて情報提供しますが、個人が特定される形で公開することはありません。

福 島 県  
福島県立医科大学



下線部に必要事項をご記入いただき、当てはまる口に✓を記入してください。

ご記入日： 平成____年____月____日	回答者： 1 <input type="checkbox"/> 本人 2 <input type="checkbox"/> 代理（続柄____）
ふりがな ご氏名 _____	性別： 1 <input type="checkbox"/> 男 ・ 2 <input type="checkbox"/> 女
生年月日： 1 <input type="checkbox"/> 明治・2 <input type="checkbox"/> 大正 3 <input type="checkbox"/> 昭和・4 <input type="checkbox"/> 平成 ____年____月____日	
保護者署名欄（対象者が未成年者の場合は、本調査に同意の上、保護者の方のご署名をお願いします。）  （保護者自署）_____	
本籍地(国籍)： 都・道 _____ 市・区 _____ 区・町 _____ 府・県 _____ 郡 _____ 村 _____	
平成23年3月11日現在の住民票の住所： 1 <input type="checkbox"/> 表紙の住所と同じ（記入省略できます） 〒 _____ - _____ 2 <input type="checkbox"/> 本籍地と同じ（記入省略できます）  都・道 _____ 市・区 _____ 区・町 _____ 府・県 _____ 郡 _____ 村 _____  アパート等名称・部屋番号 _____	
現在の住所： 1 <input type="checkbox"/> 表紙の住所と同じ（記入省略できます） 2 <input type="checkbox"/> 本籍地と同じ（記入省略できます） 〒 _____ - _____ 3 <input type="checkbox"/> 平成23年3月11日現在の住民票住所と同じ（記入省略できます）  都・道 _____ 市・区 _____ 区・町 _____ 府・県 _____ 郡 _____ 村 _____  アパート等名称・部屋番号 _____	
転居先住所：（転居の予定がある方は、住所が分かる範囲で下記に記入をお願いします。） 〒 _____ - _____  都・道 _____ 市・区 _____ 区・町 _____ 府・県 _____ 郡 _____ 村 _____  アパート等名称・部屋番号 _____	
転居予定日：平成____年____月____日	
連絡先（記入漏れなどの確認のために、調査担当者が連絡する際に必要となります。） 電話番号：（_____） _____ - _____（_____様方） 携帯電話： _____ - _____	
現在、同居されている方がいますか。 1 <input type="checkbox"/> 一人暮らし 2 <input type="checkbox"/> 家族と同居している（夫婦二人暮らしも含む） 3 <input type="checkbox"/> 施設で生活している 4 <input type="checkbox"/> その他（_____）	

1 震災時平成 23 年（2011 年）3 月 11 日時点でのご自宅、勤務先・通学先などの建物の構造について、当てはまる項目の口に✓を記入し、\_\_\_\_\_に必要事項を記入してください。

勤務先・通学先は、一日の生活の中で、就業や学業等で最も過ごす時間が長い建物の構造について記入願います。所在地はわかる範囲で記入してください。

その他の欄には、具体的な構造をご記入ください。

屋外のお仕事を中心の場合は屋外に✓を記入してください。

ご自宅	<p><sup>1</sup> <input type="checkbox"/> 一戸建て（鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造）</p> <p><sup>2</sup> <input type="checkbox"/> 一戸建て（その他（木造、鉄骨造、軽量鉄骨造等））</p> <p><sup>3</sup> <input type="checkbox"/> 集合住宅（鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造） （_____階建の _____階）</p> <p><sup>4</sup> <input type="checkbox"/> 集合住宅（その他（木造、鉄骨造、軽量鉄骨造等）） （_____階建の _____階）</p> <p><sup>5</sup> <input type="checkbox"/> その他（_____：_____階建の _____階）</p>
勤務先 通学先 等	<p><sup>1</sup> <input type="checkbox"/> 勤務先    <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> 通学先    <sup>3</sup> <input type="checkbox"/> その他（_____）</p> <p>勤務先・通学先等の所在地（わかる範囲で）</p> <p style="text-align: center;">             _____ 都・道                  市・区                  区・町              _____ 府・県                  郡                  村                  _____         </p> <p><sup>1</sup> <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造 （_____階建の _____階）</p> <p><sup>2</sup> <input type="checkbox"/> その他（木造、鉄骨造、軽量鉄骨造等）（_____階建の _____階）</p> <p><sup>3</sup> <input type="checkbox"/> 屋 外</p>

## 2 あなたは「放射線業務従事者」になったことがありますか？

<sup>1</sup>  いいえ

<sup>2</sup>  はい      →具体的なお仕事を書いてください（\_\_\_\_\_）

                 おおよそいつ頃（ \_\_\_\_\_ 年頃）から（ \_\_\_\_\_ 年頃、現在）まで

<sup>3</sup>  わからない →具体的なお仕事を書いてください（\_\_\_\_\_）

                 おおよそいつ頃（ \_\_\_\_\_ 年頃）から（ \_\_\_\_\_ 年頃、現在）まで





3  わからない

7 平成23年3月11日から3月末までに、自分の畑や果樹園、家庭菜園などで作られた作物(自家栽培)や、飼育している家畜の乳(原乳)などを摂取しましたか? □に✓を記入して、摂った場合は、食物は多いものから2つ、その種類と食べた回数、原乳はその種類と量について、[ ]内には具体的に記入してください。

食品の種類	区 分	
自家栽培の野菜・果物	1 <input type="checkbox"/> 食べた ↳	①種類[ ]: 1 <input type="checkbox"/> 露地 2 <input type="checkbox"/> ハウス 3 <input type="checkbox"/> 不明 どのくらい食べましたか? 小皿[ ]回、中皿[ ]回、大皿[ ]回、または [ ] 個
	2 <input type="checkbox"/> 食べなかった ↓ (次の項目へ)	②種類[ ]: 1 <input type="checkbox"/> 露地 2 <input type="checkbox"/> ハウス 3 <input type="checkbox"/> 不明 どのくらい食べましたか? 小皿[ ]回、中皿[ ]回、大皿[ ]回、または [ ] 個 (小皿は直径10cm以下、中皿は10~20cm、大皿は20cm以上として、普通に盛りつけた量を目安にしてください) (注:3月中に採れた露地もの野菜・果物についての質問です。)
飼育している家畜の乳(原乳など)	1 <input type="checkbox"/> 飲んだ ↳	家畜の種類は? <input type="checkbox"/> 乳牛、 <input type="checkbox"/> ヤギ、 <input type="checkbox"/> その他 ( ) コップ1杯を200mlと考えて、合計何杯くらい飲みましたか 約 [ ] 杯
	2 <input type="checkbox"/> 飲まなかった	なお、一般的にスーパーなどで売っている(加工)牛乳は、原乳ではありません。

お疲れ様でした。問診票を封筒に入れて返送お願いいたします。

福島県・福島県立医科大学  
県民健康管理調査



# 県民健康管理調査「甲状腺検査」の実施状況について

## 1 一次検査（県内検査）

### (1) 実施状況

- ① 平成24年度当初に予定していた市町村については、すべて計画に沿って検査を実施した。また、次ページ（2）の取り組みにより、約82%の受診率を確保すると共に、郡山市やいわき市の一部については、前倒しで検査を実施した。
- ② 平成25年度の検査は、平成25年4月22日から開始しており、平成26年3月末までに、34市町村の対象者（158,783名）に検査実施を予定している。

平成23年度 実施対象市町村(国が指定した避難区域等の13市町村)

平成25年3月31日現在

	対象者数 (人) a	受診者数 (人) b	受診率 (%) b/a	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※1				bのうち県外 居住者数 (人) c※2	県外居住者 受診数(%) c/b
				0~5歳	6~10歳	11~15歳	16~18歳		
				24.7	27.8	31.3	16.2		
川俣町	2,403	2,203	91.7	545 93.0 24.7	613 97.0 27.8	689 95.7 31.3	356 76.6 16.2	32	1.5
浪江町	3,645	3,016	82.7	844 83.5 28.0	793 86.1 26.3	855 82.8 28.3	524 76.9 17.4	1,018	33.8
飯舘村	1,090	926	85.0	244 87.8 26.3	263 87.4 28.4	259 85.5 28.0	160 76.9 17.3	57	6.2
南相馬市	12,530	9,737	77.7	2,805 76.4 28.8	2,722 79.7 28.0	2,707 82.1 27.8	1,503 70.1 15.4	2,624	26.9
伊達市	11,357	10,481	92.3	2,502 91.2 23.9	2,966 98.0 28.3	3,287 97.4 31.4	1,726 78.1 16.4	163	1.6
田村市	7,081	6,307	89.1	1,520 88.4 24.1	1,786 98.6 28.3	1,993 96.0 31.6	1,008 68.3 16.0	27	0.4
広野町	1,077	707	65.6	174 68.2 24.6	172 68.8 24.3	248 71.3 35.1	113 50.4 16.0	114	16.1
楢葉町	1,429	982	68.7	226 65.3 23.0	278 76.8 28.3	301 72.7 30.7	177 57.7 18.0	144	14.7
富岡町	2,940	1,881	64.0	478 62.2 25.4	508 69.2 27.0	593 66.9 31.5	302 54.8 16.1	420	22.3
川内村	357	253	70.9	64 71.1 25.3	80 80.8 31.6	64 71.9 25.3	45 57.0 17.8	41	16.2
大熊町	2,386	1,708	71.6	550 70.7 32.2	496 78.1 29.0	468 75.6 27.4	194 54.8 11.4	274	16.0
双葉町	1,204	782	65.0	230 62.7 29.4	198 66.9 25.3	236 70.4 30.2	118 57.3 15.1	362	46.3
葛尾村	233	176	75.5	43 76.8 24.4	52 83.9 29.6	54 80.6 30.7	27 56.3 15.3	12	6.8
その他	34	34	100.0	0 0.0 0.0	6 100.0 17.7	10 100.0 29.4	18 100.0 52.9	2	5.9
H23年度 実施対象市町村	47,766	39,193	82.1	10,225 80.7 26.1	10,933 87.1 27.9	11,764 86.7 30.0	6,271 69.9 16.0	5,290	13.5

※1 上段には受診者数を、中段には各年齢階層ごとの対象者に対する進捗率を、下段には受診者数(b)の階層別割合を記載。

※2 県外から県内に来て甲状腺検査を受けた県外居住者の人数。

● 年齢は平成23年3月11日時点の年齢。

平成24年度 実施対象市町村（いわき市は久ノ浜地区のみ）

平成25年3月31日現在

	対象者数 (人) a	受診者数 (人) b	受診率 (%) b/a	年齢階層別受診者数 (人) 年齢階層別内訳 (%) ※1				bのうち県外 居住者数 (人) c※2	県外居住者 受診数 (%) c/b
				0~5歳	6~10歳	11~15歳	16~18歳		
福島市	53,852	45,801	85.0	12,538 81.9 27.4	13,294 93.8 29.0	13,546 90.5 29.6	6,423 68.3 14.0	1,695	3.7
二本松市	10,243	8,540	83.4	2,409 86.5 28.2	2,540 95.8 29.7	2,604 88.8 30.5	987 52.6 11.6	94	1.1
本宮市	6,147	5,077	82.6	1,476 83.0 29.0	1,532 95.9 30.2	1,481 87.5 29.2	588 54.5 11.6	51	1.0
大玉村	1,620	1,341	82.8	442 90.6 33.0	389 97.7 29.0	377 87.7 28.1	133 43.8 9.9	10	0.7
郡山市	65,586	50,805	77.5	14,121 73.3 27.8	15,403 90.5 30.3	15,544 85.3 30.6	5,737 51.8 11.3	1,160	2.3
桑折町	2,058	1,777	86.3	469 89.0 26.4	523 96.5 29.4	545 92.1 30.7	240 60.5 13.5	18	1.0
国見町	1,557	1,344	86.3	336 88.7 25.0	384 96.7 28.6	437 92.6 32.5	187 60.5 13.9	10	0.7
天栄村	1,070	845	79.0	278 90.8 32.9	280 97.6 33.1	216 77.1 25.6	71 36.0 8.4	11	1.3
白河市	12,590	10,795	85.7	2,947 87.4 27.3	3,138 95.5 29.1	3,434 91.5 31.8	1,276 58.5 11.8	71	0.7
西郷村	4,021	3,541	88.1	1,060 92.0 29.9	1,044 95.9 29.5	1,016 92.4 28.7	421 61.9 11.9	26	0.7
泉崎村	1,299	1,140	87.8	345 95.0 30.3	339 96.0 29.7	307 91.1 26.9	149 60.6 13.1	5	0.4
三春町	2,879	2,440	84.8	661 88.1 27.1	714 96.4 29.3	721 88.1 29.5	344 60.4 14.1	20	0.8
いわき市	342	341	99.7	32 100.0 9.4	179 99.4 52.5	130 100.0 38.1	0 0.0 0.0	0	0.0
H24年度 実施対象市町村	163,264	133,787	81.9	37,114 79.1 27.7	39,759 92.5 29.7	40,358 87.6 30.2	16,556 57.8 12.4	3,171	2.4
合計	211,030	172,980	82.0	47,339 80.0 27.4	50,692 91.7 29.3	52,122 87.9 30.1	22,827 61.2 13.2	8,461	4.9

(附記)

平成25年度 実施対象市町村

平成25年5月10日現在

H25年度 実施対象市町村	5,694	4,720	82.9	1,228	2,429	965	98	4	0.1
	158,783		3.0	26.0	51.5	20.4	2.1		

※1 上段には受診者数を、中段には各年齢階層ごとの対象者に対する進捗率を、下段には受診者数(b)の階層別割合を記載。

※2 県外から県内に来て甲状腺検査を受けた県外居住者の人数。

● 年齢は平成23年3月11日時点の年齢。

(2) 検査の充実に向けた主な取り組み

① 検査対象者に対する受診機会の確保

- (i) 当該生活圏等を同じくする複数の市町村に対して同時にお知らせを送付。また、検査未受診者には最新の検査スケジュールを通知するなどにより複数の受診機会を確保。
- (ii) 児童、生徒については通学している学校で検査を実施。

② 検査のクオリティの確保

- (i) 幅広い広報・協力の呼びかけにより、県内外から甲状腺専門医等の支援を確保。
- (ii) 甲状腺専門医等による検査実施により、一定水準以上の検査のクオリティを確保。

③ 甲状腺検査実施の前倒し

- (i) 検査を早期に完了するための一日あたり700~800名実施できる大規模会場の確保。

④ 県内検査拠点の整備

- (i) 県内における検査体制の充実を図るため、県内医療機関の医師・技師等を対象とした講習会を実施。



## 2 一次検査（県外検査）

### (1)実施状況

- ① 平成24年11月1日から、県外検査機関において検査を実施した。
- ② 平成23年度県内実施対象市町村及び郡山市、三春町を除く平成24年度県内実施対象市町村において、受診できなかった対象者に対して県外検査機関における一次検査のお知らせを発送済み。
- ③ 郡山市、三春町の未受診者に対しては、平成25年5月29日にお知らせを発送済み。
- ④ 県外検査のお知らせは、県内検査を実施した市町村順に未受診者を確定させて、お知らせを発送している。なお、各年度毎の実施市町村は別紙1のとおり。

平成23年度 県内実施対象市町村

平成25年3月31日現在

	県内検査未受診者数(人)※1 a	希望者数(人) b	受診者数(人) c	受診率(%) c/b	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%)			
					0~5歳 50.0	6~10歳 34.6	11~15歳 3.9	16~18歳 11.5
川俣町	221	37	26	70.3	13 50.0	9 34.6	1 3.9	3 11.5
浪江町	678	201	145	72.1	48 33.1	42 29.0	39 26.9	16 11.0
飯館村	166	14	11	78.6	2 18.2	5 45.4	4 36.4	0 0.0
南相馬市	2,861	922	699	75.8	269 38.5	214 30.6	155 22.2	61 8.7
伊達市	1,134	176	118	67.0	44 37.3	31 26.3	9 7.6	34 28.8
田村市	960	64	51	79.7	18 35.3	11 21.6	9 17.6	13 25.5
広野町	383	56	27	48.2	11 40.8	8 29.6	4 14.8	4 14.8
檜葉町	483	94	56	59.6	19 33.9	15 26.8	14 25.0	8 14.3
富岡町	1,234	252	191	75.8	69 36.1	47 24.6	46 24.1	29 15.2
川内村	125	26	9	34.6	3 33.3	4 44.5	1 11.1	1 11.1
大熊町	828	191	136	71.2	54 39.7	42 30.9	31 22.8	9 6.6
双葉町	477	119	99	83.2	35 35.4	22 22.2	28 28.3	14 14.1
葛尾村	85	3	3	100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
合計	9,635	2,155	1,571	72.9	585 37.2	451 28.7	343 21.9	192 12.2

※1 当該検査実施市町村において受診できなかった未受診者へのお知らせ発送数。

- 未受診者は県内・県外どちらでも受診可能。
- 年齢は平成23年3月11日時点の年齢。



平成24年度 県内実施対象市町村

平成25年3月31日現在

	県内検査未受診者数(人)※1 a	希望者数(人) b	受診者数(人) c	受診率(%) c/b	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%)			
					0~5歳	6~10歳	11~15歳	16~18歳
福島市	8,521	1,261	566	44.9	266 47.0	132 23.3	68 12.0	100 17.7
二本松市	1,883	176	79	44.9	31 39.2	18 22.8	8 10.1	22 27.9
本宮市	1,292	114	58	50.9	27 46.5	15 25.9	3 5.2	13 22.4
大玉村	326	18	13	72.2	2 15.4	4 30.8	4 30.8	3 23.0
郡山市	14,781	-	-	-	-	-	-	-
桑折町	309	37	11	29.7	3 27.3	3 27.3	0 0.0	5 45.4
国見町	236	27	20	74.1	7 35.0	3 15.0	2 10.0	8 40.0
天栄村	270	17	5	29.4	3 60.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
白河市	2,071	297	147	49.5	61 41.5	33 22.4	15 10.2	38 25.9
西郷村	572	89	44	49.4	16 36.4	11 25.0	4 9.1	13 29.5
泉崎村	196	17	5	29.4	0 0.0	4 0.0	0 0.0	1 0.0
三春町	439	-	-	-	-	-	-	-
合計	30,896	2,053	948	46.2	416 43.9	223 23.5	104 11.0	205 21.6

平成23年度及び平成24年度 県内実施対象市町村

平成25年3月31日現在

合計	40,531	4,208	2,519	59.9	1,001 39.7	674 26.8	447 17.7	397 15.8
----	--------	-------	-------	------	---------------	-------------	-------------	-------------

平成25年度 県外検査実施状況（平成25年4月1日から平成25年5月16日まで）

23年度及び24年度 県内実施対象市町村合計	-	-	190	-	88 46.4	46 24.2	28 14.7	28 14.7
---------------------------	---	---	-----	---	------------	------------	------------	------------

※1 当該検査実施市町村において受診できなかった未受診者へのお知らせ発送数。

- 未受診者は県内・県外どちらでも受診可能。
- 年齢は平成23年3月11日時点の年齢。

(2) 検査の充実に向けた主な取り組み

- ① 現在、全都道府県において76の検査機関（別紙2）と協定を締結しており、今後も県外での検査体制の拡充を図る。
- ② 県外避難者が多い地域（新潟県、山形県）については、福島医大からも直接赴き県外検査を実施。

### 3 一次検査結果概要（市町村別結果概要については別紙3,4のとおり）

(1) 平成23年度及び平成24年度結果概要

平成25年3月31日現在

検査結果確定者数※1	H23年度県内実施対象市町村※2	H24年度県内実施対象市町村
		40,302人

※1 検査結果確定者数は、県内及び県外の検査機関で受診した受診者のうち結果が確定した方の総数。

※2 平成24年度に受診した対象者のうち、検査結果が確定した2,188人を含む。

判定結果		人数	割合		人数	割合	
A判定	(A1)	25,670人	63.7%	99.5%	73,393人	54.7%	99.3%
	(A2)	14,427人	35.8%		59,746人	44.6%	
B判定		205人	0.5%		934人	0.7%	
C判定		0人	0.0%		1人	0.001%	

（参考）平成23年度及び平成24年度の結節及び嚢胞の大きさによる人数等

判定結果	人数	H23年度		
		人数	割合	計
結節を認めたもの	5.1mm以上	203人	0.50%	421人 (1.04%)
	5.0mm以下	218人	0.54%	
嚢胞を認めたもの	20.1mm以上	1人	0.002%	14,351人 (35.61%)
	20.0mm以下	14,350人	35.61%	

判定結果	人数	H24年度		
		人数	割合	計
結節を認めたもの	5.1mm以上	922人	0.69%	1,593人 (1.19%)
	5.0mm以下	671人	0.50%	
嚢胞を認めたもの	20.1mm以上	8人	0.006%	59,865人 (44.65%)
	20.0mm以下	59,857人	44.64%	

#### ① 判定内容の説明

- (i) A判定：(A1) 結節や嚢胞を認めなかったもの。  
(A2) 5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞を認めたもの。
- (ii) B判定：5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞を認めたもの。
- (iii) C判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの。

#### ② 判定結果の説明

- (i) A1、A2判定は次回（平成26年度以降）の検査まで経過観察。
- (ii) B、C判定は二次検査を実施。
- (iii) A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B判定としている。

## (2) 平成24年度検査結果判定の年齢・性別集計

平成25年3月31日現在

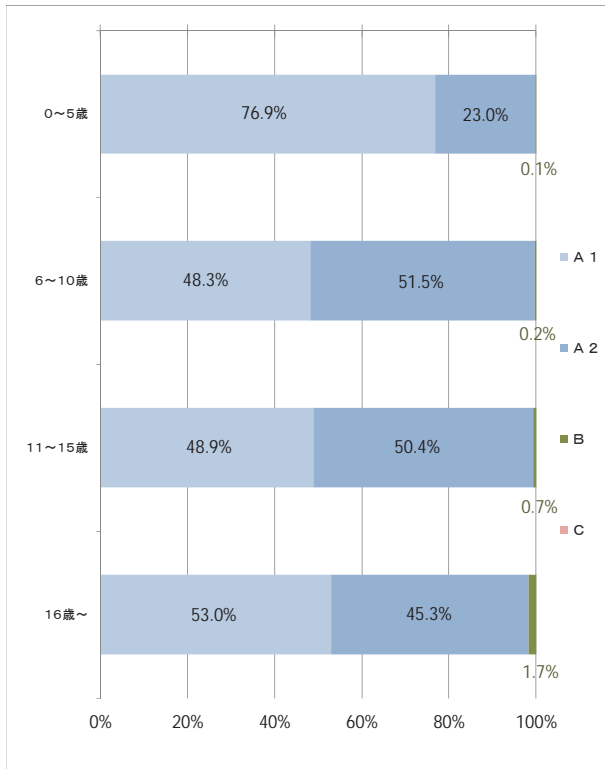
(単位 人)

判定・性別 年齢区分※1	A						B			C			合計		
	A1		A2		計		男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
0～5歳	14,733	13,260	27,993	4,417	4,798	9,215	14	14	28	0	0	0	19,164	18,072	37,236
6～10歳	9,937	8,427	18,364	10,611	10,730	21,341	39	88	127	0	0	0	20,587	19,245	39,832
11～15歳	9,959	8,614	18,573	10,287	11,130	21,417	135	262	397	0	0	0	20,381	20,006	40,387
16歳～	4,185	4,278	8,463	3,582	4,191	7,773	132	250	382	0	1	1	7,899	8,720	16,619
合計	38,814	34,579	73,393	28,897	30,849	59,746	320	614	934	0	1	1	68,031	66,043	134,074

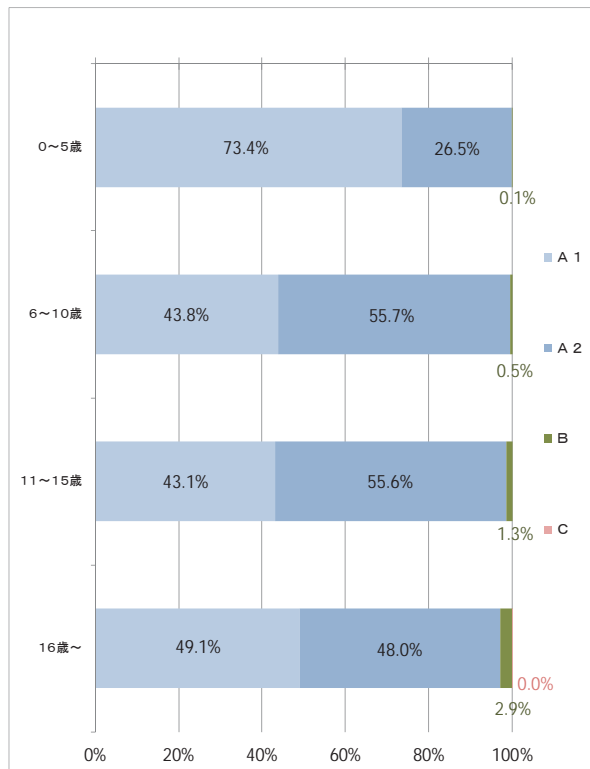
※1 年齢区分は平成23年3月11日時点の年齢。

● 平成23年度県内実施対象市町村の検査結果詳細については別紙5のとおり。

年齢階層別判定区分の分布【男性】



年齢階層別判定区分の分布【女性】

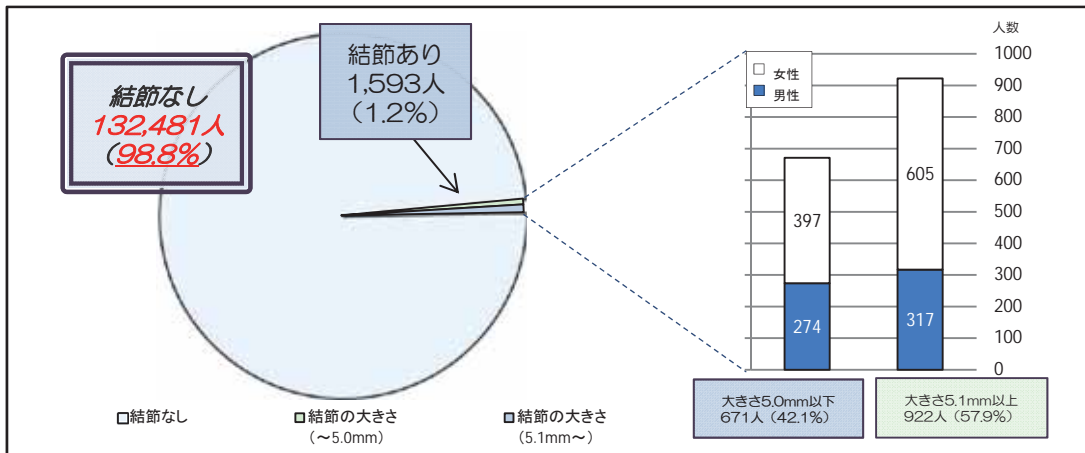


### (3) 結果詳細 (H24年度検査：結節について)

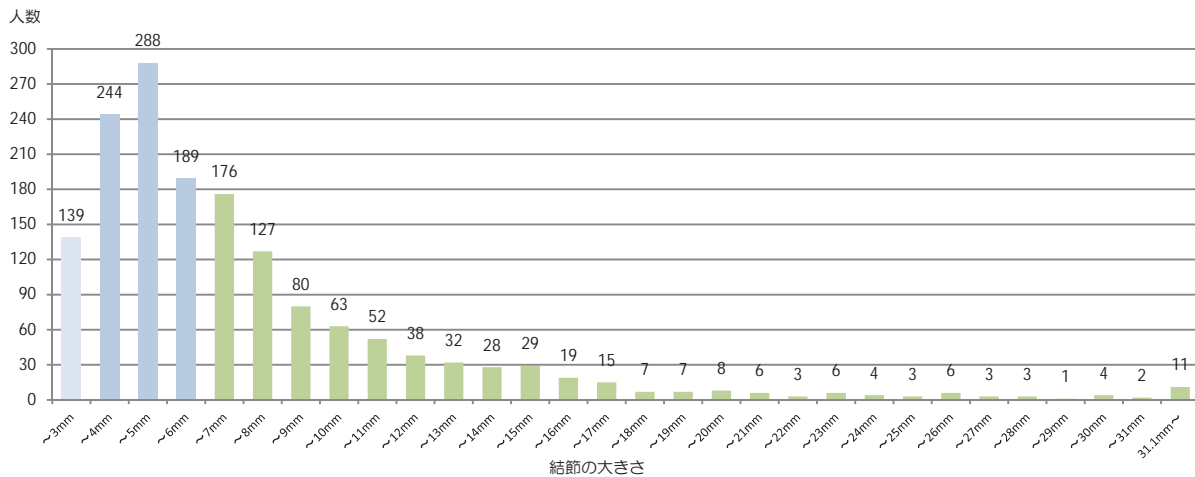
#### ① 結節(しこり)の有無及び大きさによる集計

結節の有無・大きさ	全体	判定区分		割合	
		男	女		
なし	132,481	67,440	65,041	A 1	98.8%
~3.0mm	139	68	71	A 2	0.5%
3.1~5.0mm	532	206	326		
5.1~10.0mm	635	229	406	B	0.7%
10.1~15.0mm	179	53	126		
15.1~20.0mm	56	17	39		
20.1~25.0mm	22	8	14		
25.1mm~	30	10	20		
計	134,074	68,031	66,043		

(単位 人)



#### ② 結節(しこり)の有無及び大きさ別分布



#### 集計結果

- ・H24年度に検査を受診した134,074人のうち、1.2%の1,593人(H23年度は1.0%)の方に結節が認められた。
- ・結節の認められた1,593人のうち、5.1mm以上の結節が認められた人数は922人であり、全体に占める割合は0.7% (H23年度0.5%) となっている。
- ・また、上記922人のうち、5.1mmから10.0mmまでの結節が認められた方は635人であり、二次検査が必要な922人に占める割合は68.9% (H23年度は67.0%) となっている。
- ・10.0mmを超える結節が認められた方は287名であり、全体に占める割合は0.21% (H23年度は0.17%) である。

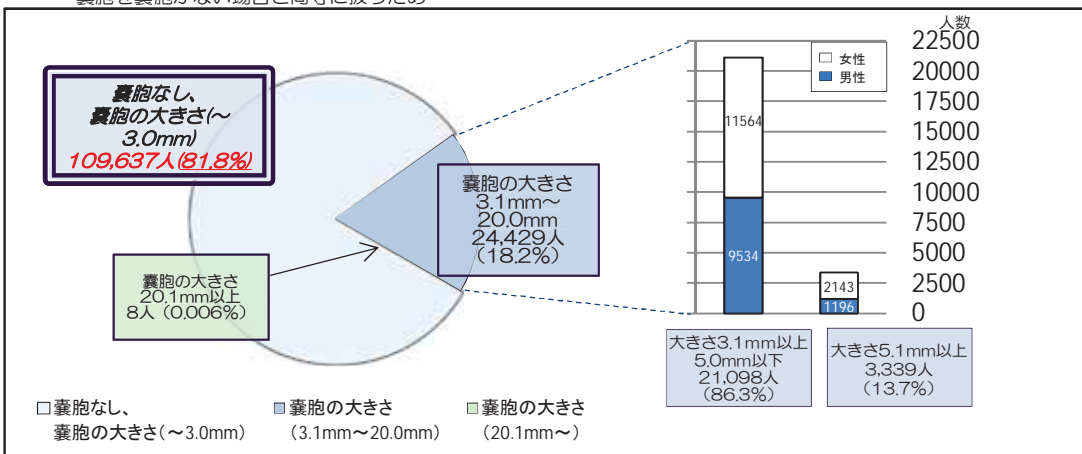
#### (4) 結果詳細 (H24年度検査：嚢胞について)

##### ① 嚢胞の有無及び大きさによる集計

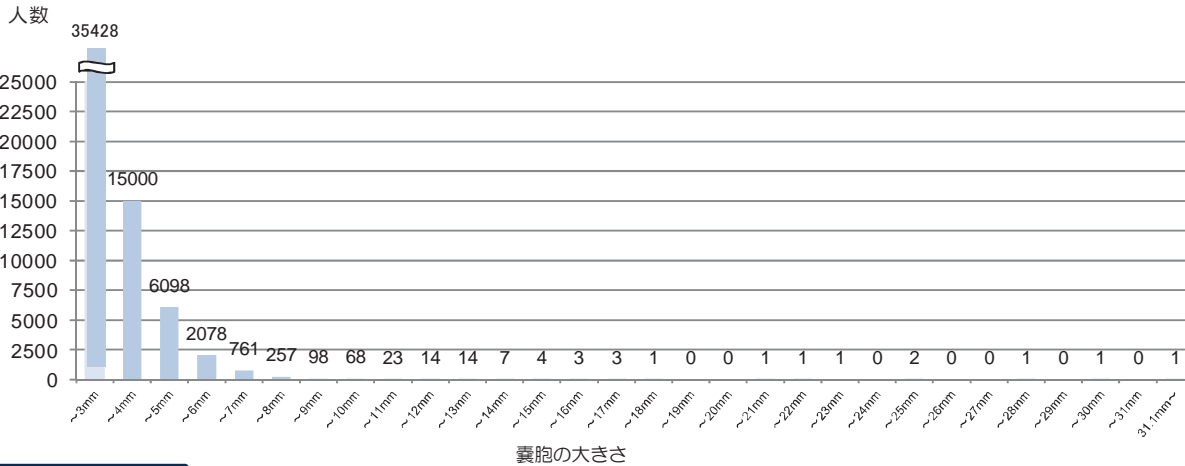
嚢胞の有無・大きさ	全体		判定区分 ※1	割合 ※2
	男	女		
なし	74,209	39,126	A 1 (55.3%)	81.8%
～3.0mm	35,428	18,175		
3.1～5.0mm	21,098	9,534	A 2 (44.6%)	18.2%
5.1～10.0mm	3,262	1,173		
10.1～15.0mm	62	22		
15.1～20.0mm	7	0		
20.1～25.0mm	5	0	B	0.006%
25.1mm～	3	1		
計	134,074	68,031	66,043	

※1 嚢胞の大きさのみで判断した場合の判定区分

※2 “～3.0mm”を“なし”と併せて扱うのは、通常の診療行為においても3.0mmまでの嚢胞を嚢胞がない場合と同等に扱うため



##### ② 嚢胞の有無及び大きさ別分布



### 集計結果

- H24年度に検査を受診した134,074人のうち、44.6%の59,865人(H23年度は35.6%)の方に嚢胞が認められた。  
そのうち、通常の診療行為においてはあまり取り扱われない3.0mm以下の嚢胞が認められた方は35,428人となっている。
- 3.1mm以上の嚢胞が認められた人数は24,437人であり、全体に占める割合は18.2%(H23年度は16.8%)となっている。
- 3.1mm以上の嚢胞が認められた方では多少女性に多く見られる傾向(男43.9%女56.1%：H23年度は男43.2%女56.8%)にある。

## 4 二次検査

### (1) 実施状況

- ① 甲状腺検査（一次検査）の実施に伴い、二次検査の対象者も一定の割合で認められることから、一次検査の実施に合わせて、より迅速に検査を実施できる体制を構築し検査を実施。

平成23年度実施対象市町村（平成25年5月27日現在までの実施状況）

市町村名	一次検査実施者 (ア) ※1	二次検査対象者 (イ)	計 (ウ)	二次検査実施者				二次検査終了者					二次検査実施者数 (のべ人数)	
				(ウ)のうち 0～5歳 (エ)	(ウ)のうち 6～10歳 (オ)	(ウ)のうち 11～15歳 (カ)	(ウ)のうち 16歳～18歳 (キ)	計 (ク) ※2	次回検診		経過観察			(ケ)のうち 細胞診 実施者 (ク)
									車(イ)/(イ)%	受診率(ウ)/(イ)%	車(エ)/(ウ)%	車(オ)/(ウ)%		
川俣町	2,229	8	8	0	1	3	4	8	1	0	7	6	24	
浪江町	3,161	24	20	1	3	6	10	20	1	3	16	10	50	
飯館村	937	6	5	0	2	1	2	5	1	2	2	2	12	
南相馬市	10,436	50	44	6	2	15	21	44	4	4	36	21	104	
伊達市	10,599	50	44	0	3	16	25	42	4	8	30	23	117	
田村市	6,358	33	23	1	3	13	6	21	0	2	19	9	57	
広野町	734	3	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	
楡葉町	1,038	4	4	1	0	0	3	3	0	1	2	1	9	
富岡町	2,072	9	7	0	1	2	4	7	0	0	7	5	18	
川内村	262	4	3	0	1	0	2	3	0	1	2	1	8	
大熊町	1,844	10	6	0	0	3	3	5	0	1	4	3	10	
双葉町	881	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
葛尾村	179	1	1	0	1	0	0	1	0	1	-	-	2	
その他	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23年度計	40,764	205	166	9	17	59	81	160	11	23	126	82	413	

平成24年度県内実施対象市町村（平成25年5月27日現在までの実施状況）

市町村名	一次検査実施者 (ア) ※1	二次検査対象者 (イ)	計 (ウ)	二次検査実施者				二次検査終了者					二次検査実施者数 (のべ人数)	
				(ウ)のうち 0～5歳 (エ)	(ウ)のうち 6～10歳 (オ)	(ウ)のうち 11～15歳 (カ)	(ウ)のうち 16歳～18歳 (キ)	計 (ク) ※2	次回検診		経過観察			(ケ)のうち 細胞診 実施者 (ク)
									車(イ)/(イ)%	受診率(ウ)/(イ)%	車(エ)/(ウ)%	車(オ)/(ウ)%		
福島市	46,367	263	228	4	27	88	109	210	1	57	152	56	531	
二本松市	8,619	51	20	0	4	9	7	9	0	1	8	4	33	
本宮市	5,135	27	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	3	
大玉村	1,354	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
郡山市	50,805	442	5	0	1	3	1	3	0	0	3	2	14	
桑折町	1,788	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国見町	1,364	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
天栄村	850	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
白河市	10,942	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西郷村	3,585	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泉崎村	1,145	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三春町	2,440	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
いわき市	341	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
24年度計	134,735	935	255	4	32	101	118	223	1	58	164	63	583	
合計	175,499	1,140	421	13	49	160	199	383	12	81	290	145	996	

※1 (ア)は県内及び県外検査の受診者を合計した人数。

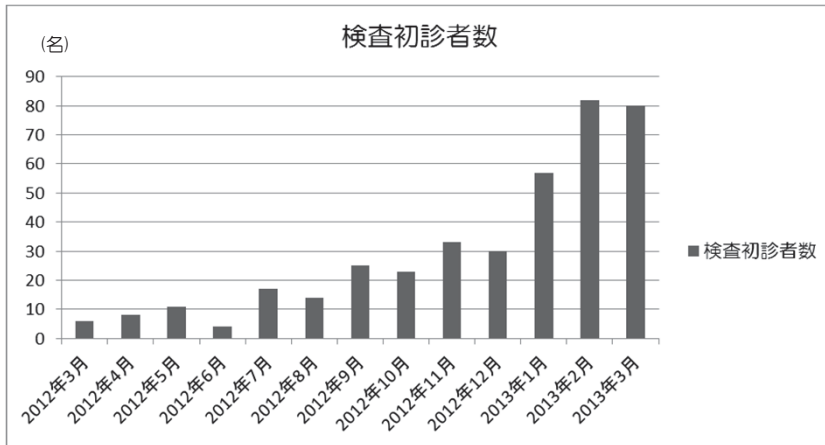
※2 (ウ)には血液検査、尿検査及び細胞診実施者のうち、検査結果を通知していない対象者は含まない。

※3 (ケ)及び(ク)は26年4月以降の本格検査において検査を実施する受診対象者。

※4 (ケ)は通常の保険診療枠として概ね6か月後または1年後に再診する受診対象者。

● 二次検査においては、血液検査や尿検査などの検査実施後、後日検査結果を通知するため、複数回来院する。

(2) 月別検査初診者数 (平成23年度及び平成24年度合計)



(3) 検査の充実に向けた主な取り組み

- ① 一次検査により、しこり（結節性病変）等が認められた場合は、福島医大において二次検査（詳細な超音波検査、採血、尿検査、必要に応じて細胞診等）を実施。
- ② A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B判定として二次検査を実施。
- ③ 早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施。
- ④ 二次検査の結果は、直接、検査対象者及びその保護者に時間をかけて詳細に説明。
- ⑤ 二次検査実施の拡充を図り、下記スケジュールのとおり二次検査を実施。

(4) 平成24年度実施市町村二次検査スケジュール(案)

	平成25年2月				平成25年3月				平成25年4月				平成25年5月				平成25年6月				平成25年7月				平成25年8月				平成25年9月				平成25年10月				平成25年11月				平成25年12月			
	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目				
福島市																																												
二本松市																																												
本宮市																																												
大玉村																																												
郡山市																																												
桑折町																																												
国見町																																												
天栄村																																												
白河市																																												
西郷村																																												
泉崎村																																												
三春町																																												



(5) 結果概要

① 細胞診結果

(i) 平成23年度

平成25年5月27日現在

- ・悪性ないし悪性疑い 12例（手術8例：良性結節1例、乳頭癌7例）
- ・男性：女性 5例：7例
- ・平均年齢 17.2 ± 1.9歳（13-19歳、震災当時11-18歳）
- ・平均腫瘍径 14.1 ± 7.6mm（6.0-33.0 mm）

(ii) 平成24年度

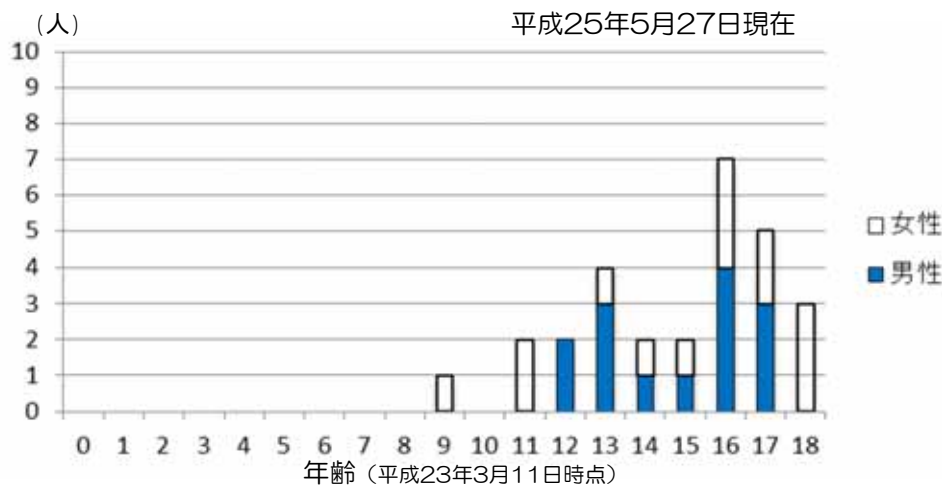
平成25年5月27日現在

- ・悪性ないし悪性疑い 16例（手術5例：乳頭癌5例）
- ・男性：女性 9例：7例
- ・平均年齢 16.1 ± 2.8歳（11-20歳、震災当時9-18歳）
- ・平均腫瘍径 18.1 ± 9.2mm（8.4-34.1mm）

平成23-24年度合計

悪性ないし悪性疑い 28例（手術13例：良性結節1例、乳頭癌12例）

② 細胞診で悪性および悪性疑いであった28例の年齢、性分布



③ 平成23年度及び平成24年度県内実施対象市町村別二次検査結果

（平成25年5月27日現在）

平成23年度 県内実施対象市町村

平成24年度 県内実施対象市町村

	一次検査実施者(人) ※1	二次検査対象者(人)	二次検査実施者(人)	二次検査率(%)	悪性、悪性疑い例数(人) ※2	悪性、悪性疑い/一次検査実施者総数(%)
川俣町	2,229	8	8	0.4	2	0.09
浪江町	3,161	24	20	0.8	1	0.03
飯館村	937	6	5	0.6	0	0.00
南相馬市	10,436	50	44	0.5	2	0.02
伊達市	10,599	50	44	0.5	2	0.02
田村市	6,358	33	23	0.5	2	0.03
広野町	734	3	1	0.4	0	0.00
楢葉町	1,038	4	4	0.4	0	0.00
富岡町	2,072	9	7	0.4	1	0.05
川内村	262	4	3	1.5	1	0.38
大熊町	1,844	10	6	0.5	0	0.00
双葉町	881	3	0	0.3	0	0.00
葛尾村	179	1	1	0.6	0	0.00
その他※3	34	0	-	-	-	-
合計	40,764	205	166	0.5	11	0.03

	一次検査実施者(人) ※1	二次検査対象者(人)	二次検査実施者(人)	二次検査率(%)	悪性、悪性疑い例数(人)	悪性、悪性疑い/一次検査実施者総数(%) ※2
福島市	46,367	263	228	0.6	9	0.02
二本松市	8,619	51	20	0.6	4	-
本宮市	5,135	27	1	0.5	1	-
大玉村	1,354	7	0	0.5	0	-
郡山市	50,805	442	5	0.9	2	-
桑折町	1,788	12	0	0.7	0	-
国見町	1,364	15	0	1.1	0	-
天栄村	850	6	1	0.7	0	-
白河市	10,942	61	0	0.6	0	-
西郷村	3,585	28	0	0.8	0	-
泉崎村	1,145	5	0	0.4	0	-
三春町	2,440	15	0	0.6	0	-
いわき市	341	3	0	0.9	0	-
合計	134,735	935	255	0.7	16	-

※1 一次検査実施者は、県内及び県外検査の受診者を合計した人数。

※2 細胞診結果において悪性疑いで手術後良性であった1例はきめない

※3 その他、国が指定した警戒区域等避難区域市町村以外で、学校等において甲状腺検査を受けた人数。

※1 一次検査実施者は、県内及び県外検査の受診者を合計した人数。

※2 福島市以外は、まだ検査開始早々で受診率が低いため表記していない。

● 早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施。





(別紙2)

## 県外検査機関一覧

平成25年5月15日現在

所在地		医療機関名	所在地		医療機関名
北海道	札幌市	上條甲状腺クリニック	静岡県	静岡市	桜ヶ丘総合病院
		北海道大学病院		浜松市	浜松医科大学医学部附属病院
青森県	弘前市	弘前大学医学部附属病院	愛知県	名古屋市	名古屋大学医学部附属病院
岩手県	盛岡市	栗原クリニック		豊川市	豊川市民病院
宮城県	仙台市	森洋子クリニック	三重県	松坂市	松阪中央総合病院
		東北大学病院	滋賀県	大津市	滋賀医科大学医学部附属病院
秋田県	秋田市	秋田大学医学部附属病院	京都府	京都市	京都医療センター
山形県	山形市	山形大学医学部附属病院			京都府立医科大学附属病院
茨城県	水戸市	水府病院	大阪府	大阪市	すみれ病院
	つくば市	筑波大学附属病院			大阪市立大学医学部附属病院
栃木県	宇都宮市	栃木県立がんセンター		吹田市	大阪大学医学部附属病院
	佐野市	佐野厚生総合病院		泉佐野市	りんくう総合医療センター
	日光市	獨協医科大学日光医療センター		高槻市	高松内科クリニック
	下野市	自治医科大学附属病院	兵庫県	神戸市	隈病院
	壬生町	獨協医科大学病院		尼崎市	立花病院
群馬県	前橋市	群馬大学医学部附属病院	奈良県	生駒市	近畿大学医学部奈良病院
埼玉県	狭山市	埼玉石心会病院（旧狭山病院）	和歌山県	和歌山市	和歌山県立医科大学附属病院
千葉県	千葉市	千葉大学医学部附属病院	鳥取県	米子市	鳥取大学医学部附属病院
	市原市	帝京大学ちば総合医療センター	島根県	出雲市	島根大学医学部附属病院
東京都	港区	東京慈恵会医科大学附属病院	岡山県	岡山市	岡山大学病院
		虎の門病院			岡山医療センター
	文京区	日本医科大学付属病院	倉敷市	川崎医科大学附属病院	
	大田区	東邦大学医療センター大森病院	広島県	広島市	土谷総合病院
	世田谷区	国立成育医療研究センター	山口県	宇部市	山口大学医学部附属病院
	渋谷区	伊藤病院	徳島県	徳島市	徳島市民病院
	豊島区	池袋病院	香川県	高松市	高松赤十字病院
		アーバンハイッククリニック	愛媛県	東温市	愛媛大学医学部附属病院
小平市	公立昭和病院	高知県	南国市	高知大学医学部附属病院	
神奈川県	横浜市	横浜国立大学附属市民総合医療センター	福岡県	福岡市	やましたクリニック
	相模原市	北里大学病院		久留米市	久留米大学病院
新潟県	新潟市	新潟大学医歯学総合病院	佐賀県	佐賀市	小池病院
富山県	上市町	かみいち総合病院	長崎県	長崎市	長崎大学病院
石川県	内灘町	金沢医科大学病院		大村市	長崎医療センター
福井県	福井市	福井県立病院	熊本県	熊本市	田尻クリニック
山梨県	中央市	山梨大学医学部附属病院	大分県	別府市	野口病院
長野県	松本市	相澤病院	宮崎県	宮崎市	宮崎大学医学部附属病院
	飯田市	飯田市立病院	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島大学病院
岐阜県	多治見市	岐阜県立多治見病院	沖縄県	浦添市	浦添総合病院

## (別紙3)

## 平成23年度県内実施対象市町村 甲状腺検査の結果概要 (平成25年3月31日現在)

単位 【上段】人  
【下段】%

	受診者 ※1 (a)	結果確定数 (b) 進捗状況 (b)/(a)	(b) の判定区分別人数 (人) (b) の判定区分別割合 (%)				(b) に対する結節・嚢胞の人数・割合			
			A		B	C	結節 (人)		嚢胞 (人)	
			A1	A2			結節の割合 (%)		嚢胞の割合 (%)	
						5.1mm以上	5.0mm以下	20.1mm以上	20.0mm以下	
川 俣 町	2,229	2,220	1,523	689	8	0	8	15	0	679
		99.6	68.6	31.0	0.4	0.0	0.4	0.7	0.0	30.6
浪 江 町	3,161	3,111	2,059	1,028	24	0	24	40	0	1,012
		98.4	66.2	33.0	0.8	0.0	0.8	1.3	0.0	32.5
飯 舘 村	937	928	685	237	6	0	6	15	0	226
		99.0	73.8	25.6	0.6	0.0	0.6	1.6	0.0	24.4
南 相 馬 市	10,436	10,257	6,542	3,665	50	0	50	84	0	3,623
		98.3	63.8	35.7	0.5	0.0	0.5	0.8	0.0	35.3
伊 達 市	10,599	10,567	6,730	3,787	50	0	48	29	1	3,788
		99.7	63.7	35.8	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	35.8
田 村 市	6,358	6,344	4,015	2,296	33	0	33	11	0	2,302
		99.8	63.3	36.2	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	36.3
広 野 町	734	722	465	254	3	0	3	2	0	254
		98.4	64.4	35.2	0.4	0.0	0.4	0.3	0.0	35.2
檜 葉 町	1,038	1,021	587	430	4	0	4	3	0	431
		98.4	57.5	42.1	0.4	0.0	0.4	0.3	0.0	42.2
富 岡 町	2,072	2,006	1,204	793	9	0	9	6	0	791
		96.8	60.0	39.6	0.4	0.0	0.4	0.3	0.0	39.4
川 内 村	262	261	147	110	4	0	4	1	0	110
		99.6	56.3	42.2	1.5	0.0	1.5	0.4	0.0	42.1
大 熊 町	1,844	1,803	1,059	734	10	0	10	6	0	732
		97.8	58.7	40.7	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	40.6
双 葉 町	881	849	524	322	3	0	3	3	0	321
		96.4	61.7	37.9	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	37.8
葛 尾 村	179	179	113	65	1	0	1	3	0	64
		100.0	63.1	36.3	0.6	0.0	0.6	1.7	0.0	35.8
その他※2	34	34	17	17	0	0	0	0	0	17
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
平成23年度 実施対象市町村 計	40,764	40,302	25,670	14,427	205	0	203	218	1	14,350
		98.9	63.7	35.8	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	35.6

※1 県内及び県外検査の受診者を合計した人数。

※2 その他は、国が指定した警戒区域等避難区域市町村以外の対象者で、学校等において甲状腺検査を受けた人数。

● 市町村ごとに受診者数や年齢構成等が異なるため、市町村間での単純な比較は難しい。

(別紙4)

平成24年度県内実施対象市町村 甲状腺検査の結果概要 (平成25年3月31日現在)

単位 【上段】人  
【下段】%

	受診者 ※1 (a)	結果確定数 (b) 進捗状況 (b)/(a)	(b) の判定区分別人数 (人) (b) の判定区分別割合 (%)				(b) に対する結節・嚢胞の人数・割合			
			A		B	C	結節 (人) 結節の割合 (%)		嚢胞 (人) 嚢胞の割合 (%)	
			A1	A2			5.1mm以 上	5.0mm以 下	20.1mm以 上	20.0mm以 下
福島市	46,367	45,980	26,286	19,431	263	0	256	181	3	19,445
		99.2	57.2	42.2	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	42.3
二本松市	8,619	8,571	5,055	3,465	50	1	50	42	1	3,466
		99.4	59.0	40.4	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	40.4
本宮市	5,135	5,097	2,894	2,176	27	0	25	24	1	2,179
		99.3	56.8	42.7	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	42.8
大玉村	1,354	1,343	802	534	7	0	7	8	0	534
		99.2	59.7	39.8	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0	39.8
郡山市	50,805	50,805	26,091	24,272	442	0	440	300	2	24,365
		100.0	51.3	47.8	0.9	0.0	0.9	0.6	0.0	48.0
桑折町	1,788	1,780	978	790	12	0	12	9	0	791
		99.6	54.9	44.4	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	44.4
国見町	1,364	1,350	717	618	15	0	14	8	1	622
		99.0	53.1	45.8	1.1	0.0	1.0	0.6	0.1	46.1
天栄村	850	849	525	318	6	0	6	3	0	322
		99.9	61.8	37.5	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	37.9
白河市	10,942	10,822	6,161	4,600	61	0	61	55	0	4,593
		98.9	56.9	42.5	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	42.4
西郷村	3,585	3,556	2,072	1,456	28	0	28	17	0	1,457
		99.2	58.3	40.9	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	41.0
泉崎村	1,145	1,140	516	619	5	0	5	9	0	617
		99.6	45.3	54.3	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	54.1
三春町	2,440	2,440	1,156	1,269	15	0	15	14	0	1,268
		100.0	47.4	52.0	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	52.0
いわき市	341	341	140	198	3	0	3	1	0	198
		100.0	41.0	58.1	0.9	0.0	0.9	0.3	0.0	58.1
H24年度 実施対象市町村 計	134,735	134,074	73,393	59,746	934	1	922	671	8	59,857
		99.5	54.7	44.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	44.6
合計	175,499	174,376	99,063	74,173	1,139	1	1,125	889	9	74,207
		99.4	56.8	42.5	0.7	0.0	0.6	0.5	0.0	42.6

※1 県内及び県外検査の受診者を合計した人数。

● 市町村ごとに受診者数や年齢構成等が異なるため、市町村間での単純な比較は難しい。

(別紙5)

(1) 平成23年度県内実施対象市町村の検査結果判定の年齢・性別集計

平成25年3月31日現在

(単位 人)

判定・性別 年齢区分※1	A						B			C			合計		
	A1		A2												
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
0～5歳	4,597	4,452	9,049	787	790	1,577	2	7	9	0	0	0	5,386	5,249	10,635
6～10歳	3,552	3,107	6,659	2,196	2,373	4,569	9	12	21	0	0	0	5,757	5,492	11,249
11～15歳	3,403	2,939	6,342	2,595	3,000	5,595	21	51	72	0	0	0	6,019	5,990	12,009
16歳～	1,882	1,738	3,620	1,223	1,463	2,686	34	69	103	0	0	0	3,139	3,270	6,409
合計	13,434	12,236	25,670	6,801	7,626	14,427	66	139	205	0	0	0	20,301	20,001	40,302

※1 年齢区分は平成23年3月11日現在の年齢。

注1 平成24年度に受診した対象者2,188名を含む。

(2) 結節（しこり）の有無及び大きさによる集計

(単位 人)

結節の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
		男	女		
なし	39,881	20,126	19,755	A1	99.0%
～3.0mm	72	35	37	A2	0.5%
3.1～5.0mm	146	74	72		
5.1～10.0mm	136	51	85	B	0.5%
10.1～15.0mm	33	5	28		
15.1～20.0mm	19	6	13		
20.1～25.0mm	9	2	7		
25.1mm～	6	2	4		
計	40,302	20,301	20,001		

注1 結節の大きさのみで判断した判定区分。

(3) 嚢胞の有無及び大きさによる集計

(単位 人)

嚢胞の有無・大きさ	全体			判定区分 ※1	割合 ※2
		男	女		
なし	25,951	13,553	12,398	A1 (64.4%)	83.2%
～3.0mm	7,585	3,825	3,760	A2 (35.6%)	
3.1～5.0mm	5,740	2,556	3,184		
5.1～10.0mm	1,004	362	642		
10.1～15.0mm	19	5	14		
15.1～20.0mm	2	0	2		
20.1～25.0mm	1	0	1	B	0.002%
25.1mm～	0	0	0		
計	40,302	20,301	20,001		

※1 嚢胞の大きさのみで判断した場合の判定区分

※2 “～3.0mm”を“なし”と併せて扱うのは、通常の診療行為においても3.0mmまでの嚢胞を嚢胞がない場合と同等に扱うため

(参考)

(1) 甲状腺結節性疾患有所見率等調査の実施状況

- ① 平成24年度に環境省が青森県、山梨県及び長崎県の3県において、「小児の甲状腺超音波検査における結節性病変の有所見率調査」を実施。  
その結果については、下記のとおり。
- ② A判定が4,321人(99.0%)であり、このうちA1判定は1,853人(42.5%)、A2判定は2,468人(56.5%)であった。B判定は44人(1.0%)であった。C判定は0人(0.0%)。

全調査対象者(計)		4,365人	
判定結果	判定内容	人数(人)	割合(%)
A	A1 結節や嚢胞を認めなかったもの	1,853	42.5%
	A2 5.0mm以下の結節や 20.0mm以下の嚢胞を認めたもの	2,468	56.5%
B	5.1mm以上の結節や 20.1mm以上の嚢胞を認めたもの	44	1.0%
C	甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの	0	0.0%

環境省HP (<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16419>) から引用



## 福島県外3県における甲状腺有所見率調査結果

## 1. 調査の背景・目的

福島県が行う県民健康管理調査の甲状腺検査において、約40%の方に20.0mm以下の小さなう胞(注1)等の所見が認められています。

こうした小さなう胞(注1)等は精密検査を必要とするものではありませんが、これらの軽微な所見も記録することとした結果、かえって住民の方の不安を招いていると指摘されています。

このような大規模かつ精度の高い調査は世界初の試みであり、子どもでのう胞を認める頻度や、検査結果に生じうるばらつきについて、正確にはわかっておりません。

こうした状況の中、環境省においても、住民の皆様の理解促進に役立てることを目的に、福島県外の3県の子どもを対象に、県民健康管理調査と同様の超音波検査(注2)を実施し、その結果の妥当性について、情報を提供することとしたものです。

(注1) 充実部分を伴わないう胞を指します。

(注2) この調査で実施された甲状腺超音波検査は、スクリーニング検査であり、甲状腺がんの診断を目的とした検査ではありません。

## 2. 調査の概要

## (1) 実施期間

平成24年11月～平成25年3月

## (2) 調査委託先

NPO 法人日本乳腺甲状腺超音波医学会

## (4) 対象地域及び調査対象者数

○ 青森県弘前市					
3～5歳	51人	6～10歳	444人		
11～15歳	748人	16～18歳	387人		計1,630人
○ 山梨県甲府市					
3～5歳	34人	6～10歳	379人		
11～15歳	638人	16～18歳	315人		計1,366人
○ 長崎県長崎市					
3～5歳	104人	6～10歳	452人		
11～15歳	609人	16～18歳	204人		計1,369人

## (5) 調査方法

- 県民健康管理調査と同等の水準の甲状腺超音波検査を対象者に実施。
- 検査結果については、県民健康管理調査と同様の基準で判定し、調査対象地域における甲状腺のう胞等の頻度を算出。



3. 調査結果 概要  
 (1) 全対象地域 概要  
 ①判定結果別人数・割合

全調査対象者 (計)		4,365 人	
判定結果	判定内容	人数(人)	割合(%)
A	結節やのう胞を認めなかったもの	1,853	42.5
	5.0 mm以下の結節や 20.0 mm以下のう胞(注3)を認めたもの	2,468	56.5
B	5.1 mm以上の結節や 20.1 mm以上のう胞を認めたもの	44	1.0
C	甲状腺の状態等から判断して、 直ちに二次検査を要するもの	0	0.0
(計)		4,365	100

(注3) 充実部分を伴わないのう胞を指します。

②判定結果別人数・割合(性・年齢別)

判定結果		人数(人)											
		3～5歳			6～10歳			11～15歳			16～18歳		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
A	A1	67	66	133	284	283	567	448	339	787	157	209	366
	A2	28	27	55	336	369	705	550	635	1185	193	330	523
B		1	0	1	1	2	3	7	16	23	3	14	17
C		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(計)		96	93	189	621	654	1275	1005	990	1995	353	553	906

判定結果		割合(%)											
		3～5歳			6～10歳			11～15歳			16～18歳		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
A	A1	69.8	71.0	70.4	45.7	43.3	44.5	44.6	34.3	39.4	44.5	37.8	40.4
	A2	29.2	29.0	29.1	54.1	56.4	55.3	54.7	64.1	59.4	54.7	59.7	57.7
B		1.0	0.0	0.5	0.2	0.3	0.2	0.7	1.6	1.2	0.8	2.5	1.9
C		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(計)		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

③結節やのう胞を認めた人数・割合

		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
結節を認めたもの	5.1 mm 以上	44	1.0	72	1.6
	5.0 mm 以下	28	0.6		
のう胞を認めたもの	20.1 mm 以上	0	0.0	2,483	56.9
	20.0 mm 以下	2,483	56.9		

(注) 結節、のう胞両方の所見を認める場合には、それぞれの人数に計上していません。

(2) 調査対象地域別 概要

		弘前市		甲府市		長崎市	
判定結果	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)
A	A1	670	41.1	404	29.6	779	56.9
	A2	939	57.6	947	69.3	582	42.5
		1,609	98.7	1,351		1,361	99.4
B	21	1.3		15	1.1		8
C	0	0.0		0	0.0		0
(計)	1,630	100		1,366	100		1,369
							0.6
							0.0
							100

## 県民健康管理調査「健康診査」の実施状況について

### 1 目的

今回の東日本大震災による東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴い、国が指定した警戒区域等の避難区域に居住していた住民を中心に、多くの方が突然避難を余儀なくされ、生活スタイルが今までとは全く異なるものとなったり、その食生活や運動習慣などの生活習慣にも大きな変化があったり、さらには、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、自分の健康に不安を抱えている状況にある。

県民の健康管理を図るためには、避難区域等住民一人一人が自分の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげていくことが必要であることから、避難区域等の住民については、健康診査を実施することとしている。

### 2 対象者

平成 23 年時指定の避難区域等の住民及び基本調査の結果必要と認められた方

[避難区域等]

田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村の全域  
及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

### 3 実施状況

#### (1) 健康診査の項目

全ての年齢区分について、避難区域等住民一人一人が自分の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげていくことを主眼に検査項目を設定している。

16 歳以上については、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号）第 20 条に基づく「特定健康診査」の検査項目を基本として、血算などの追加項目（以下「追加項目」という。）を付加して実施することとしている。

#### ◆年齢区分別検査項目◆

年齢区分	検査項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 $\gamma$ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、空腹時血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（BMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 $\gamma$ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、空腹時血糖、 血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

## (2) 実施状況

既存の健診制度を活用するとともに、避難区域等の住民が県内外に避難している状況を踏まえて、受診者の利便性を考慮しながら健康診査の実施体制を構築している。

### ◆県内に居住している対象者◆

16歳以上については、既存の健診と県民健康管理調査「健康診査」を一度で受診できるように、市町村の実施する特定健康診査等において、追加項目を上乗せして同時に実施するとともに、受診できなかった方を対象に県内24会場延べ100回、集団健診方式で健康診査を実施した。また、集団健診と同時期に、県内協力医療機関においても健康診査を受診できる体制をととのえ、538施設にご協力いただいた。

15歳以下の小児については、小児の特性に対応できるよう、小児科医に協力をいただき、県内103の医療機関において健康診査を実施した。

### ◆県外に避難している対象者◆

全国各地に避難している状況を踏まえ、県外で合計1,092の医療機関に協力をいただき、健康診査を実施した。内訳としては、16歳以上については、524の医療機関、15歳以下の小児については、県内と同様に、小児科を標榜する151の医療機関、16歳以上と15歳以下のいずれも対応可能な417の医療機関に協力をいただいたところである。

## 平成23・24年度 県民健康管理調査「健康診査」 実施状況

(単位：人、%)

区分等		平成23年度（確報値 平成24年9月11日）			平成24年度（速報値 平成25年5月15日）			
		年齢区分		合計	年齢区分		合計	
		15歳以下	16歳以上	全年齢	15歳以下	16歳以上	全年齢	
対象者数		27,819	182,370	210,189	27,077	184,910	211,987	
受診者数 (人)	15歳以下	県内小児健診	15,002	—	15,002	9,534	—	9,534
		県外小児健診	2,949	—	2,949	2,283	—	2,283
		県内、県外での重複受診者数	17	—	17	—	—	—
		小計 (重複受診者数を除く)	17,934	—	17,934	11,817	—	11,817
	16歳以上	県内市町村が実施する総合健診	—	8,798	8,798	—	23,907	23,907
		県内個別健診	—	—	—	—	6,692	6,692
		県内集団健診	—	41,949	41,949	—	10,603	10,603
		県外個別健診	—	3,815	3,815	—	3,055	3,055
		その他 ※1、※2	—	2,045	2,045	—	3,206	3,206
		県内、県外での重複受診者数	—	208	208	—	—	—
		小計 (重複受診者数を除く)	—	56,399	56,399	—	47,463	47,463
	合計 (重複受診者数を除く)	17,934	56,399	74,333	11,817	47,463	59,280	
	受診率 (%)		64.5%	30.9%	35.4%	43.6%	25.7%	28.0%

※1 その他（県内で実施（市町村が郡市医師会、医療機関へ委託したケース））

※2 その他（県外で実施（市町村が健診代行機関に委託したケース））

#### 4 調査の評価等について

平成24年度の16歳以上の受診率は25.7%で平成23年度の30.9%と比較すると、5.2%減少している。同じく、15歳以下の受診率は43.6%で平成23年度の64.5%と比較すると、20.9%減少している。

この理由として、平成23年度は年度の終わりごろに健康診査を実施し、平成24年度は夏頃から開始されたため、健診と健診の間の期間が短かったことが挙げられる。一方、住民の利便性を考慮し、実施期間を長めに設定したので、いつでも受診できる安心感から受診時期を逃してしまった、という方も見受けられた。

この様な状況を踏まえて、平成25年度以降は引き続き利便性の充実を図るとともに、以下のような取り組みを行い受診率の向上に努めていきたい。

##### ◆受診勧奨（リマインダー）の実施

市町村の衛生部門と連携した効果的な広報を強化していくとともに、受診期間の途中でも受診勧奨（リマインダー）を行う。

##### ◆住民向けの説明会の実施

より住民に寄り添った形で健康診査を行っていくために、平成24年度は集団健診会場でも健康相談のブースを設けた。平成25年度は健康への意識を高めて頂く足掛かりとなれるよう、より多くの会場でも健康相談を実施する。

##### ◆健診結果の見方についての冊子作成

健診結果をご本人へお送りする際に、健康的な生活を支援するための解説等を盛り込んだパンフレットを製作し同封する。

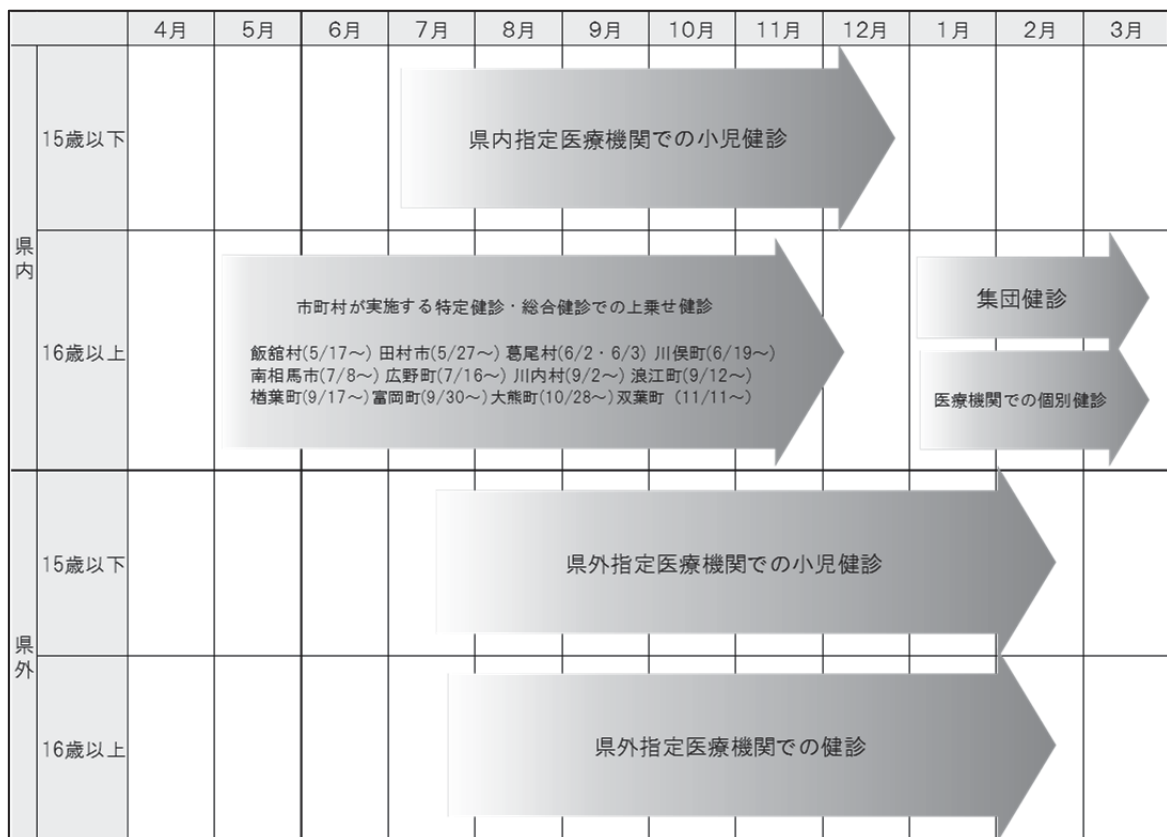
## 5 平成25年度の実施計画（案）

### ◆県内に居住している対象者◆

昨年度の実施状況を踏まえ、対象市町村において市町村が実施する特定健診・総合健診で追加項目を上乗せして同時に実施できるようにするとともに、集団健診や医療機関での個別健診の実施の他、小児健診の早期実施（夏頃からのスタートを想定）や健診可能な医療機関の充実に努める。

### ◆県外に避難している対象者◆

昨年度の実施状況を踏まえ、各都道府県で健診可能な医療機関を充実させるとともに、早期実施（夏頃からのスタートを想定）に努める。また、多数の対象者が避難している地域に近接した医療機関に協力をもらえるように努める。



## 6 経年データを用いた健診結果の解析

市町村が住民の健康管理を行うことができるようにするため、医科大学が実施した健康診査のデータを活用し、市町村ごとに震災前後の健診結果を比較し、震災等の生活習慣病等への影響の評価・解析を行い、市町村へフィードバックを行う。

現在、モデル的に飯館村で実施しており、順次、他の市町村へ拡大していく。

## 「既存健診対象外の県民に対する健康診査」の実施状況について

## 【目的】

県民健康管理調査の一環として、これまで既存制度では健康診査を受診する機会がなかった県民に対して、平成 24 年度、新たに「健康診査」の機会を設け、県民の皆様の健康の保持・増進を図り、健康長寿県を目指す。

## 【対象】

対象者は、健康診査実施年度に概ね 19 歳から 39 歳の年齢に達する者であって、実施年度の 4 月 1 日時点で福島県内に住民登録をしていた者の内、別表に定める既存制度の健診を受診する機会がある者を除く。

## 別表



## 【健診項目】

項目		備考
既往歴の調査		服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む。
自覚症状及び他覚症状の有無の検査		
身長、体重の測定		
BMI の測定		BMI=体重(Kg)÷身長(m)の 2 乗
血圧の測定		
血液生化学	肝機能検査	血清グルタミンクオキサロアセチクトランスアミナーゼ (AST) 血清グルタミンクピルビクトランスアミナーゼ (ALT) ガンマーグルタミルトランスペプチダーゼ (γ-GT)
	血中脂質検査	血清トリグリセライド (TG) の量 高比重リポ蛋白コレステロール (HDL-C) の量 低比重リポ蛋白コレステロール (LDL-C) の量
	血糖検査	空腹時血糖又はヘモグロビン A1c(HbA1c)
尿検査		尿中の糖及び蛋白の有無

## 【方法】

市町村及び健診実施代行機関に実施を委託し、県内外の医療機関または、集団健診において実施する。



【平成 24 年度実績】

33 市町村が市町村の実施する総合健診（特定健康診査・健康診査）と合同または、市町村が設定する集団健診で実施した。

33 市町村が健診実施代行機関を活用し実施（「市町村に実施を委託による健康診査」との重複市町村を含む）した。

県内 475 医療機関及び県外に自主避難している対象者が、避難先の都道府県内医療機関で受診できるよう調整し実施した。

また、県内 6 会場で集団健診を実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施を委託 市町村に	市町村健診（案内及び健診の実施）									33 市町村 案内送付者数※ 187,211 人 受診者数 12,148 人		
代行機関委託 健診実施	33 市町村 （「市町村に実施を委託による健康診査」との重複市町村を含む） 案内送付者数※ 227,367 人 受診者数 11,773 人									県内外医療機関 1/21~3/31 集団健診 3/21、25、27、29		

平成 24 年度実施した県民健康管理調査「既存健診対象外の県民に対する健康診査」受診者は、市町村実施が 12,148 人、健診実施代行機関活用が 11,773 人で、計 23,921 人（案内送付者数※414,578 人の 5.8%）であった。

なお、健診実施代行機関活用による受診者の内訳は、県内医療機関受診者が 10,703 人、県内集団健診受診者 613 名、県外医療機関受診者が 457 人であった。

【平成 25 年度実施予定】

37 市町村が市町村の実施する総合健診（特定健康診査・健康診査）と合同または、市町村が設定する集団健診で実施予定。

27 市町村が健診実施代行機関を活用し、実施予定（「市町村に実施を委託による健康診査」との重複市町村を含む）。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施を委託 市町村に	市町村健診（案内及び健診の実施）									37 市町村 案内送付者見込み数※ 165,000 人		
代行機関委託 健診実施	案内									県内外医療機関の健康診査の実施		
	27 市町村 （「市町村に実施を委託による健康診査」との重複市町村を含む） 案内送付者見込み数※ 235,000 人											

【平成 24 年度の実施状況を踏まえた改善点】

- ・ 受診者の要望を踏まえ、健診実施代行機関を活用した健康診査について、平成 25 年度は健康診査開始時期を早め、概ね 8 月から開始し、期間を長く設け受診者の利便性の向上を図る。
- ・ 医療機関に予約が集中するのを避けるため、案内送付及び健康診査実施時期を調整して設定する。

※案内送付者数：対象者について、加入保険の種別等を事前に把握できないことから、案内送付者とした。

## 平成24年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の実施状況について

## 1 平成23年度 質問紙調査結果及び支援結果の概要について

別添「平成23年度『こころの健康度・生活習慣に関する調査』結果概要」及び「平成23年度県民健康管理調査『こころの健康度・生活習慣に関する調査』結果報告書」参照。

## 2 平成24年度 質問紙調査の進捗状況（平成25年4月30日現在）

## (1) 回答状況等

回答状況と回答率

区分	調査対象者	回答数	回答率
子ども	27,107	10,968	40.5%
一般	184,507	54,297	29.4%
合計	211,614	65,265	30.8%

## (2) 支援状況

## ① 電話による支援

回答内容から支援が必要と思われる方に対し、臨床心理士（4名）、保健師（2名）等が電話をかけ、こころの健康に関する問題について支援を行っている。

区分	要支援者数※ <sub>1</sub>	要支援率※ <sub>2</sub>	対応数※ <sub>3</sub>	対応率	支援済数※ <sub>4</sub>	支援済率
子ども	537	5.2%	527	98.1%	371	69.1%
一般	1,792	4.1%	1,770	98.8%	1,257	70.1%
合計	2,329	4.3%	2,297	98.6%	1,628	69.9%

※<sub>1</sub> 要支援者

子ども：SDQ（子どもの情緒と行動について）が20点以上に該当する方。

一般：K6（全般的な精神健康状態）が20点以上またはPCL（トラウマ反応）が70点以上に該当する方。

共通：上記の点数に該当しない方のうち、自由記載欄及び欄外への記載内容より支援が必要と判断された方。

要支援者数：4月30日までに支援が必要と判断された方。

※<sub>2</sub> 要支援率

4月30日までに支援が必要と判断された方の割合。

※<sub>3</sub> 対応数

内容を確認し、一度は電話をかけているもの（不在を含む）と、調査票を確認した結果、電話番号の記載がないことが分かっているもの。

※<sub>4</sub> 支援済数

支援が終了しているもの。

② 文書による支援

電話番号の記載がない方や不在が続いている方については、順次文書をお送りし、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルをご案内するとともに、調査票記入時からの体調の変化について、返信用はがきにてお知らせいただき、電話相談を希望される方等に対し、電話による支援を実施している。

③ 市町村等との連携による支援

継続的な支援が必要と判断された方の状況等を、市町村と共有している。継続支援については、各市町村が判断し、必要に応じてふくしま心のケアセンターとも連携している。  
市町村への申し送り件数：9件

④ その他支援

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルへ、直接お電話をいただいた場合も、相談をお受けしている。

問合せによる支援：5件

(3) 支援に関する今後の方針

① SDQ、K6、PCLの先行研究における基準値を超え、上記要支援者に該当しない方への支援を進める。

② SDQ、K6、PCL以外の要支援者の基準に該当する方に対する支援を進める。

支援基準：必要な医療機関を受診されていない方。

睡眠の質に満足しておらず日中に気が滅入ったり活動量が低下したりする方。

CAGE（飲酒に関する質問4項目）で2項目以上に該当する方。

自由記載欄や欄外への記載内容から、支援が必要と判断された方。

(4) 回答率向上への取り組み（案）

平成23年度の回答率（子ども63.4%、一般40.7%、合計43.9%）に対し、現在の回答率が低下しているため、回答率向上のための対策を検討・実施していく。

## I. 平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要

### 1. 目 的

チェルノブイリ原発事故の健康への長期的影響として、心身における変調が主要な問題の一つとして指摘されているところである。福島県の県民においても、放射線への不安や避難生活等により、精神的な苦痛を受けていることが予想される。また、このたびの大震災により、近親者が亡くなったり、家屋などの財産を喪失したり、恐怖体験をすることにより、心的外傷(トラウマ)を負った県民も多いと予想されることから、県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施した。

### 2. 対 象

平成 23 年度の対象は、避難区域等の住民及び基本調査の結果必要と認められた方であり、具体的には、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点関係地区)の市町村に住民登録があった方、210,189 人を対象とした。

子ども用① :平成 16 年 4 月 2 日から平成 23 年 3 月 10 日までに生まれた方(未就学児)	11,717 名
子ども用② :平成 10 年 4 月 2 日から平成 16 年 4 月 1 日までに生まれた方(小学生)	11,791 名
子ども用③ :平成 7 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれた方(中学生)	6,077 名
一 般 用 :平成 7 年 4 月 1 日以前に生まれた方	180,604 名

### 3. 方 法

上記対象に対して、上記区分に従い、調査票(自記式または保護者回答)を郵送した。

### 4. 集計対象期間

平成 24 年 1 月 20 日から平成 24 年 10 月 31 日までとした。

### 5. 結 果

回答者数(回答率)は、子ども用①が 7,824 人(66.8%)、子ども用②が 7,509 人(63.7%)、子ども用③が 3,412 人(56.1%)、一般用が 73,569 人(40.7%)であった。

集計対象とした有効回答数(有効回答率)は、子ども用①が 7,818 人(66.7%)、子ども用②が 7,464 人(63.3%)、子ども用③が 3,411 人(56.1%)、一般用が 73,433 人(40.7%)であった。上記回答者数には、白紙で提出されたケースが含まれており、集計対象からは除外した。また、回答者数には、回答者 1 人が複数票提出したケースも含まれており、その場合には、1 人 1 票の回答のみを集計対象とした。

調査票ごとに、各項目について結果を集計した。集計結果は、結果報告書のとおりである。なお、各項目に欠損値があるため、合計は上記有効回答数と一致しない場合がある。

## 6. まとめ

### 1) 子ども用①（未就学児）

- ・ 子ども①の対象者は 11,717 人であったが、子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版)が 4 歳以上を適応年齢とするために、SDQ 有効回答数は 3,427 人であった。SDQ 総合得点を子ども②③世代(小学生・中学生)と比較すると先行研究でのスクリーニング基準である 16 点以上の割合(24.4%)、当初の支援対象とした 20 点以上の割合(11.3%)は明らかに高い傾向を示した。
- ・ 男女別にみると、男児では 16 点以上が 27.1%、20 点以上が 12.7%であったのに比べ、女児では 16 点以上が 21.5%、20 点以上が 9.7%と低い傾向にあった。
- ・ 主観的健康感(問 1)については、約 98%が、とくに問題は無い(「きわめて良好」、「良好」、「普通」)と回答しており全体として良好な結果が得られた。しかし、約 2%は主観的健康感において問題あり(「悪い」、「きわめて悪い」)と回答していた。
- ・ 平均睡眠時間は 9 時間 43 分、平均昼寝時間は 1 時間 47 分であり、同年代の首都圏調査<sup>1)</sup>に比べ、やや睡眠時間が短く、昼寝時間が長かった。

### 2) 子ども用②（小学生）

- ・ 子ども②の対象者は 11,791 人であり、SDQ 有効回答数は子ども①(未就学児)と比較して約 2 倍(7,450 人)であった。SDQ 得点の 16 点以上の割合(22.0%)、20 点以上の割合(10.9%)は子ども①(未就学児)と③(中学生)の間であった。
- ・ 男女別にみると、男児では 16 点以上が 24.6%、20 点以上が 12.6%であったのに比べ、女児では 16 点以上が 19.3%、20 点以上が 9.1%と低い傾向にあった。
- ・ 主観的健康感については、97%以上が、とくに問題は無い(「きわめて良好」、「良好」、「普通」)と回答しており全体として良好な結果が得られた。しかし、約 3%は主観的健康感において問題あり(「悪い」、「きわめて悪い」)と回答していた。
- ・ 平均睡眠時間は 8 時間 36 分であり、同年代の全国調査<sup>2)</sup>に比べやや睡眠時間が短かった。また、体育以外の運動を「ほとんどしていない」が半数以上(53.0%)であり、必ずしも良好ではない生活習慣を有する者が多いことが示された。

### 3) 子ども用③（中学生）

- ・ 子ども③の対象者は 6,077 人であり、有効回答 3,332 人のうち、SDQ 16 点以上は 16.2%、20 点以上が 7.7%であり、子ども①②に比較して低かった。
- ・ 男女別にみると、男子では 16 点以上が 15.8%、20 点以上が 7.3%であったのに比べ、女子では 16 点以上が 16.5%、20 点以上が 8.1%と高い傾向にあった。
- ・ 主観的健康感については、95%以上が、とくに問題は無い(「きわめて良好」、「良好」、「普通」)と回答しており全体として概ね良好な結果が得られた。しかし、約 5%は主観的健康感において問題あり(「悪い」、「きわめて悪い」)と回答していた。
- ・ 平均睡眠時間は 6 時間 53 分であり、同年代の全国調査<sup>2)</sup>に比べやや睡眠時間が短かった。また、体育以外の運動を「ほとんどしていない」が半数近くおり(47.0%)、必ずしも良好ではない生活習慣を有する者が多いことが示された。

## 子ども用の①②③全体のまとめ

- ・ 子どものこころの健康度を評価する指標として SDQ を用いた。日本での被災していない一般人口を対象とした先行研究<sup>3)</sup>における SDQ16 点以上の割合(9.5%)と比較して、今回の対象ではすべての群で高かった。また、子どもの年齢が高いほど SDQ 得点が低い傾向が見られた。以上から、子どものこころの健康度は、支援を必要とするレベルにある者の割合が高いことが確認され、それは若年者ほど顕著であった。
- ・ 全体的に睡眠時間が短い傾向がみられており、肥満や生活習慣病の発症への影響が懸念された。また、体育の授業以外ほとんど運動をしていない者が約半数を占めていた。

## 4) 一般用（平成 7 年 4 月 1 日以前に生まれた方）

### (1) こころの健康度

- ・ 全般的な精神健康状態(K6)は、13 点以上をカットオフ値とすると、日本の地域住民の平常時では 3.0%が該当し<sup>4)</sup>、トラウマ反応(PCL)は、44 点以上、あるいは 50 点以上をカットオフ値とすると、米国におけるニューヨークテロ後の作業員では各々20.1%、11.1%が該当した<sup>5)</sup>。それらの先行研究を参考に、支援を要する基準を K6 は 20 点以上、PCL は 65 点以上と設定した。
- ・ K6 は、20 点以上が 3.3%であり、平常時のカットオフ値の割合と同等という高い値を示した。男性 2.5%に比し女性は 3.8%と多かった。年齢別では 70 代以上が 3.9%で多く、10 代では 1.9%と少なかった。
- ・ PCL は、65 点以上が 4.6%で、男性 3.9%に比し女性は 5.2%と多かった。年齢別の傾向は、K6 と同様であった。

### (2) 生活習慣

- ・ 約 2 割の人は自身の健康(主観的健康感)を「悪い・きわめて悪い」と評価しており、高血圧を診断された経験のある人の約 8 割の人は高血圧で通院していた。
- ・ 睡眠では約 7 割の人が不満を持っており、日中の活動への影響も示された。
- ・ 運動は「ほとんどしていない」者が約半数(50.9%)いた。
- ・ 現在喫煙者は 20.7%、現在飲酒者は 44.1%、多量飲酒者(1 日 2 合以上飲酒)は 9.6%にみられた。また、震災以前の飲酒者は 42.0%であり、1 年後の現在飲酒者の割合は 44.1%であった。



## 参考文献

- 1) 第4回 幼児の生活アンケート報告書 ベネッセ次世代育成研究所  
[http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/research/research\\_13.html#link4](http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/research/research_13.html#link4)
- 2) 平成22年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書 財団法人日本学校保健会  
<http://www.gakkohoken.jp/modules/books/index.php?fct=photo&p=135>
- 3) Matsuishi T, et al. Scale properties of the Japanese version of the Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ): a study of infant and school children in community samples. *Brain Dev.* 2008 30:410-5.
- 4) 川上憲人. 全国調査における K6 調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金(統計情報高度利用総合研究事業)国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究. 分担研究書
- 5) Stellman, et al. (2008) Enduring mental health morbidity and social function impairment in World Trade Center rescue, recovery, and cleanup workers: the psychological dimension of an environmental health disaster. *Environ.*

## Ⅱ 支援結果概要

### 1 目的

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」回答者のうち、こころの健康度・生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方に、適切なケアを提供することを目的に、臨床心理士や保健師・看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話等による相談や情報提供等を実施する。

### 2 こころの健康度への支援

#### 1)対象者

国が指定した避難区域等の住民の方で、生年月日が平成23年3月10日以前の方

#### 2)選定基準

- ・ ハイリスク  
子ども：問1（主観的健康感）で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、SDQ（子どもの行動）が20点以上  
一般：問1（主観的健康感）で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、K6（全般精神健康度）が20点以上またはPCL（トラウマ関連）が65点以上
- ・ 基準点超え  
子ども：問1で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、SDQ（子どもの行動）が16点以上19点以下  
一般：問1で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、K6が13点以上19点以下かつPCLが44点以上64点以下

#### 3)まとめ

- ・ 子ども  
子どもの要支援者は全体で1,363名であり、そのうちの1,180人（86.6%）の方に電話支援、183人（13.4%）の方に文書支援を行った。電話支援を行った方の684人（50.2%）が、医療機関につながっている、相談相手が身近にいる、問題に対して自身で適切に対応していることがわかった。また、電話支援の中で語られたものは、子どもの身体症状や、怒りや不安などといった情緒的問題、学校場面での困難などが多かった。
- ・ 一般  
一般の要支援者は全体で5,359名であり、そのうちの4,027人（75.1%）の方に電話支援、1,332人（24.9%）の方に文書支援を行った。電話支援の結果、医療機関につながっている、相談相手が身近にいる、問題に対して自身で適切に対応していることがわかった方は、ハイリスクでは1,760人（42.1%）、基準点超えでは807人（68.7%）であった。また、電話支援の中で語られた問題は、睡眠の乱れや身体症状、気持ちの落ち込みについてのものが多かった。



### 3 生活習慣への支援

#### 1)対象者

国が指定した避難区域等の住民の方：生年月日が平成7年4月1日以前の方（一般）

#### 2)選定基準

- 1) 睡眠障害のある方
- 2) メディカルコントロール（高血圧・糖尿病）がなされていない方
- 3) 精神疾患「あり」にチェックがあった方
- 4) 自覚症状について災害後悪化が明らかに多い方
- 5) 震災の影響により、過度の喫煙、または飲酒の認められる方
- 6) 調査用紙の欄外に明らかに精神的苦痛、生活困難があると判断される内容が記載されている方

#### 3)まとめ

要支援者数の男女の割合は、女性が55.9%と高かったが、こころの健康度・生活習慣に関する調査<sup>1)</sup>における有効回答(一般)の女性の割合も56.0%とほぼ同じ割合であり、要支援該当者に男女の偏りはなかった。一方、要支援者数の県外者の割合は24.9%と回答者の県外者の割合19.1%に比べ高かった。

電話支援状況の「支援基準該当あり」では、睡眠が最も割合が高かったが、そのうち73.9%の者が電話支援前に医療機関に通院中及び状況改善がみられていた。また、喫煙・飲酒は、電話支援前に解決している割合は低く、市町村との連携を通じ、健康づくりなど継続的な支援が必要であると思われる。

#### 参考資料

- 1)平成23年度県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」第11回検討委員会資料

平成 23 年度 県民健康管理調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

結果報告書

【 目 次 】

平成 23 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」  
調査票別結果

子ども用①	.....	1
子ども用②	.....	4
子ども用③	.....	8
一 般 用	.....	13

平成 23 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」  
調査票別資料

子ども用①	.....	25
子ども用②	.....	26
子ども用③	.....	27
一 般 用	.....	28

平成 23 年度 県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」  
電話等による支援結果（第 10 回検討委員会資料「資料 4」抜粋）

共 通	.....	31
こ ころ	.....	35
生 活 習 慣	.....	41

## 平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用①）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用①)の対象 11,717 人のうち、有効回答は 7,818 人(66.7%)であった。内訳は、男児 3,969 人(50.8%)、女児 3,849 人(49.2%)で、平均年齢は 3.1 歳であった。

現住所は、県内 5,083 人(65.0%)、県外 2,735 人(35.0%)であった。

### 1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 1,612 人(20.7%)、「良好」が 2,789 人(35.9%)、「普通」が 3,210 人(41.2%)、「悪い」が 152 人(2.0%)、「きわめて悪い」が 13 人(0.2%)であった。

### 2. お子様震災で経験したことについて ※ 複数回答（問 2）

震災にて経験したことは、「地震」が 7,757 人、「津波」が 670 人、「原子力発電所事故」が 2,633 人、「いずれもなし」が 26 人であった。

### 3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気は、「ない」が 6,472 人(83.3%)、「ある」が 1,297 人(16.7%)であった。

### 4. 入院の経験について（問 4）

入院の経験は、「ない」が 5,930 人(76.2%)、「ある」が 1,852 人(23.8%)であった。

### 5. 検査の経験について（問 5）

1) CT 検査の経験は、「ない」が 7,100 人(91.3%)、「ある」が 514 人(6.6%)、「わからない」が 162 人(2.1%)であった。

2) その他、X 線を使った検査の経験は、「ない」が 6,124 人(78.9%)、「ある」が 1,201 人(15.5%)、「わからない」が 437 人(5.6%)であった。

「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が 1,071 人、「血管造影」が 58 人、「核医学検査」が 19 人であった。

### 6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 7,609 人(97.9%)、「ある」が 14 人(0.2%)、「わからない」が 147 人(1.9%)であった。

### 7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問 7）

1) 就寝時刻は、平均で午後 9 時 16 分であり、起床時刻は午前 7 時 00 分であった。睡眠時間は、平均で 9 時間 43 分であった。

2) 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が 3,639 人(46.6%)、「はい」が 4,166 人(53.4%)であった。昼寝時間は、平均で 1 時間 47 分であった。

## 8. 食生活について（問8）

- 1) 母乳（お子様は母乳を飲んでますか）は、「はい」が 424 人（5.6%）、「いいえ」が 7,130 人（94.4%）であった。
- 2) 食品（飲料）を食べる（飲む）頻度（平成 24 年 2 月 1 日時点で1歳以上）は、表 1 のとおりであった。

表 1 子ども用①の食品（飲料）を食べる（飲む）頻度（上段人数／下段割合）

		食べ ない	週に 1 回未満	週に 1-2 回	週に 3-4 回	週に 5-6 回	毎日	計
ごはん		5 (0.1%)	1 (0.0%)	15 (0.2%)	119 (1.6%)	445 (5.8%)	7,051 (92.3%)	7,636
パン		92 (1.2%)	1,044 (13.7%)	2,818 (37.1%)	2,026 (26.6%)	739 (9.7%)	889 (11.7%)	7,608
魚料理		107 (1.4%)	931 (12.3%)	3,625 (47.8%)	2,438 (32.1%)	367 (4.8%)	125 (1.6%)	7,593
肉類	とり肉	161 (2.1%)	1,525 (20.1%)	4,157 (54.8%)	1,538 (20.3%)	168 (2.2%)	41 (0.5%)	7,590
	牛肉、豚肉	216 (2.8%)	701 (9.2%)	3,420 (45.1%)	2,760 (36.3%)	414 (5.5%)	85 (1.1%)	7,596
	ハム、ソーセージ	252 (3.3%)	1,154 (15.3%)	3,153 (41.6%)	2,270 (30.0%)	543 (7.2%)	193 (2.6%)	7,565
野菜	緑の葉の野菜	489 (6.4%)	1,183 (15.6%)	2,591 (34.1%)	2,124 (27.9%)	701 (9.2%)	519 (6.8%)	7,607
	赤や黄色の野菜	111 (1.5%)	646 (8.5%)	2,194 (28.8%)	2,685 (35.2%)	1,181 (15.5%)	803 (10.5%)	7,620
	淡色野菜	161 (2.1%)	517 (6.8%)	1,868 (24.5%)	2,912 (38.3%)	1,303 (17.1%)	854 (11.2%)	7,615
	野菜ジュース	2,801 (36.7%)	2,337 (30.7%)	1,163 (15.3%)	676 (8.9%)	302 (4.0%)	334 (4.4%)	7,613
果物	くだもの	190 (2.5%)	774 (10.2%)	1,685 (22.1%)	2,150 (28.2%)	1,160 (15.2%)	1,659 (21.8%)	7,618
	果物ジュース	1,181 (15.5%)	1,902 (25.0%)	1,769 (23.3%)	1,319 (17.4%)	654 (8.6%)	772 (10.2%)	7,597
大豆	納豆	868 (11.4%)	1,756 (23.1%)	2,684 (35.2%)	1,478 (19.4%)	542 (7.1%)	290 (3.8%)	7,618
	味噌汁	167 (2.2%)	421 (5.5%)	1,011 (13.3%)	1,542 (20.2%)	1,503 (19.7%)	2,978 (39.1%)	7,622
	とうふ料理	278 (3.6%)	1,356 (17.8%)	2,895 (38.0%)	2,053 (26.9%)	715 (9.4%)	330 (4.3%)	7,627
	煮豆料理	3,126 (41.1%)	3,122 (41.1%)	1,015 (13.4%)	249 (3.3%)	59 (0.8%)	26 (0.3%)	7,597
牛乳		791 (10.4%)	549 (7.2%)	831 (10.9%)	1,009 (13.2%)	1,213 (15.9%)	3,224 (42.4%)	7,617
豆乳		6,161 (81.1%)	940 (12.4%)	279 (3.7%)	102 (1.3%)	63 (0.8%)	55 (0.7%)	7,600
ヨーグルト、乳酸菌飲料		211 (2.8%)	863 (11.3%)	1,882 (24.6%)	2,024 (26.5%)	1,203 (15.8%)	1,454 (19.0%)	7,637

## 9. 子どもの情緒と行動について（問9）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、震災時4歳以上の回答を集計した。有効回答3,427人のうち、16点<sup>※1</sup>以上が836人(24.4%)、20点<sup>※2</sup>以上が386人(11.3%)であった(図1)。平均総合得点は11.7点であった。

男児では有効回答1,755人のうち、16点以上が476人(27.1%)、20点以上が223人(12.7%)であり、女児では有効回答1,672人のうち、16点以上が360人(21.5%)、20点以上が163人(9.7%)であった(図2)。平均総合得点は男児では12.1点、女児では11.2点であった。

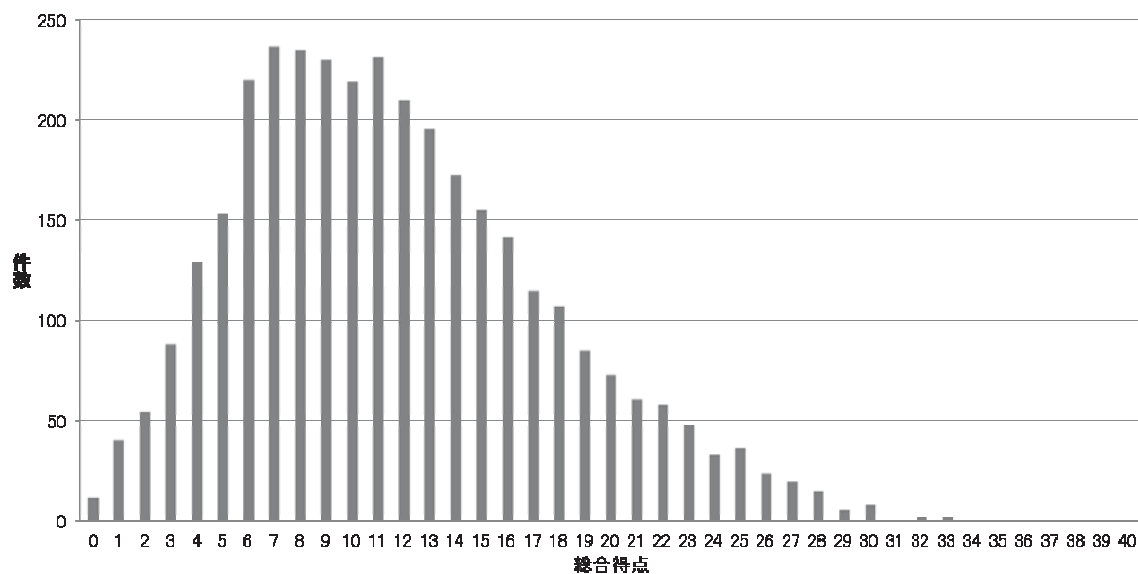


図1 子ども用①の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

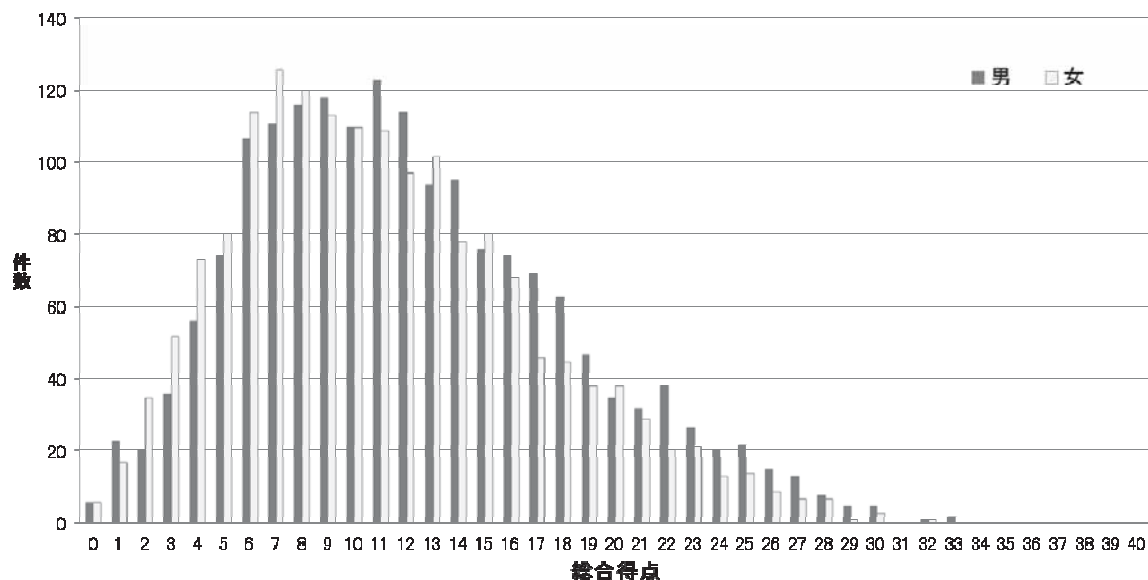


図2 子ども用①の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16点:先行研究で示されている基準

※2 20点:支援を行うために設けた基準

## 平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用②）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用②)の対象 11,791 人のうち、有効回答は 7,464 人(63.3%)であった。内訳は、男児 3,815 人(51.1%)、女児 3,649 人(48.9%)で、平均年齢は 9.5 歳であった。

現住所は、県内 5,404 人(72.4%)、県外 2,060 人(27.6%)であった。

### 1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 1,387 人(18.7%)、「良好」が 2,592 人(34.9%)、「普通」が 3,228 人(43.5%)、「悪い」が 190 人(2.6%)、「きわめて悪い」が 25 人(0.3%)であった。

### 2. お子様震災で経験したことについて ※ 複数回答（問 2）

震災にて経験したことは、「地震」が 7,387 人、「津波」が 873 人、「原子力発電所事故」が 2,953 人、「いずれもなし」が 25 人であった。

### 3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気は、「ない」が 6,303 人(85.0%)、「ある」が 1,116 人(15.0%)であった。

### 4. 入院の経験について（問 4）

入院の経験は、「ない」が 5,454 人(73.5%)、「ある」が 1,971 人(26.5%)であった。

### 5. 検査の経験について（問 5）

- 1) CT 検査の経験は、「ない」が 6,046 人(81.5%)、「ある」が 1,029 人(13.9%)、「わからない」が 343 人(4.6%)であった。
- 2) その他、X 線を使った検査の経験は、「ない」が 5,605 人(76.2%)、「ある」が 1,194 人(16.2%)、「わからない」が 563 人(7.6%)であった。  
「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が 1,072 人、「血管造影」が 68 人、「核医学検査」が 30 人であった。

### 6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 7,211 人(97.1%)、「ある」が 19 人(0.3%)、「わからない」が 195 人(2.6%)であった。

### 7. 睡眠時間について（問 7）

就寝時刻は、平均で午後 9 時 46 分であり、起床時刻は午前 6 時 23 分であった。睡眠時間は、平均で 8 時間 36 分であった。

## 8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が 932 人（12.5%）、「週に 2～4 回している」が 1,495 人（20.1%）、「週 1 回程度している」が 1,075 人（14.4%）、「ほとんどしていない」が 3,950 人（53.0%）であった。

## 9. 食生活について（問9）

食品（飲料）を食べる（飲む）頻度は、表 2 のとおりであった。



表 2 子ども用②の食品(飲料)を食べる(飲む)頻度(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
ごはん		2 (0.0%)	2 (0.0%)	14 (0.2%)	138 (1.9%)	553 (7.4%)	6,750 (90.5%)	7,459
パン		91 (1.2%)	1,204 (16.2%)	2,968 (40.1%)	1,764 (23.8%)	639 (8.6%)	752 (10.1%)	7,418
魚料理		85 (1.1%)	912 (12.3%)	3,794 (51.2%)	2,258 (30.4%)	288 (3.9%)	81 (1.1%)	7,418
肉類	とり肉	63 (0.9%)	1,517 (20.5%)	4,091 (55.3%)	1,535 (20.7%)	166 (2.2%)	33 (0.4%)	7,405
	牛肉、豚肉	35 (0.5%)	395 (5.3%)	3,036 (40.8%)	3,260 (43.9%)	579 (7.8%)	129 (1.7%)	7,434
	ハム、ソーセージ	94 (1.3%)	1,435 (19.4%)	3,244 (43.9%)	2,020 (27.4%)	417 (5.7%)	169 (2.3%)	7,379
野菜	緑の葉の野菜	255 (3.4%)	1,175 (15.8%)	2,643 (35.5%)	2,096 (28.2%)	724 (9.7%)	550 (7.4%)	7,443
	赤や黄色の野菜	133 (1.8%)	920 (12.4%)	2,501 (33.6%)	2,452 (32.9%)	881 (11.8%)	559 (7.5%)	7,446
	淡色野菜	102 (1.4%)	448 (6.0%)	1,773 (23.8%)	2,914 (39.2%)	1,300 (17.5%)	901 (12.1%)	7,438
	野菜ジュース	3,591 (48.5%)	2,075 (28.0%)	849 (11.4%)	476 (6.4%)	179 (2.4%)	248 (3.3%)	7,418
果物	くだもの	203 (2.7%)	1,232 (16.6%)	2,242 (30.1%)	1,902 (25.6%)	817 (11.0%)	1,039 (14.0%)	7,435
	果物ジュース	1,901 (25.7%)	2,333 (31.5%)	1,587 (21.4%)	927 (12.5%)	338 (4.6%)	322 (4.3%)	7,408
大豆	納豆	939 (12.6%)	2,371 (31.9%)	2,640 (35.4%)	1,035 (13.9%)	287 (3.9%)	169 (2.3%)	7,441
	味噌汁	120 (1.6%)	356 (4.8%)	893 (12.0%)	1,531 (20.6%)	1,345 (18.1%)	3,202 (42.9%)	7,447
	とうふ料理	209 (2.8%)	1,426 (19.2%)	3,150 (42.2%)	1,866 (25.1%)	558 (7.5%)	236 (3.2%)	7,445
	煮豆料理	3,284 (44.3%)	3,058 (41.3%)	853 (11.5%)	166 (2.2%)	34 (0.5%)	13 (0.2%)	7,408
牛乳		212 (2.9%)	248 (3.3%)	326 (4.4%)	455 (6.1%)	1,587 (21.4%)	4,592 (61.9%)	7,420
豆乳		6,236 (84.2%)	843 (11.4%)	170 (2.3%)	89 (1.2%)	33 (0.4%)	39 (0.5%)	7,410
ヨーグルト、乳酸菌飲料		279 (3.7%)	1,107 (14.9%)	2,151 (28.8%)	1,867 (25.1%)	862 (11.6%)	1,184 (15.9%)	7,450

## 10. 子どもの情緒と行動について（問 10）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 7,450 人のうち、16 点<sup>※1</sup>以上が 1,637 人(22.0%)、20 点<sup>※2</sup>以上が 809 人(10.9%)であった(図 3)。平均総合得点は 11.0 点であった。

男児では有効回答 3,808 人のうち、16 点以上が 935 人(24.6%)、20 点以上が 479 人(12.6%)であり、女児では有効回答 3,642 人のうち、16 点以上が 702 人(19.3%)、20 点以上が 330 人(9.1%)であった(図 4)。平均総合得点は男児では 11.5 点、女児では 10.4 点であった。

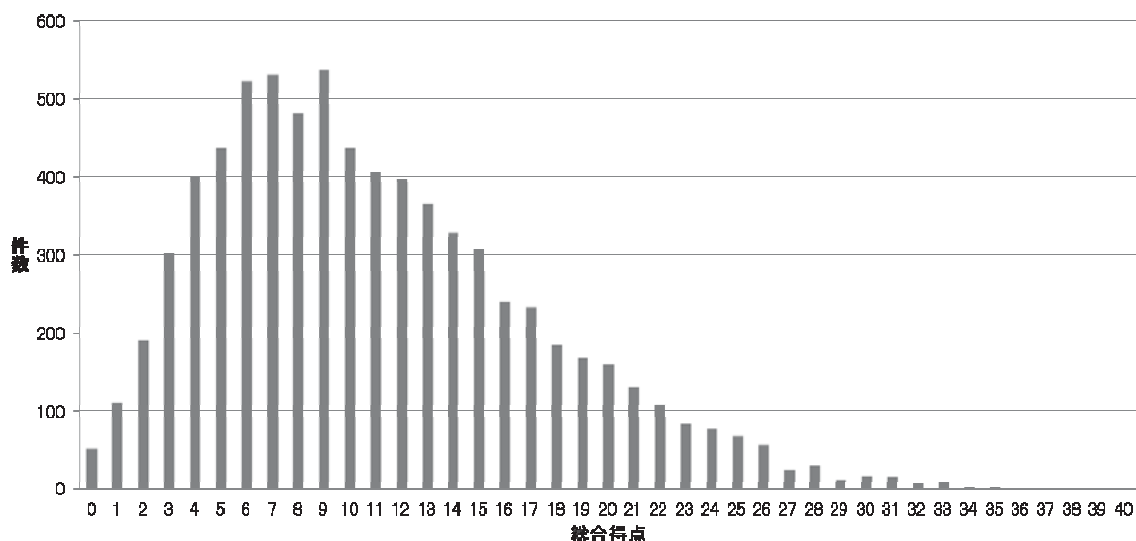


図 3 子ども用②の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

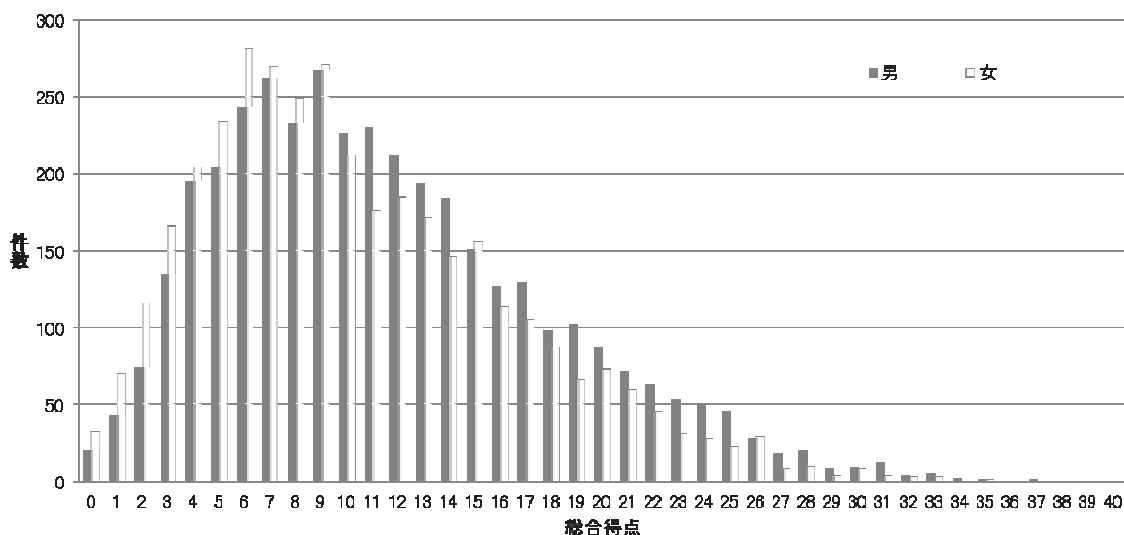


図 4 子ども用②の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 支援を行うために設けた基準

## 平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用③）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(子ども用③)の対象 6,077 人のうち、有効回答は 3,411 人(56.1%)であった。内訳は、男子 1,717 人(50.3%)、女子 1,694 人(49.7%)で、平均年齢は 14.0 歳であった。

現住所は、県内 2,734 人(80.2%)、県外 677 人(19.8%)であった。

### 1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 557 人(22.4%)、「良好」が 679 人(27.3%)、「普通」が 1,139 人(45.7%)、「悪い」が 98 人(3.9%)、「きわめて悪い」が 18 人(0.7%)であった。

### 2. 自覚症状について（問 2）

自覚症状(ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところがありますか)は、「はい」が 983 人(39.6%)、「いいえ」が 1,499 人(60.4%)であった。

どのような症状がみられているかについては表 3、また災害後悪化した症状については表 4 のとおりであった。

表 3 子ども用③の自覚症状の内容(複数回答)

	人数		人数		人数
いらいらしやすい	432	手足の関節が痛む	116	動悸	33
頭痛	376	かゆみ (湿疹・水虫など)	106	歯ぐきのはれ・出血	33
腹痛・胃痛	327	足のむくみやだるさ	88	痔による痛み・ 出血など	19
せきやたんが出る	228	切り傷・ やけどなどのけが	85	かみにくい	9
月経不順・月経痛	166	食欲不振	73	尿失禁(尿がもれる)	6
便秘	151	歯が痛い	70	尿が出にくい・ 排尿時痛い	2
腰痛	151	骨折・ねんざ・脱臼	60	その他	119
めまい	143	息切れ	38		
下痢	134	ゼイゼイする	36		

表 4 子ども用③の災害後悪化した症状(複数回答)

	人数		人数		人数
いらいらしやすい	97	せきやたんが出る	14	骨折・ねんざ・脱臼	5
腹痛・胃痛	57	腰痛	13	切り傷・ やけどなどのけが	3
頭痛	47	動悸	12	かみにくい	2
月経不順・月経痛	33	手足の関節が痛む	11	歯ぐきのはれ・出血	2
便秘	27	息切れ	10	尿失禁(尿がもれる)	1
めまい	27	歯が痛い	6	尿が出にくい・ 排尿時痛い	0
下痢	23	足のむくみやだるさ	6	その他	16
かゆみ (湿疹・水虫など)	16	ゼイゼイする	6		
食欲不振	14	痔による痛み・ 出血など	5		

### 3. 睡眠について (問 3)

睡眠時間は、平均で 6 時間 53 分であった。

### 4. 運動について (問 4)

運動(普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が 755 人(30.2%)、「週に 2~4 回している」が 349 人(14.0%)、「週 1 回程度している」が 221 人(8.8%)、「ほとんどしていない」が 1,176 人(47.0%)、であった。

## 5. 食生活について（問5）

食品（飲料）を食べる（飲む）頻度は、表5のとおりであった。

表5 子ども用③の食品（飲料）を食べる（飲む）頻度（上段人数／下段割合）

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
ごはん		0 (0.0%)	5 (0.2%)	16 (0.6%)	53 (2.1%)	200 (8.0%)	2,224 (89.1%)	2,498
パン		80 (3.2%)	443 (17.8%)	926 (37.2%)	529 (21.3%)	223 (9.0%)	286 (11.5%)	2,487
魚料理		52 (2.1%)	353 (14.2%)	1,195 (48.1%)	748 (30.1%)	81 (3.3%)	54 (2.2%)	2,483
肉類	とり肉	29 (1.2%)	471 (19.0%)	1,271 (51.3%)	579 (23.4%)	100 (4.0%)	27 (1.1%)	2,477
	牛肉、豚肉	23 (0.9%)	184 (7.4%)	975 (39.1%)	975 (39.1%)	260 (10.5%)	76 (3.0%)	2,493
	ハム、ソーセージ	81 (3.3%)	553 (22.3%)	955 (38.5%)	589 (23.8%)	192 (7.7%)	110 (4.4%)	2,480
野菜	緑の葉の野菜	89 (3.6%)	359 (14.4%)	745 (29.9%)	679 (27.2%)	314 (12.6%)	308 (12.3%)	2,494
	赤や黄色の野菜	61 (2.4%)	275 (11.0%)	747 (30.0%)	766 (30.8%)	362 (14.5%)	283 (11.3%)	2,494
	淡色野菜	30 (1.2%)	132 (5.3%)	517 (20.8%)	865 (34.7%)	503 (20.2%)	444 (17.8%)	2,491
	野菜ジュース	1,281 (51.5%)	552 (22.2%)	289 (11.6%)	154 (6.2%)	99 (4.0%)	113 (4.5%)	2,488
果物	くだもの	167 (6.7%)	542 (21.8%)	722 (29.0%)	529 (21.2%)	262 (10.5%)	269 (10.8%)	2,491
	果物ジュース	631 (25.4%)	650 (26.2%)	556 (22.4%)	319 (12.8%)	168 (6.8%)	160 (6.4%)	2,484
大豆	納豆	617 (24.8%)	835 (33.5%)	633 (25.4%)	249 (10.0%)	90 (3.6%)	66 (2.7%)	2,490
	味噌汁	83 (3.3%)	184 (7.4%)	294 (11.8%)	426 (17.1%)	441 (17.7%)	1,067 (42.7%)	2,495
	とうふ料理	142 (5.7%)	550 (22.0%)	826 (33.1%)	636 (25.5%)	216 (8.7%)	125 (5.0%)	2,495
	煮豆料理	1,177 (47.4%)	883 (35.5%)	317 (12.8%)	69 (2.8%)	26 (1.0%)	13 (0.5%)	2,485
牛乳		322 (12.9%)	238 (9.6%)	238 (9.6%)	229 (9.2%)	472 (19.0%)	990 (39.7%)	2,489
豆乳		2,065 (83.0%)	257 (10.3%)	62 (2.5%)	42 (1.7%)	29 (1.2%)	32 (1.3%)	2,487
ヨーグルト、乳酸菌飲料		232 (9.3%)	473 (18.9%)	677 (27.1%)	482 (19.3%)	244 (9.8%)	390 (15.6%)	2,498

## 6. お子様が震災で経験したことについて ※ 複数回答（問 6）

震災にて経験したことは、「地震」が2,355人、「津波」が305人、「原子力発電所事故」が1,018人、「いずれもなし」が6人であった。

## 7. 治療中の病気について（問 7）

治療中の病気は、「ない」が2,838人(85.2%)、「ある」が492人(14.8%)であった。

## 8. 入院の経験について（問 8）

入院の経験は、「ない」が2,621人(78.8%)、「ある」が704人(21.2%)であった。

## 9. 検査の経験について（問 9）

- 1) CT検査の経験は、「ない」が2,597人(78.0%)、「ある」が605人(18.2%)、「わからない」が126人(3.8%)であった。
- 2) その他、X線を使った検査の経験は、「ない」が2,524人(76.7%)、「ある」が544人(16.5%)、「わからない」が223人(6.8%)であった。  
「ある」と回答した人のうち、「透視検査」が469人、「血管造影」が34人、「核医学検査」が12人であった。

## 10. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 10）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が3,253人(97.4%)、「ある」が7人(0.2%)、「わからない」が79人(2.4%)であった。

### 11. 子どもの情緒と行動について（問 11）

子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 3,332 人のうち、16 点以上が 539 人(16.2%)、20 点以上が 256 人(7.7%)であった(図 5)。平均総合得点は 9.7 点であった。

男子では有効回答 1,681 人のうち、16 点以上が 266 人(15.8%)、20 点以上が 123 人(7.3%)であり、女子では有効回答 1,651 人のうち、16 点以上が 273 人(16.5%)、20 点以上が 133 人(8.1%)であった(図 6)。平均総合得点は男子では 9.5 点、女子では 9.8 点であった。

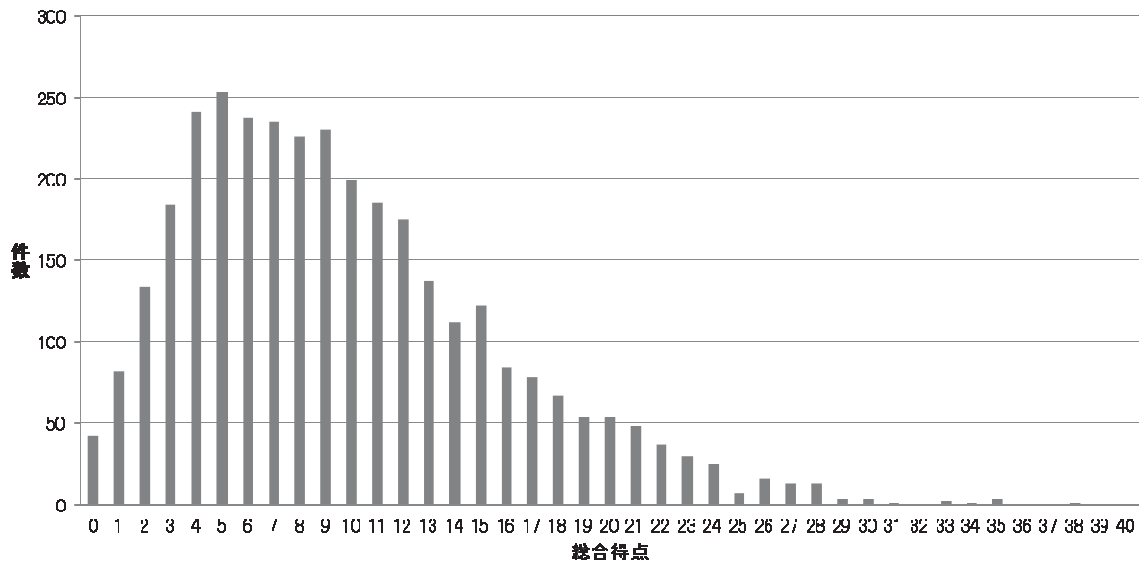


図 5 子ども用③の子どもの情緒と行動(SDQ)：全体

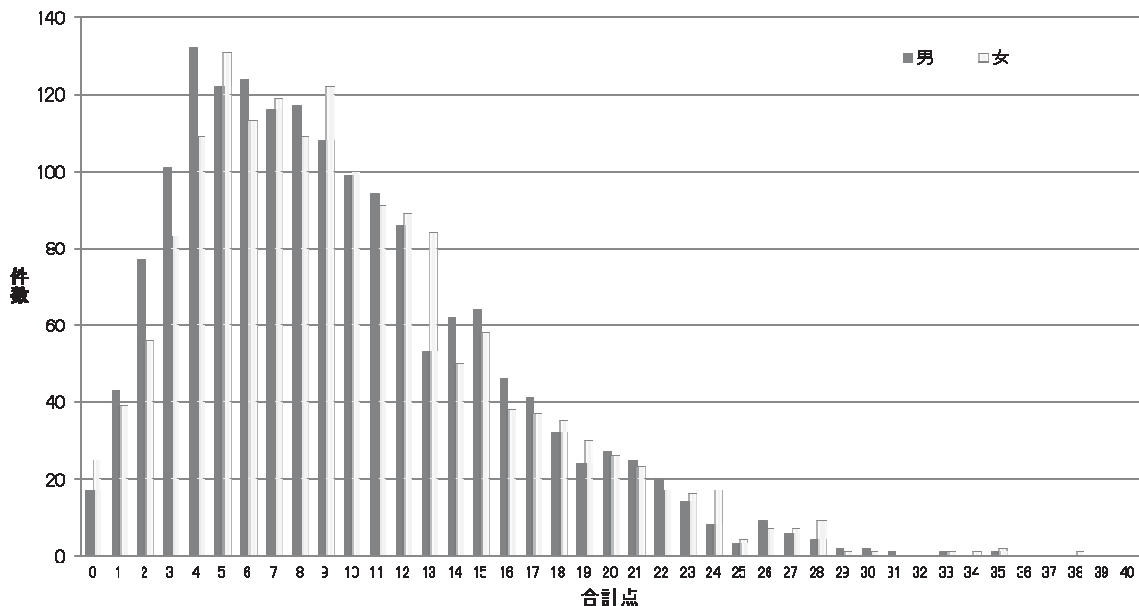


図 6 子ども用③の子どもの情緒と行動(SDQ)：男女別

- ※1 16 点：先行研究で示されている基準
- ※2 20 点：支援を行うために設けた基準

## 平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）の対象 180,604 人のうち、有効回答は 73,433 人（40.7%）であった。内訳は、男性 32,301 人（44.0%）、女性 41,132 人（56.0%）で、平均年齢は 55.5 歳であった。

現住所は、県内 59,435 人（80.9%）、県外 13,998 人（19.1%）であった。

### 1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 2,667 人（4.2%）、「良好」が 8,533 人（13.6%）、「普通」が 39,972 人（63.7%）、「悪い」が 10,499 人（16.7%）、「きわめて悪い」が 1,116 人（1.8%）であった。

### 2. 既往歴について（問 2）

既往歴（今まで、次のような病気にかかっていると医師に診断されたことがありますか）は、表 6 のとおりであった。



表 6 一般用の傷病別の診断経験および通院状況(上段人数/下段割合)

傷病名	有効 回答数	診断された経験		現在の通院状況	
		ない	ある	はい	いいえ
高血圧 (または、血圧が高い)	71,984	41,405 (57.5%)	30,579 (42.5%)	23,560 (78.4%)	6,479 (21.6%)
糖尿病 (または、血糖が高い)	70,722	56,725 (80.2%)	13,997 (19.8%)	6,657 (48.4%)	7,092 (51.6%)
高脂血症 (または、コレステロールや中性脂肪が高い)	70,881	46,097 (65.0%)	24,784 (35.0%)	12,119 (50.3%)	11,980 (49.7%)
がん (白血病やリンパ腫を含む)	70,303	66,863 (95.1%)	3,440 (4.9%)		
脳卒中	70,743	66,889 (94.6%)	3,854 (5.4%)		
(脳卒中の種類) 複数回答					
脳こうそく			2,278		
脳出血			457		
くも膜下出血			338		
その他			314		
わからない			600		
心臓病	70,859	63,584 (89.7%)	7,275 (10.3%)		
(心臓病の種類) 複数回答					
心筋梗塞			1,096		
狭心症			2,398		
その他			2,928		
わからない			1,122		
慢性肝炎	70,473	68,856 (97.7%)	1,617 (2.3%)		
(慢性肝炎の種類) 複数回答					
B 型肝炎			377		
C 型肝炎			518		
その他			687		
肺炎 (この 10 年くらいの間で)	70,554	68,122 (96.6%)	2,432 (3.4%)		
50 歳以後の骨折 (震災時 50 歳以上の回答を集計)	45,969	40,705 (88.5%)	5,264 (11.5%)		
甲状腺疾患	70,431	68,084 (96.7%)	2,347 (3.3%)		
(甲状腺疾患種類)					
甲状腺機能亢進症(バセドウ病)			588		
甲状腺機能低下症			674		
その他			877		
精神疾患	69,978	65,822 (94.1%)	4,156 (5.9%)		

### 3. 検査の経験について（問3）

- 1) CT検査の経験は、「ない」が37,849人(52.4%)、「ある」が31,566人(43.8%)、「わからない」が2,729人(3.8%)であった。
- 2) 透視検査の経験は、「ない」が26,293人(36.5%)、「ある」が44,300人(61.6%)、「わからない」が1,383人(1.9%)であった。
- 3) その他、血管造影検査、核医学検査、PET検査のいずれか経験は、「ない」が59,471人(83.6%)、「ある」が8,289人(11.6%)、「わからない」が3,428人(4.8%)であった。  
「ある」と回答した人のうち、「血管造影検査」が5,801人、「核医学検査」が669人、「PET検査」が1,481人であった。

### 4. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問4）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が68,089人(94.9%)、「ある」が1,293人(1.8%)、「わからない」が2,393人(3.3%)であった。

### 5. 自覚症状について（問5）

自覚症状(ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところがありますか)は、「はい」が37,878人(59.8%)、「いいえ」が25,468人(40.2%)であった。

「はい」と回答した人のうち、症状の内訳は表7、また災害後悪化した症状は表8のとおりであった。

表7 一般用の自覚症状の内容(複数回答)

	人数		人数		人数
腰痛	16,103	足のむくみやだるさ	6,504	痔による痛み・出血など	2,398
いらいらしやすい	15,032	動悸	5,504	ゼイゼイする	2,071
頭痛	12,192	歯が痛い	4,729	かみにくい	1,986
手足の関節が痛む	10,116	歯ぐきのはれ・出血	4,723	尿が出にくい・排尿時痛い	1,601
便秘	8,749	息切れ	4,679	切り傷・やけどなどのけが	1,507
せきやたんが出る	7,925	下痢	3,821	骨折・ねんざ・脱臼	1,352
かゆみ (湿疹・水虫など)	7,456	尿失禁(尿がもれる)	3,504	その他	3,706
腹痛・胃痛	7,386	食欲不振	2,869		
めまい	7,371	月経不順・月経痛	2,736		

表 8 一般用の災害後悪化した症状(複数回答)

	人数		人数		人数
いらいらしやすい	3,524	かゆみ (湿疹・水虫など)	874	尿失禁(尿がもれる)	364
腰痛	2,283	せきやたんが出る	798	ゼイゼイする	225
頭痛	1,741	月経不順・月経痛	670	かみにくい	199
手足の関節が痛む	1,546	歯ぐきのはれ・出血	630	尿が出にくい・ 排尿時痛い	172
腹痛・胃痛	1,166	歯が痛い	587	骨折・ねんざ・脱臼	147
便秘	1,135	息切れ	529	切り傷・ やけどなどのけが	57
めまい	1,123	食欲不振	473	その他	680
動悸	975	下痢	441		
足のむくみやだるさ	888	痔による痛み・ 出血など	371		

## 6. 日常生活機能について (問 6)

- 1) 日常生活機能(それぞれの行為について、ひとりでできるかどうかをお答えください)は、表 9 のとおりであった。

表 9 一般用の日常生活機能(人数(割合))

日常生活での行為	ひとりで できる	ひとりでは できない	有効回答数
1. 介助なしに食事をする(食事のしたくは含まない)	70,950(98.7%)	952 (1.3%)	71,902
2. 介助なしに衣服の着替えをする	70,314 (97.9%)	1,537 (2.1%)	71,851
3. 介助なしにトイレで用をたす	70,615 (98.3%)	1,219 (1.7%)	71,834
4. 日用品の買い物をする	67,390 (93.9%)	4,358 (6.1%)	71,748

- 2) レクリエーション活動(レクリエーション活動(カラオケやゲートボール等)や地域の仕事(お祭り等)へ参加することがありますか)は、「ない、めったにない」が 46,291 人(64.8%)、「ときどき参加する」が 19,424 人(27.2%)、「よく参加する」が 5,678 人(8.0%)であった。

## 7. 睡眠について（問7）

- 1) 睡眠満足度は、「満足している」が17,587人(33.3%)、「少し不満」が24,675人(46.8%)、「かなり不満」が8,180人(15.5%)、「非常に不満か、全く眠れなかった」が2,312人(4.4%)であった。
- 2) 睡眠に関する経験(以下の経験が少なくとも週3回以上ありましたか)は、表10のとおりであった。

表10 一般用の睡眠に関する経験(人数(割合))

	ある	ない	有効回答数
1. 夜、床に入ってから寝つくまでの時間がかかる	27,001 (44.9%)	33,078 (55.1%)	60,079
2. 夜間、睡眠途中で目が覚める	38,655 (63.9%)	21,865 (36.1%)	60,520
3. 希望する起床時刻より早く目覚め、それ以上眠れない	22,633 (38.6%)	35,927 (61.4%)	58,560
4. 総睡眠時間が不足する	23,393 (40.5%)	34,312 (59.5%)	57,705
5. 日中の気分がめいる	17,941 (31.6%)	38,913(68.4%)	56,854
6. 日中の身体的および精神的な活動が低下する	19,409 (33.7%)	38,164 (66.3%)	57,573
7. 日中の眠気	29,583 (50.6%)	28,864 (49.4%)	58,447

## 8. 喫煙について（問8）

- 1) 喫煙(タバコ(紙巻きタバコ)を吸いますか?葉巻やパイプは除きます。)は、「吸ったことがない」が40,375人(57.0%)、「やめた」が15,827人(22.3%)、「吸っている」が14,643人(20.7%)であった。  
「吸っている」と回答した人のうち、平均1日本数は16.0本、平均喫煙年数は25.8年であった。
- 2) 受動喫煙(この10年ほどの間に、家庭や職場などで人が吸ったタバコの煙を吸わされることがありましたか?)は、「毎日」が16,190人(25.3%)、「週4-5日程度」が6,101人(9.5%)、「ときどき」が21,940人(34.2%)、「めったにない」が19,880人(31.0%)であった。
- 3) 震災以前の喫煙(平成23年3月11日の震災以前に、タバコを吸っていましたか?)は、「吸っていなかった」が50,588人(75.6%)、「吸っていた」が16,290人(24.4%)であった。

## 9. 飲酒について（問9）

1) 飲酒（お酒（アルコール飲料）を飲みますか）は、「飲まない、または、ほとんど飲まない」が 37,286 人（52.1%）、「やめた」が 2,720 人（3.8%）、「飲む（月に 1 回以上）」が 31,532 人（44.1%）であった。

「飲む（月に 1 回以上）」と回答した人のうち、種類別に飲む頻度は表 11 のとおりであった。1 日あたりの平均飲酒量は、エタノール重量に換算すると 26.3g であり、ビール大瓶 1 本（25.3g）と同程度であった。多量飲酒者（1 日にエタノール重量 43.2g（日本酒 2 合）以上）は、飲酒（問 9）の有効回答者 71,538 人のうち 6,853 人（9.6%）であった。

2) 震災以前の飲酒は、「飲んでいなかった、またはほとんど飲んでいなかった（月に 1 回未満）」が 39,847 人（58.0%）、「飲んでいて（月に 1 回以上）」が 28,858 人（42.0%）であった。

表 11 一般用の種類別の飲酒頻度（上段人数／下段割合）

お酒の種類		飲まない	飲む頻度（当てはまるもの 1 つに✓）					計
			週に 1 回未満	週に 1-2 回	週に 3-4 回	週に 5-6 回	毎日	
ビール	大瓶	7,587 (69.0%)	1,108 (10.1%)	603 (5.5%)	364 (3.3%)	272 (2.5%)	1,058 (9.6%)	10,992
	中瓶・中缶	5,776 (39.7%)	2,219 (15.3%)	1,868 (12.8%)	1,311 (9.0%)	824 (5.7%)	2,552 (17.5%)	14,550
	小瓶・小缶	5,388 (35.4%)	3,052 (20.1%)	2,163 (14.2%)	1,413 (9.3%)	829 (5.5%)	2,355 (15.5%)	15,200
日本酒		7,798 (46.2%)	2,935 (17.4%)	1,757 (10.4%)	1,170 (6.9%)	768 (4.6%)	2,447 (14.5%)	16,875
焼酎		5,893 (30.7%)	3,180 (16.5%)	2,258 (11.7%)	1,739 (9.0%)	1,362 (7.1%)	4,814 (25.0%)	19,246
ワイン		8,323 (64.1%)	2,851 (22.0%)	979 (7.6%)	384 (3.0%)	147 (1.1%)	280 (2.2%)	12,964
洋酒※	シングル	9,956 (85.6%)	846 (7.3%)	333 (2.9%)	165 (1.4%)	73 (0.6%)	254 (2.2%)	11,627
	ダブル	10,242 (89.7%)	475 (4.2%)	232 (2.0%)	103 (0.9%)	83 (0.7%)	282 (2.5%)	11,417

※ ウイスキーやブランデー等

## 10. 食生活について（問 10）

食品（飲料）を食べる（飲む）頻度は、表 12 のとおりであった。

表 12 一般用の食品（飲料）を食べる（飲む）頻度（上段人数／下段割合）

		食べ ない	週に 1 回未満	週に 1-2 回	週に 3-4 回	週に 5-6 回	毎日	計
ごはん		272 (0.4%)	216 (0.3%)	719 (1.0%)	2,522 (3.5%)	5,155 (7.1%)	63,730 (87.7%)	72,614
パン		7,485 (11.0%)	19,724 (29.1%)	19,086 (28.1%)	9,702 (14.3%)	3,675 (5.4%)	8,224 (12.1%)	67,896
魚料理		1,144 (1.6%)	8,318 (11.6%)	23,601 (32.9%)	24,993 (34.8%)	6,611 (9.2%)	7,086 (9.9%)	71,753
肉類	とり肉	4,473 (6.5%)	20,517 (29.8%)	30,380 (44.1%)	11,378 (16.5%)	1,383 (2.0%)	756 (1.1%)	68,887
	牛肉、豚肉	2,635 (3.7%)	13,022 (18.4%)	30,601 (43.2%)	20,286 (28.6%)	3,117 (4.4%)	1,183 (1.7%)	70,844
	ハム、ソーセージ	6,334 (9.2%)	24,127 (34.9%)	24,604 (35.6%)	10,512 (15.2%)	2,063 (3.0%)	1,416 (2.1%)	69,056
野菜	緑の葉の野菜	1,659 (2.3%)	9,178 (12.8%)	19,273 (26.8%)	20,193 (28.2%)	9,087 (12.6%)	12,464 (17.3%)	71,854
	赤や黄色の野菜	1,414 (2.0%)	9,672 (13.5%)	21,047 (29.3%)	21,329 (29.7%)	8,920 (12.4%)	9,374 (13.1%)	71,756
	淡色野菜	610 (0.8%)	4,467 (6.2%)	14,257 (19.9%)	23,693 (33.0%)	13,223 (18.4%)	15,556 (21.7%)	71,806
	野菜ジュース	32,234 (46.7%)	18,246 (26.4%)	8,699 (12.6%)	4,457 (6.5%)	1,885 (2.7%)	3,485 (5.1%)	69,006
果物	くだもの	5,629 (7.9%)	14,394 (20.1%)	16,236 (22.7%)	13,653 (19.1%)	7,158 (10.0%)	14,453 (20.2%)	71,523
	果物ジュース	28,103 (41.5%)	20,659 (30.4%)	10,556 (15.5%)	4,853 (7.1%)	1,594 (2.3%)	2,179 (3.2%)	67,944
大豆	納豆	7,142 (10.0%)	14,271 (20.0%)	19,723 (27.7%)	14,654 (20.5%)	6,195 (8.7%)	9,368 (13.1%)	71,353
	味噌汁	1,998 (2.8%)	4,327 (6.0%)	7,423 (10.3%)	11,059 (15.3%)	9,881 (13.7%)	37,502 (51.9%)	72,190
	とうふ料理	2,189 (3.1%)	11,749 (16.4%)	22,202 (31.0%)	20,182 (28.2%)	8,465 (11.8%)	6,811 (9.5%)	71,598
	煮豆料理	21,302 (30.6%)	27,841 (39.9%)	12,308 (17.7%)	5,022 (7.2%)	1,649 (2.4%)	1,545 (2.2%)	69,667
牛乳		19,590 (27.9%)	12,385 (17.6%)	10,166 (14.5%)	8,360 (11.9%)	4,495 (6.4%)	15,255 (21.7%)	70,251
豆乳		50,550 (74.4%)	9,864 (14.5%)	3,196 (4.7%)	1,812 (2.7%)	806 (1.2%)	1,702 (2.5%)	67,930
ヨーグルト、乳酸菌飲料		11,552 (16.2%)	14,626 (20.5%)	13,721 (19.2%)	10,969 (15.4%)	5,646 (7.9%)	14,783 (20.8%)	71,297

### 11. 運動について（問 11）

運動は、「ほとんど毎日している」が 10,581 人(14.9%)、「週に 2~4 回している」が 14,402 人(20.3%)、「週 1 回程度している」が 9,905 人(13.9%)、「ほとんどしていない」が 36,229 人(50.9%)であった。

### 12. 全般的な精神健康状態について（問 12）

全般的な精神健康状態(K6)は、有効回答 59,807 人のうち、13 点<sup>\*1</sup>以上が 8,717 人(14.6%)、20 点<sup>\*2</sup>以上が 1,954 人(3.3%)であった(図 7)。平均点は 6.3 点であった。

男性では有効回答 26,321 人のうち、13 点以上が 3,133 人(11.9%)、20 点以上が 670 人(2.5%)であり、女性では有効回答 33,486 人のうち、13 点以上が 5,584 人(16.7%)、20 点以上が 1,284 人(3.8%)であった(図 8)。男性の平均点は 5.5 点、女性の平均点は 6.8 点であった。

年齢階級別は、表 13 のとおりである。

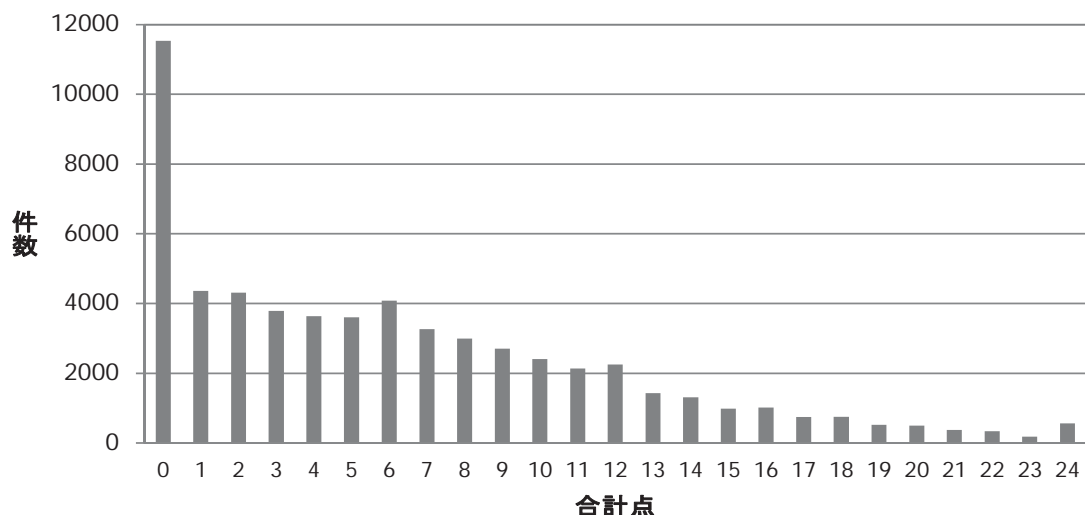


図 7 一般用 全般的な精神健康状態(K6):全体

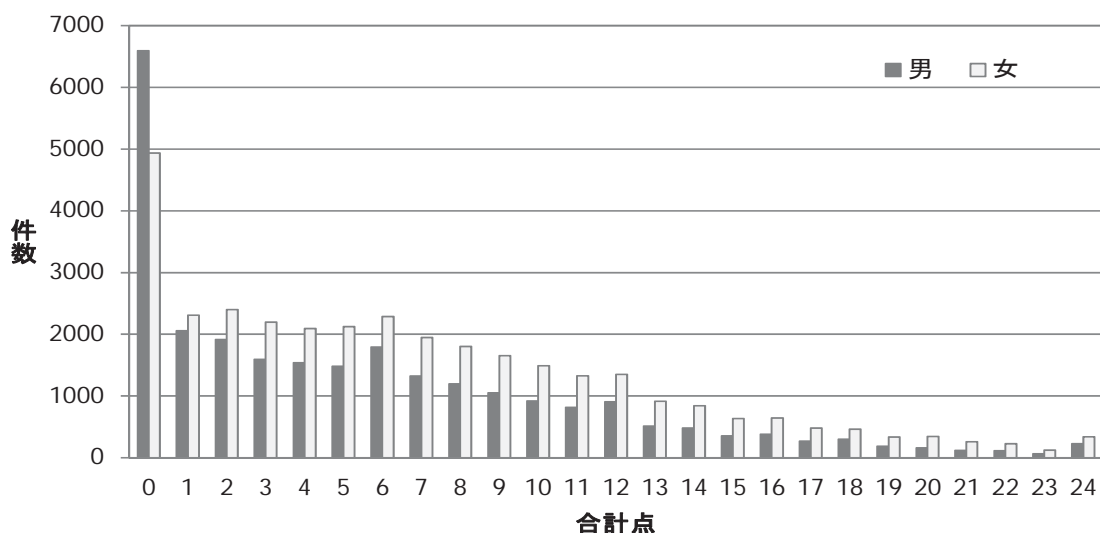


図 8 一般用 全般的な精神健康状態(K6):男女別

表 13 一般用の全般的な精神健康状態(K6):年齢階級別 (人数(割合))

	13 点以上	20 点以上	有効回答数
10 代	197 (9.8%)	38 (1.9%)	2,020
20 代	720 (14.4%)	155 (3.1%)	5,004
30 代	1,176 (14.0%)	261 (3.1%)	8,423
40 代	1,135 (14.6%)	265 (3.4%)	7,756
50 代	1,727 (14.9%)	337 (2.9%)	11,557
60 代	1,969 (14.6%)	442 (3.3%)	13,494
70 代以上	1,793 (15.5%)	456 (3.9%)	11,553

※1 13 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 支援を行うために設けた基準

### 13. トラウマ反応について (問 13)

トラウマ反応(PCL)は、有効回答 60,704 人のうち、44 点<sup>※3</sup>以上が 13,111 人(21.6%)、65 点<sup>※4</sup>以上が 2,791 人(4.6%)であった(図 9)。平均点は 33.0 点であった。

男性では有効回答 26,752 人のうち、44 点以上が 4,864 人(18.2%)、65 点以上が 1,041 人(3.9%)であり、女性では有効回答 33,952 人のうち、44 点以上が 8,247 人(24.3%)、65 点以上が 1,750 人(5.2%)であった(図 10)。男性の平均点は 31.2 点、女性の平均点は 34.4 点であった。

年齢階級別は、表 14 のとおりである。

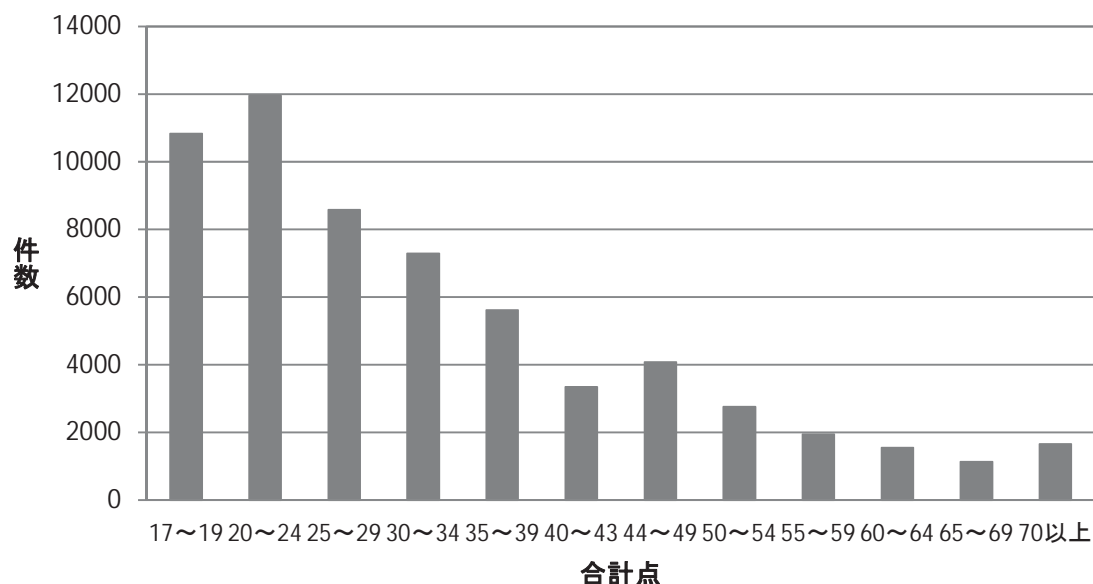


図 9 一般用のトラウマ反応(PCL): 全体



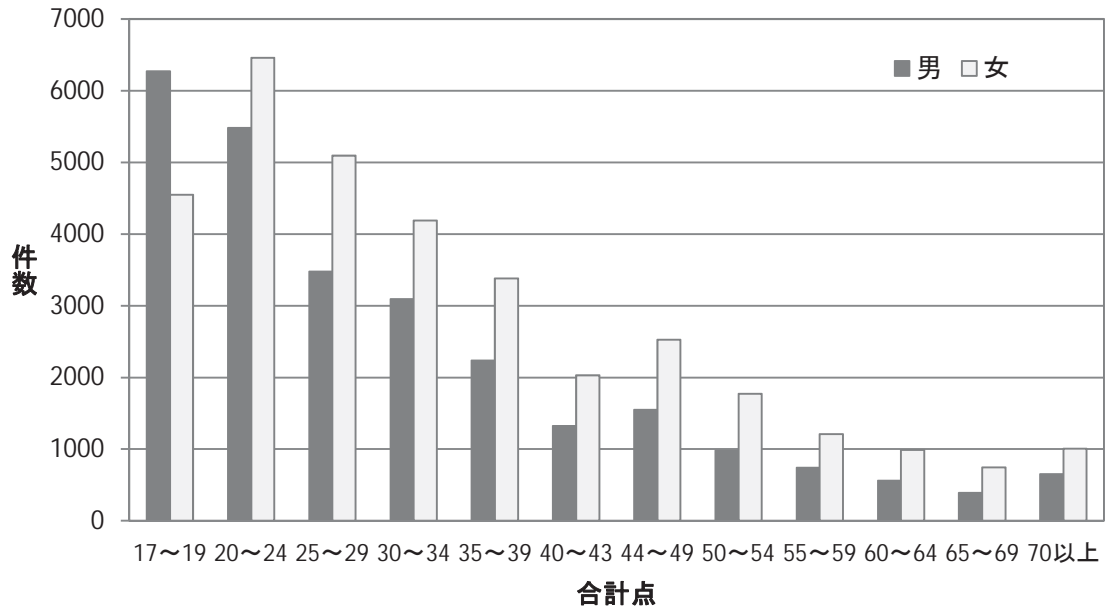


図 10 一般用のトラウマ反応(PCL):男女別

表 14 一般用のトラウマ反応(PCL):年齢階級別 (人数(割合))

	44 点以上	65 点以上	有効回答数
10 代	201 (9.9%)	25 (1.2%)	2,029
20 代	904 (18.0%)	182 (3.6%)	5,031
30 代	1,579 (18.6%)	282 (3.3%)	8,476
40 代	1,477 (18.9%)	322 (4.1%)	7,803
50 代	2,317 (19.9%)	443 (3.8%)	11,653
60 代	3,228 (23.3%)	666 (4.8%)	13,835
70 代以上	3,405 (28.7%)	871 (7.3%)	11,877

※3 44 点:先行研究で示されている基準

※4 65 点:支援を行うために設けた基準

### 14. 震災で経験したことについて（問 14）

- 1) 震災にて経験したこと(複数回答)は、「地震」が 69,700 人、「津波」が 14,757 人、「原子力発電所事故」が 38,392 人、「いずれもなし」が 1,095 人であった。
- 2) 震災による行政の家屋被害認定結果は、「被害なし」が 18,551 人(27.3%)、「一部損壊」が 38,485 人(56.5%)、「半壊」が 5,225 人(7.7%)、「大規模半壊」が 1,963 人(2.9%)、「全壊」が 3,832 人(5.6%)であった。
- 3) 震災による死別体験(今回の震災で、身近な人を亡くされましたか。)は、「はい」が 14,091 人(19.9%)、「いいえ」が 56,670 人(80.1%)であった。  
「はい」と回答した人の死別人数は、「1～3 人」が 10,272 人(79.2%)、「4～6 人」が 1,802 人(13.9%)、「7～9 人」が 391 人(3.0%)、「10 人以上」が 511 人(3.9%)であった。
- 4) 現在の住まい(震災によってお住まいはどのように変わりましたか)は、複数回答 717 人を除外すると、「避難所」が 734 人(1.3%)、「仮設住宅」が 6,896 人(12.0%)、「借家・アパート」が 22,947 人(40.0%)、「親戚宅」が 2,460 人(4.3%)、「持家」が 21,459 人(37.5%)、「その他」が 2,778 人(4.9%)であった。
- 5) 仕事の状況(震災や原発事故によってお仕事の状況は変わりましたか)は、「変わった」が 36,507 人(54.0%)、「変わらない」が 31,133 人(46.0%)であった。  
「変わった」と回答した人のうち、どのように変わったか(複数回答)については、「無職だったが新しく仕事を始めた」が 1,261 人、「失業した」が 14,241 人、「転職した」が 2,807 人、「稼ぎが増えた」が 869 人、「稼ぎが減った」が 12,952 人、「その他」が 12,090 人であった。

### 15. 放射線の健康影響についての認識について（問 15）

放射線の健康影響についての認識は、表 15 のとおりであった。

表 15 一般用の放射線の健康影響についての認識

		可能性は 極めて低い	←	→	可能性は 非常に高い
1	現在の放射線被ばくで、急性の健康障害(例えば、1ヶ月以内に死亡するなど)がどのくらい起こると思いますか？	39,687 (66.0%)	11,774 (19.6%)	4,707 (7.8%)	3,964 (6.6%)
2	現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害(例えば、がんの発症など)がどのくらい起こると思いますか？	13,345 (22.1%)	17,958 (29.8%)	13,906 (23.1%)	15,094 (25.0%)
3	現在の放射線被ばくで、次世代以降の人(将来生まれてくる自分の子や孫など)への健康影響がどれくらい起こると思いますか？	9,174 (15.2%)	14,827 (24.6%)	15,241 (25.3%)	20,978 (34.9%)



## 平成 23 年度 県民健康管理調査

### 「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

#### 資 料

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用①）」資料

		人数	割合
性別 (平均年齢 3.1歳)	(回答者数 7,818人)	・男児 ・女児	3,969 50.8% 3,849 49.2%
住所別	(回答者数 7,818人)	・県内 ・県外	5,083 65.0% 2,735 35.0%
問1 健康状態	(有効回答 7,776人)	・きわめて良好 ・良好 ・普通 ・悪い ・きわめて悪い	1,612 20.7% 2,789 35.9% 3,210 41.2% 152 2.0% 13 0.2%
問2 震災での経験	※複数回答	・地震 ・津波 ・原子力発電所事故(爆発音を聞いた) ・いずれもなし	7,757 — 670 — 2,633 — 26 —
問3 治療中の病気	(有効回答 7,769人)	・ない ・ある	6,472 83.3% 1,297 16.7%
問4 入院の経験	(有効回答 7,782人)	・ない ・ある	5,930 76.2% 1,852 23.8%
問5 検査の経験			
1)CT検査	(有効回答 7,776人)	・ない ・ある ・わからない	7,100 91.3% 514 6.6% 162 2.1%
2)その他、X線を使った検査	(有効回答 7,762人)	・ない ・ある(※ある場合の検査内容) (透視検査) (血管造影) (核医学検査) ・わからない	6,124 78.9% 1,201 15.5% (1,071) — (58) — (19) — 437 5.6%
問6 放射線療法の経験	(有効回答 7,770人)	・ない ・ある ・わからない	7,609 97.9% 14 0.2% 147 1.9%
問7 睡眠時間と昼寝の有無			
1)睡眠時間	(有効回答 7,803人)	・平均睡眠時間 9時間43分 ・平均就寝時間 午後9時16分 ・平均起床時間 午前7時00分	
2)昼寝の有無	(有効回答 7,805人)	・いいえ ・はい (平均昼寝時間 1時間47分)	3,639 46.6% 4,166 53.4%
問8 食生活			
1)母乳による授乳	(有効回答 7,554人)	・はい ・いいえ	424 5.6% 7,130 94.4%
2)食品等を食べる頻度	—	・本文中に掲載	— —
問9 SDQ(4歳以上)	(有効回答 3,427人) (有効回答 1,755人) (有効回答 1,672人)	・平均総合得点 11.7点 ・平均総合得点 男 12.1点 ・平均総合得点 女 11.2点 ・16点以上 (男) (女) ・20点以上 (男) (女)	836 24.4% (476) — (360) — 386 11.3% (223) — (163) —

※()は内数

平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用②）」資料

		人数	割合
性別	(回答者数 7,464人)		
(平均年齢 9.5歳)		・男児 3,815	51.1%
		・女児 3,649	48.9%
住所別	(回答者数 7,464人)		
		・県内 5,404	72.4%
		・県外 2,060	27.6%
問1 健康状態	(有効回答 7,422人)		
		・きわめて良好 1,387	18.7%
		・良好 2,592	34.9%
		・普通 3,228	43.5%
		・悪い 190	2.6%
		・きわめて悪い 25	0.3%
問2 震災での経験	※複数回答		
		・地震 7,387	—
		・津波 873	—
		・原子力発電所事故(爆発音を聞いた)	2,953
		・いずれもなし 25	—
問3 治療中の病気	(有効回答 7,419人)		
		・ない 6,303	85.0%
		・ある 1,116	15.0%
問4 入院の経験	(有効回答 7,425人)		
		・ない 5,454	73.5%
		・ある 1,971	26.5%
問5 検査の経験			
1)CT検査	(有効回答 7,418人)		
		・ない 6,046	81.5%
		・ある 1,029	13.9%
		・わからない 343	4.6%
2)その他、X線を使った検査	(有効回答 7,362人)		
		・ない 5,605	76.2%
		・ある(※ある場合の検査内容)	1,194
		(透視検査)	(1,072) —
		(血管造影)	(68) —
		(核医学検査)	(30) —
		・わからない 563	7.6%
問6 放射線療法	(有効回答 7,425人)		
		・ない 7,211	97.1%
		・ある 19	0.3%
		・わからない 195	2.6%
問7 睡眠時間	(有効回答 7,430人)		
		・平均睡眠時間 8時間36分	
		・平均就寝時間 午後9時46分	
		・平均起床時間 午前6時23分	
問8 普段の運動量	(有効回答 7,452人)		
		・ほとんど毎日している 932	12.5%
		・週に2~4回している 1,495	20.1%
		・週1回程度している 1,075	14.4%
		・ほとんどしていない 3,950	53.0%
問9 食生活	—		
		・本文中に掲載	—
問10 SDQ	(有効回答 7,450人)		
	(有効回答 3,808人)	・平均総合得点 男 11.5点	
	(有効回答 3,642人)	・平均総合得点 女 10.4点	
		・16点以上 1637	22.0%
		(男) (935)	—
		(女) (702)	—
		・20点以上 809	10.9%
		(男) (479)	—
		(女) (330)	—

※()は内数

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（子ども用③）」資料

		人数	割合
性別	(回答者数 3,411人)	・男子	1,717 50.3%
(平均年齢 14.0歳)		・女子	1,694 49.7%
住所別	(回答者数 3,411人)	・県内	2,734 80.2%
		・県外	677 19.8%
問1 健康状態	(有効回答 2,491人)	・きわめて良好	557 22.4%
		・良好	679 27.3%
		・普通	1,139 45.7%
		・悪い	98 3.9%
		・きわめて悪い	18 0.7%
問2 自覚症状	(有効回答 2,482人)	・はい	983 39.6%
	※複数回答	〔ある場合の症状(本文中に掲載)〕	— —
		〔災害後悪化した症状(本文中に掲載)〕	— —
		・いいえ	1,499 60.4%
問3 睡眠時間	(有効回答 2,501人)	・平均睡眠時間 6時間53分	
問4 運動	(有効回答 2,501人)	・ほとんど毎日している	755 30.2%
		・週に2~4回している	349 14.0%
		・週1回程度している	221 8.8%
		・ほとんどしていない	1,176 47.0%
問5 食生活	—	・本文中に掲載	— —
問6 震災での経験	※複数回答	・地震	2,355 —
		・津波	305 —
		・原子力発電所事故(爆発音を聞いた)	1,018 —
		・いずれもなし	6 —
問7 治療中の病気	(有効回答 3,330人)	・ない	2,838 85.2%
		・ある	492 14.8%
問8 入院の経験	(有効回答 3,325人)	・ない	2,621 78.8%
		・ある	704 21.2%
問9 検査の経験			
1)CT検査	(有効回答 3,328人)	・ない	2,597 78.0%
		・ある	605 18.2%
		・わからない	126 3.8%
2)その他、X線を使った検査	(有効回答 3,291人)	・ない	2,524 76.7%
		・ある(※ある場合の検査内容)	544 16.5%
		(透視検査)	(469) —
		(血管造影)	(34) —
		(核医学検査)	(12) —
		・わからない	223 6.8%
問10 放射線療法	(有効回答 3,339人)	・ない	3,253 97.4%
		・ある	7 0.2%
		・わからない	79 2.4%
問11 SDQ	(有効回答 3,332人)	・平均総合得点 9.7点	
	(有効回答 1,681人)	・平均総合得点 男 9.5点	
	(有効回答 1,651人)	・平均総合得点 女 9.8点	
		・16点以上	539 16.2%
		(男)	(266) —
		(女)	(273) —
		・20点以上	256 7.7%
		(男)	(123) —
		(女)	(133) —

※()は内数

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」資料

			人数	割合
性別	(回答者数 73,433人)	・男性	32,301	44.0%
(平均年齢 55.5歳)		・女性	41,132	56.0%
住所別	(回答者数 73,433人)	・県内	59,435	80.9%
		・県外	13,998	19.1%
問1 健康状態	(有効回答 62,787人)	・きわめて良好	2,667	4.2%
		・良好	8,533	13.6%
		・普通	39,972	63.7%
		・悪い	10,499	16.7%
		・きわめて悪い	1,116	1.8%
問2 既往歴	—	・本文中に掲載	—	—
問3 検査の受診				
1) CT検査	(有効回答 72,144人)	・ない	37,849	52.5%
		・ある	31,566	43.7%
		・わからない	2,729	3.8%
2) 透視検査	(有効回答 71,976人)	・ない	26,293	36.5%
		・ある	44,300	61.6%
		・わからない	1,383	1.9%
2) その他検査	(有効回答 71,188人)	・ない	59,471	83.6%
		・ある(※ある場合の検査内容)	8,289	11.6%
		(血管造影検査)	(5,801)	—
		(核医学検査)	(669)	—
		(PET検査)	(1,481)	—
		・わからない	3,428	4.8%
問4 放射線療法	(有効回答 71,775人)	・ない	68,089	94.9%
		・ある	1,293	1.8%
		・わからない	2,393	3.3%
問5 自覚症状	(有効回答 63,346人)	・はい	37,878	59.8%
	※複数回答	{(ある場合の症状(※本文中に掲載))	—	—
		{(災害後悪化した症状(※本文中に掲載))	—	—
		・いいえ	25,468	40.2%
問6 1) 日常生活機能	—	・本文中に掲載	—	—
問6 2) レクリエーション参加	(有効回答 71,393人)	・ない、めったにない	46,291	64.8%
		・ときどき参加する	19,424	27.2%
		・よく参加する	5,678	8.0%
問7 睡眠				
1) 睡眠(最近)1カ月間	(有効回答 52,754人)	・満足している	17,587	33.3%
		・少し不満	24,675	46.8%
		・かなり不満	8,180	15.5%
		・非常に不満か、全く眠れなかった	2,312	4.4%
2) 睡眠に関する経験	—	・本文中に掲載	—	—
問8 喫煙				
1) たばこ	(有効回答 70,845人)	・吸ったことがない	40,375	57.0%
		・やめた	15,827	22.3%
		・吸っている	14,643	20.7%
		(平均1日本数 16.0本)	—	—
		(平均喫煙年数 25.8年)	—	—
2) 受動喫煙	(有効回答 64,111人)	・毎日	16,190	25.3%
		・週4-5日程度	6,101	9.5%
		・ときどき参加する	21,940	34.2%
		・めったにない	19,880	31.0%
3) 喫煙(震災以前)	(有効回答 66,878人)	・吸っていなかった	50,588	75.6%
		・吸っていた	16,290	24.4%

※()は内数



			人数	割合
問9 お酒				
1) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 71,538人)		・飲まない、または、ほとんど飲まない	37,286	52.1%
		・やめた	2,720	3.8%
		・飲む(月1回以上)	31,532	44.1%
		(飲む酒類と頻度 ※本文中に掲載)	—	—
2) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 68,705人)		・飲まない、または、ほとんど飲まない	39,847	58.0%
(震災以前)		・飲む(月1回以上)	28,858	42.0%
問10 食生活	※複数回答	・本文中に掲載	—	—
問11 運動 (有効回答 71,117人)		・ほとんど毎日している	10,581	14.9%
		・週に2~4回している	14,402	20.3%
		・週1回程度している	9,905	13.9%
		・ほとんどしていない	36,229	50.9%
問12 精神健康状態(K6) (有効回答 59,807人)		・平均点 6.3点		
(※男の有効回答 26,321人)		・平均点 男 5.5点		
(※女の有効回答 33,486人)		・平均点 女 6.8点		
		・13点以上	8,717	14.6%
		(男)	(3,133)	11.9%
		(女)	(5,584)	16.7%
		(年齢階層別 ※本文中に掲載)	—	—
		・20点以上	1,954	3.3%
		(男)	(670)	2.5%
		(女)	(1,284)	3.8%
		(年齢階層別 ※本文中に掲載)	—	—
問13 トラウマ反応(PCL) (有効回答 60,704人)		・平均点 33.0点		
(※男の有効回答 26,752人)		・平均点 男 31.2点		
(※女の有効回答 33,952人)		・平均点 女 34.4点		
		・44点以上	13,111	21.6%
		(男)	(4,864)	18.2%
		(女)	(8,247)	24.3%
		(年齢階層別 ※本文中に掲載)	—	—
		・65点以上	2,791	4.6%
		(男)	(1,041)	3.9%
		(女)	(1,750)	5.2%
		(年齢階層別 ※本文中に掲載)	—	—
問14 東日本大災害について				
1) 震災での経験 ※複数回答		・地震	69,700	—
		・津波	14,757	—
		・原子力発電所事故(爆発音を聞いた)	38,392	—
		・いずれもなし	1,095	—
2) 家屋被害認定結果 (有効回答 68,056人)		・被害なし	18,551	27.3%
		・一部損壊	38,485	56.5%
		・半壊	5,225	7.7%
		・大規模	1,963	2.9%
		・全壊	3,832	5.6%
3) 震災による死別体験 (有効回答 70,761人)		・はい	14,091	19.9%
(死別人数有効回答 12,976人)		(1~3人)	(10,272)	79.2%
		(4~6人)	(1,802)	13.9%
		(7~9人)	(391)	3.0%
		(10人以上)	(511)	3.9%
		・いいえ	56,670	80.1%
4) 現在の住まい (有効回答 57,274人)		・避難所	734	1.3%
		・仮設住宅	6,896	12.0%
		・借家・アパート	22,947	40.0%
		・親戚宅	2,460	4.3%
		・持家	21,459	37.5%
		・その他	2,778	4.9%
5) 仕事の状況 (有効回答 67,640人)		・変わった	36,507	54.0%
		(新しく仕事を始めた)	(1,261)	—
		(失業した)	(14,241)	—
		(転職した)	(2,807)	—
	※複数回答	(稼ぎが増えた)	(869)	—
		(稼ぎが減った)	(12,952)	—
		(その他)	(12,090)	—
		・変わらない	31,133	46.0%
問15 放射線の健康影響	—	・本文中に掲載	—	—
問16~19	—	・省略	—	—

※()は内数

## 平成 23 年度 県民健康管理調査

### 「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

#### 電話等による支援結果

(第 10 回検討委員会資料「資料 4」抜粋)

## (1) 目的

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」回答者のうち、こころの健康度・生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方に、適切なケアを提供することを目的に、臨床心理士や保健師・看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話等による相談や情報提供等を実施する。

## (2) 方法

### ① 調査対象者

国が指定した避難区域等の住民の方で、生年月日が平成23年3月10日以前の方

### ② 支援基準

#### ア) こころのケア

##### ・ ハイリスク

子ども：問1（主観的健康観）で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、SDQ（子どもの行動）が20点以上

一般：問1（主観的健康観）で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、K6（全般精神健康度）が20点以上またはPCL（トラウマ関連）が65点以上

##### ・ 基準点超え

子ども：問1で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、SDQ（子どもの行動）が16点以上19点以下

一般：問1で「普通」「悪い」「きわめて悪い」にチェックがあり、K6が13点以上19点以下かつPCLが44点以上64点以下

#### イ) 生活習慣に関するケア（「一般」のみ対象）

- ・ 睡眠障害のある方
- ・ メディカルコントロール（高血圧・糖尿病）がなされていない方
- ・ 精神疾患「あり」にチェックがあった方
- ・ 自覚症状について災害後悪化が明らかに多い方
- ・ 過度の喫煙、または飲酒の認められる方

#### ウ) こころのケア・生活習慣に関するケア 共通

- ・ 調査用紙の欄外に明らかに精神的苦痛、生活困難があると判断される内容が記載されている方

### ③ 支援方法

#### ア) 電話支援

「こころの健康支援チーム」が回答内容を上記の基準により確認し、支援が必要と思われる方に対して電話をかけ、こころの健康度や生活習慣病予防、生活支援等に関する問題について支援を実施した。

イ) 文書による支援（情報提供）

・こころのケア

「ハイリスク」のうち電話番号の記載のなかった方や留守等の理由で電話支援ができなかった方と、「基準点超え」の対象者全員に、心のケア手帳「ほっと安心手帳」（内閣府作成）を送付するとともに、相談窓口として、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルを案内した。

・生活習慣に関するケア

対象者全員に、生活習慣病予防に関するパンフレットを送付するとともに、相談窓口として、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルを案内した。

④ 電話支援対象者の選定

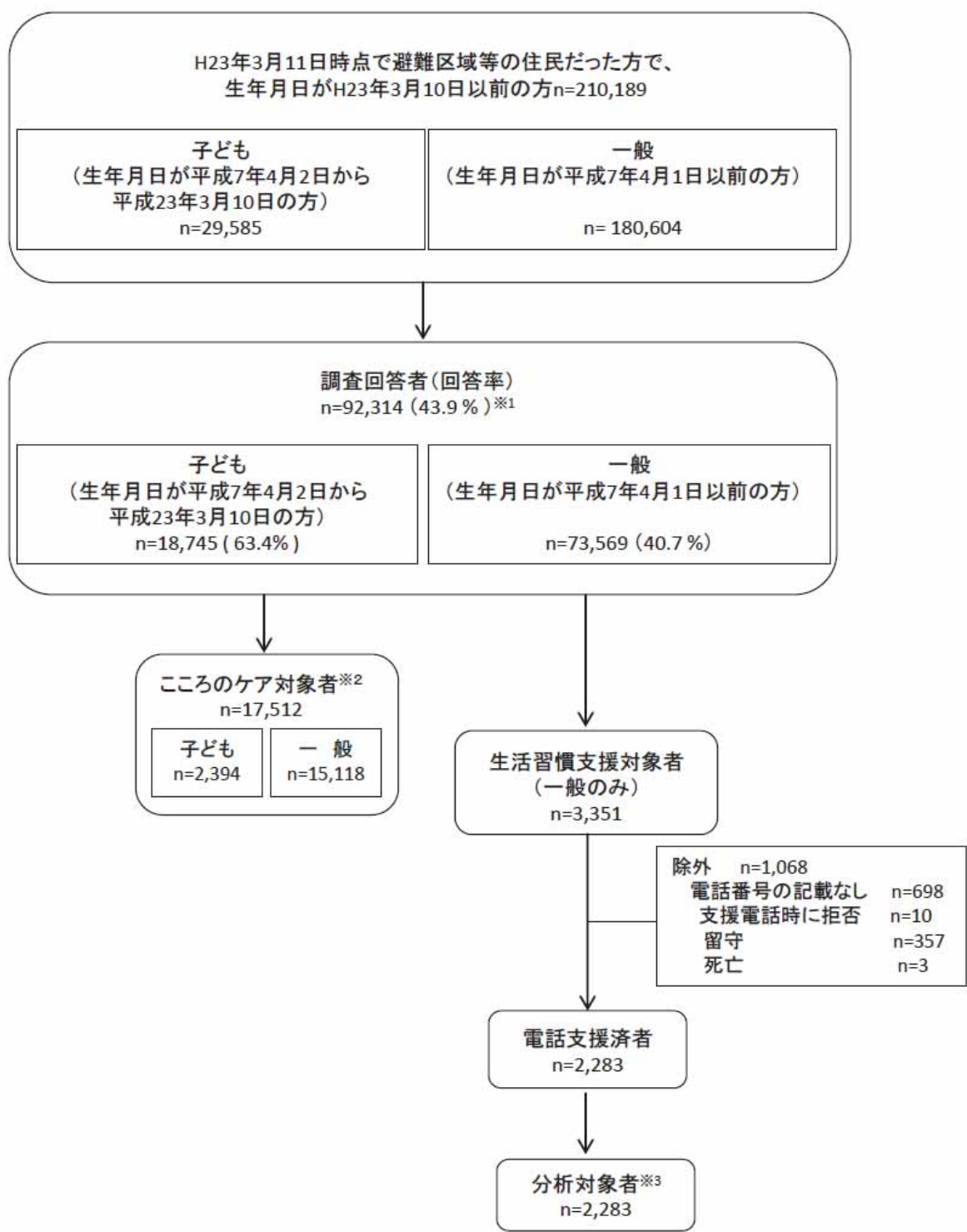
ア) こころのケア（図1、図2）

避難区域等の住民で生年月日が平成23年3月10日以前の方は、210,189名であり、92,314名（43.9%）から調査票の回収があった。そのうち「子ども」（生年月日が平成7年4月2日から平成23年3月10日までの方）は18,745名、「一般」（生年月日が平成7年4月1日以前の方）は73,569名であった。

こころのケア支援対象者におけるハイリスクの方は、子ども1,328名、一般4,220名であり、そのうち支援希望がなかった方などを除く、子ども1,327名、一般4,185名に電話支援を実施した。また、基準点を超えた方11,964名の方に電話支援の希望を尋ねるハガキを送付し、電話による支援を希望した方が、子ども36名、一般1,174名であり、ハイリスクと合わせて、子ども1,363名、一般5,359名の方に電話支援を実施した。

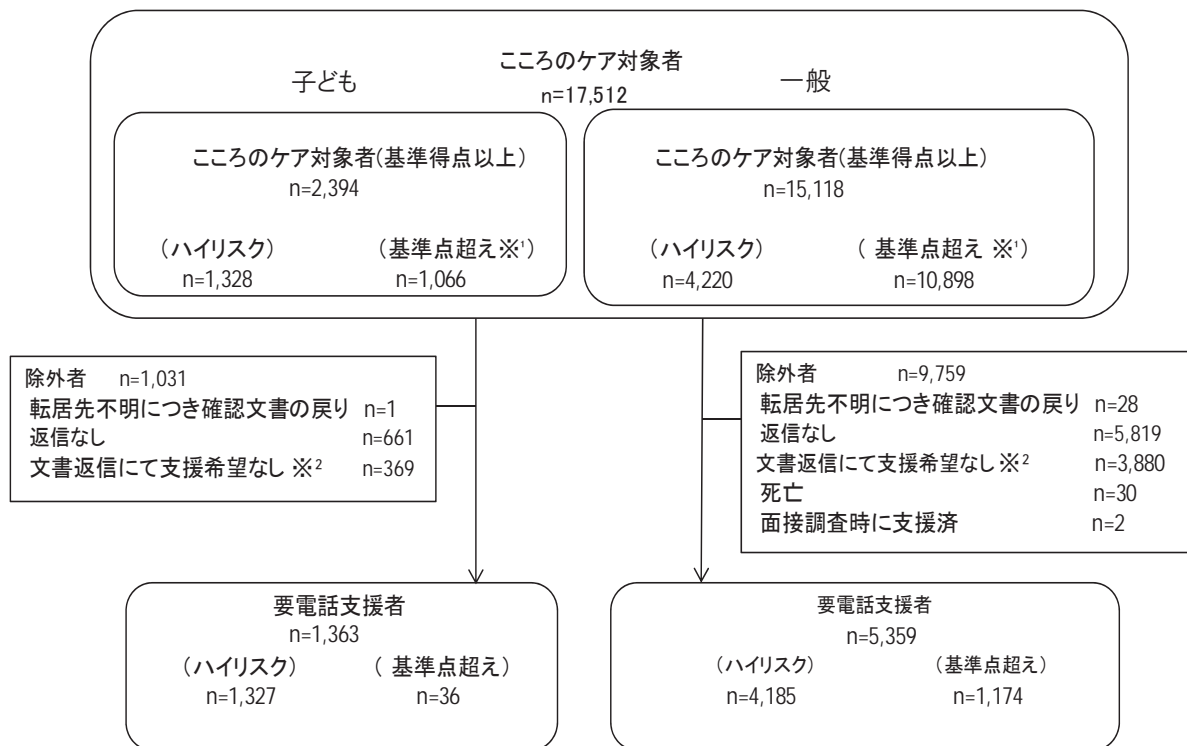
イ) 生活習慣に関するケア（図1）

避難区域等の住民で生年月日が平成7年4月1日以前の方は、180,604名であった。そのうち73,569名（40.7%）から調査票の回収があり、生活習慣支援対象者は3,351名（4.6%）であった。生活習慣要支援対象者のうち、電話番号の記載がなかった方や留守等の理由で電話支援ができなかった方1,068名（31.9%）を除く2,283名（68.1%）に電話支援を実施した。電話支援した方のうち、県内は1,714名（75.1%）、県外が569名（24.9%）であった。



※<sup>1</sup> 平成24年10月31日暫定。重複も含む。  
 ※<sup>2</sup> 詳細については、図2参照。  
 ※<sup>3</sup> 分析結果については、11ページ～13ページ参照。

図1 対象者の選定



※<sup>1</sup> 2012年8月下旬に基準点超えの方全てに送付

ハイリスクの方の支援を優先的に支援を行った後、基準点超えの方もこころの健康リスクの可能性が否定できないため、文章送付を行い現在の状態把握をし支援希望の方など支援が必要と思われる方に電話支援を行った。

※<sup>2</sup> はがき返信時に支援を希望なしに丸を付けた方に対しては除外対象とした

図2 対象者の選定  
(こころのケア詳細)

### (3) こころのケア 結果

#### ① 要支援状況

##### ア) 子ども

子どもの要支援者は全体で 1,363 名であった。要支援者 1,363 名のうち男児が 757 名 (55.5%)、女児が 606 名 (44.5%) であった。また、全体の 86.6%の方に電話支援を行うことができた。

表1 子ども要支援状況 (性別)

	全体 n=1,363	子ども① n=457	子ども② n=675	子ども③ n=231
要支援者数				
男児	757 (55.5)	255 (55.8)	390 (57.8)	112 (48.5)
女児	606 (44.5)	202 (44.2)	285 (42.2)	119 (51.5)
電話支援済み	1,180 (86.6)	401 (87.7)	589 (87.3)	190 (82.3)
文書支援済み	183 (13.4)	56 (12.3)	86 (12.7)	41 (17.7)

表中の値はn(%)

基準点超えの支援希望者が少数(36名)のため、ハイリスク、基準点超えを分けず集計

##### イ) 一般

一般の要支援者は全体で 5,359 名であった。要支援者 5,359 名のうち男性が 1,966 名 (36.7%)、女性が 3,393 名 (63.3%) であった。また、電話支援済み全体のうち 26.9%が県外であり、1,084 人の県外避難者への電話支援を行うことができた。

表2 一般要支援状況 (性別、居住地)

	全体 n=5,359	ハイリスク n=4,185	基準点超え n=1,174
要支援者数			
男性	1,966 (36.7)	1,512 (36.1)	454 (38.7)
女性	3,393 (63.3)	2,673 (63.9)	720 (61.3)
電話支援済み	4,027	2,983	1,044
県内	2,943 (73.1)	2,145 (71.9)	798 (76.4)
県外	1,084 (26.9)	838 (28.1)	246 (23.6)
文書支援済み	1,332	1,202	130
県内	1,096 (82.3)	998 (83.0)	98 (75.4)
県外	236 (17.7)	204 (17.0)	32 (24.6)

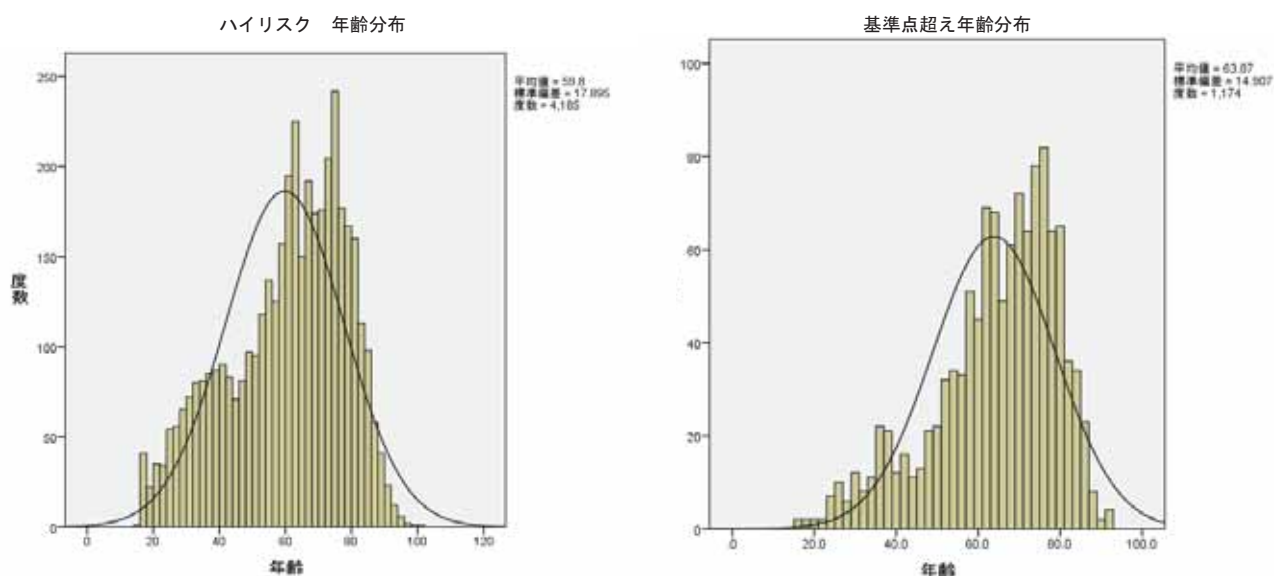
表中の値はn(%)

県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地

表3 一般要支援者状況（年代別）

年齢	【全体 n=5,359】		【県内 n=4,039】		【県外 n=1,320】	
	ハイリスク n=4,185	基準点超え n=1,174	ハイリスク n=3,143	基準点超え n=896	ハイリスク n=1,042	基準点超え n=278
10代	64 (1.5)	6 (0.5)	37 (1.2)	2 (0.2)	27 (2.6)	4 (1.4)
20代	244 (5.8)	32 (2.7)	152 (4.8)	22 (2.5)	92 (8.8)	10 (3.6)
30代	405 (9.7)	71 (6.0)	251 (8.0)	32 (3.6)	154 (14.8)	39 (14.0)
40代	422 (10.1)	80 (6.8)	308 (9.8)	57 (6.4)	114 (10.9)	23 (8.3)
50代	632 (15.1)	181 (15.4)	469 (14.9)	125 (14.0)	163 (15.6)	56 (20.1)
60代	936 (22.4)	303 (25.8)	730 (23.2)	243 (27.1)	206 (19.8)	60 (21.6)
70代	967 (23.1)	360 (30.7)	813 (25.9)	302 (33.7)	154 (14.8)	58 (20.9)
80代以上	515 (12.3)	141 (12.0)	383 (12.2)	113 (12.6)	132 (12.7)	28 (10.1)

表中の値はn(%)  
県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地



② 電話支援結果

ア) 子ども

電話支援の結果、経過観察1と判断された要支援者は、684名（50.2%）であり、経過観察2と判断された要支援者は、414名（30.4%）であった。

表4 子ども電話支援結果内訳

	全体 n=1,363	子ども① n=457	子ども② n=675	子ども③ n=231
支援済み結果				
電話支援済				
経過観察1	684 (50.2)	292 (63.9)	294 (43.6)	98 (42.4)
経過観察2	414 (30.4)	87 (19.0)	254 (37.6)	73 (31.6)
経過観察3	22 (1.6)	6 (1.3)	9 (1.3)	7 (3.0)
支援希望なし	2 (0.1)	1 (0.2)	0 (0.0)	1 (0.4)
紹介状	2 (0.1)	2 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
県内登録医師一覧送付	29 (2.1)	8 (1.8)	19 (2.8)	2 (0.9)
県外医療機関資料送付	5 (0.4)	0 (0.0)	4 (0.6)	1 (0.4)
他部門の対応	22 (1.6)	5 (1.1)	9 (1.3)	8 (3.5)
文書支援済	183 (13.5)	56 (12.3)	86 (12.8)	41 (17.7)

表中の値はn(%)



表5 子ども居住地（県内外別）内訳

	全体	県内	県外	
	n=1,363	n=883	n=480	
支援済み結果				
電話支援済	経過観察1	684 (50.2)	475 (53.8)	209 (43.5)
	経過観察2	414 (30.4)	240 (27.2)	174 (36.3)
	経過観察3	22 (1.6)	8 (0.9)	14 (2.9)
	支援希望なし	2 (0.1)	2 (0.2)	0 (0.0)
	紹介状	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.4)
	県内登録医師一覧送付	29 (2.1)	20 (2.3)	9 (1.9)
	県外医療機関資料送付	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (1.0)
	他部門の対応	22 (1.6)	15 (1.7)	7 (1.5)
	文書支援済	183 (13.4)	123 (13.9)	60 (12.5)

表中の値はn(%)

県内は、H23年度調査票回収時の最新居住地

イ) 一般

電話支援の結果、経過観察 1 と判断された要支援者は、ハイリスクでは 1,760 名 (42.1%)、基準点超えでは 807 名 (68.7%) であった。また、経過観察 2 と判断された要支援者は、ハイリスクでは 943 名 (22.5%)、基準点超えでは 180 名 (15.3%) であった。

表6 一般電話支援結果内訳

	【全体 n=5,359】		【県内 n=4,039】		【県外 n=1,320】		
	ハイリスク n=4,185	基準点超え n=1,174	ハイリスク n=3,143	基準点超え n=896	ハイリスク n=1,042	基準点超え n=278	
支援済み結果							
電話支援済	経過観察1	1,760 (42.1)	807 (68.7)	1,346 (42.8)	632 (70.5)	414 (39.7)	175 (62.9)
	経過観察2	943 (22.5)	180 (15.3)	593 (18.9)	124 (13.8)	350 (33.6)	56 (20.1)
	経過観察3	87 (2.1)	28 (2.4)	60 (1.9)	22 (2.5)	27 (2.6)	6 (2.2)
	支援希望なし	24 (0.6)	8 (0.7)	16 (0.5)	6 (0.7)	8 (0.8)	2 (0.7)
	紹介状	1 (0.1未満)	0 (0.0)	1 (0.1未満)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	県内登録医師一覧送付	117 (2.8)	11 (0.9)	108 (3.4)	9 (1.0)	9 (0.9)	2 (0.7)
	県外医療機関資料送付	20 (0.5)	0 (0.0)	5 (0.2)	0 (0.0)	15 (1.4)	0 (0.0)
	他部門の対応	31 (0.7)	10 (0.9)	16 (0.5)	5 (0.6)	15 (1.4)	5 (1.8)
	文書支援済	1,202 (28.7)	130 (11.1)	998 (31.8)	98 (10.9)	204 (19.6)	32 (11.5)

表中の値はn(%)

県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地

《子どもの区分について》

- 子ども①：生年月日が平成 16 年 4 月 2 日から平成 23 年 3 月 11 日までの方（就学前乳幼児）
- 子ども②：生年月日が平成 10 年 4 月 2 日から平成 16 年 4 月 1 日までの方（小学生）
- 子ども③：生年月日が平成 7 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までの方（中学生）

《結果の分類について》

- 経過観察 1：医療機関につながっている、もしくは相談相手が身近にいることが確認でき、問題に対して、自身で適切に対応されていると判断できるもの。
- 経過観察 2：医療機関につながっていない、相談相手が身近にいない、もしくは医療機関や家族等からのサポートへの満足度が低い等、問題に対して自身で適切に対応されていると判断できないもの。
- 経過観察 3：支援拒否ではないが、口数が少なく、状況の確認ができなかったもの。
- 支援希望なし：支援の必要はないと、相手から明確に伝えられたもの。
- 他部門の対応：甲状腺検査等、他の部門から回答するのが望ましいと判断されたもの。

③ ハイリスク該当者における「電話支援済み」の対象者を取り巻く問題

対象者がどのような問題を抱えているかを把握するために、電話支援を行った際の記録をもとに語られた問題を類型化し（表7、表8）、概念図を作成した（図3、図4）。

《子ども》

表7 対象者を取り巻く問題（子ども）

<p><b>A.子どもの反応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 身体の不調（身体に現れた症状や問題）</li> <li>b 学校への影響（不登校など学校場面についての問題や訴え）</li> <li>c イライラ・暴力（怒りや衝動性に基づく行動や感情の問題）</li> <li>d 不安・抑うつ（不安感、抑うつが根底にあると認められる行動や問題）</li> <li>e 地震・放射線への反応（地震や放射線に関する子ども自身の反応）</li> <li>f 食行動の変化（食行動やそれに伴う体重変化に関する問題や訴え）</li> <li>g 睡眠の乱れ（睡眠に関する問題や訴え）</li> </ul> <p><b>B. 保護者・家庭の問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 保護者自身（保護者自身のストレス反応）</li> <li>b 住まい（住環境に基づく問題や訴え）</li> <li>c 家族内関係（家族の状況や関係性の変化による問題）</li> <li>d 放射線（放射線に関して保護者が感じる不安）</li> <li>e 経済（生活費や賠償問題など金銭面の問題）</li> </ul> <p><b>C.学校・近隣等の関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 学校・近隣等の関係（学校・近隣の対人関係により保護者が感じるストレス）</li> </ul> <p><b>D.環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 環境（環境変化によるストレス）</li> </ul> <p><b>E.その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a その他（その他分類困難な訴え）</li> </ul>
---

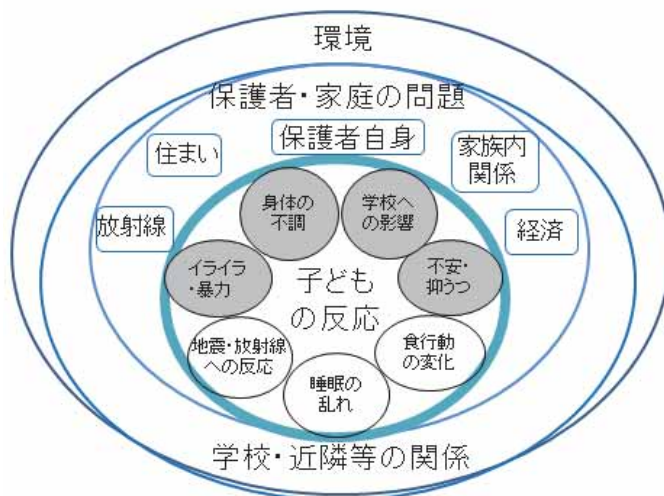


図3 対象者を取り巻く問題の概念図（子ども）

## まとめ

- ① 語られた問題は、A.子どもの反応、B.保護者・家庭の問題、C.学校・近隣等の関係、D.環境、E.その他にまとめられた。
- ② 特に多かったのはA.子どもの反応であり、その中で身体の不調、学校への影響、イライラ・暴力、不安・抑うつであった。

## 《一般》

表8 対象者を取り巻く問題（一般）

<p><b>A.自身の反応</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 睡眠の乱れ（睡眠に関する問題や訴え）</li><li>b 身体の不調（身体に現れた症状や問題）</li><li>c 抑うつ（気持ちの落ち込みなどの問題）</li><li>d 将来への不安（被災したことによる今後の仕事や生活を営む上での問題）</li><li>e 怒り・イライラ（怒りや衝動性に基づく行動や感情の問題）</li><li>f 避難生活への不安・不満（避難生活を営む上での問題や訴え）</li><li>g 喪失、悲しみ（被災したことにより家族友人などを失った悲しみに対する問題）</li><li>h 震災の恐怖（震災によって生じている、災害に対する精神的反応）</li><li>i 食行動の変化（食行動やそれに伴う体重変化に関する問題や訴え）</li><li>j 放射線、被ばくなどの不安（放射線の影響に対する不安）</li><li>k 運動不足（避難生活で今までのように動けないことによる問題）</li></ul> <p><b>B.家庭内の問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 住環境の変化（避難生活で変化した、住居に関する問題）</li><li>b 家族内関係（家族の状況や関係性の変化による問題）</li><li>c 収入・仕事（震災後生じた、仕事や収入に関する問題）</li><li>d 日常生活・習慣の変更（避難生活で変更を余儀なくされ、生じた問題）</li></ul> <p><b>C.社会生活における問題</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 近隣等の関係（近隣の人とのやりとりで生じている問題）</li><li>b 行政政策への不満・補償問題（事故後の対応についての不満や問題）</li><li>c 周囲の目・偏見（自分が避難者であることから生じた、周囲との問題）</li><li>d 保健・医療・福祉（それぞれの制度やサービスで生じた問題）</li></ul> <p><b>D.風土・文化</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 風土・文化（その地域独特の風習や気候、文化の違いから生じた問題）</li></ul> <p><b>E.その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>a その他（その地分類困難な訴えについて）</li></ul>
--

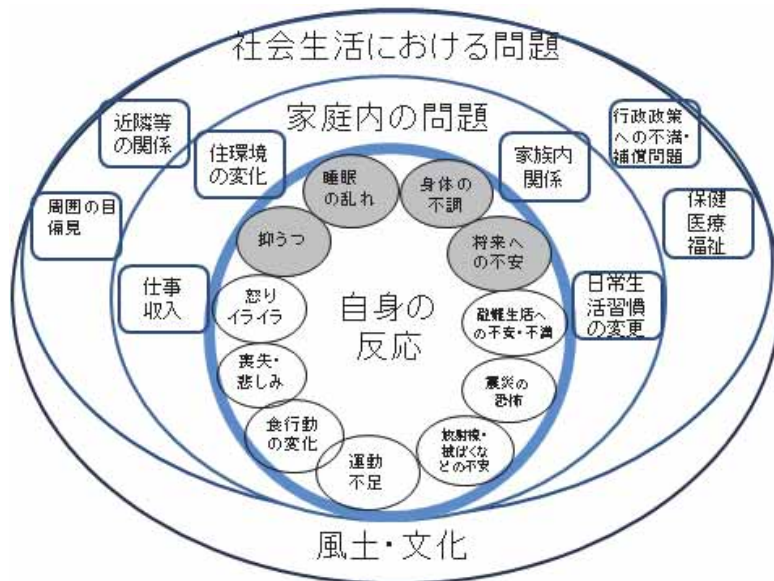


図4 対象者を取り巻く問題の概念図（一般）

まとめ

- ① 語られた問題は、A.自身の反応、B.家庭内の問題、C.社会生活における問題、D 風土・文化、E.その他にまとめられた。

特に多かったのはA.自身の反応であり、その中で睡眠の乱れ、身体の不調、抑うつ、将来への不安であった。

#### (4) 生活習慣に関するケア 結果

##### ① 要支援状況 (表1)

	全体
送付数	180,604
回収数 <sup>1)</sup>	73,569 ( 40.7 )
要支援者数	3,351 ( 4.6 )
男性	1,477 ( 44.1 )
女性	1,874 ( 55.9 )
支援済み	2,283 ( 68.1 )
県内	1,714 ( 75.1 )
県外	569 ( 24.9 )
TEL未支援 <sup>2)</sup>	1,068 ( 31.9 )

表中の値はn(%)

県内外は、H23年度調査票回収時の最新居住地

1)H24年10月31日暫定、重複も含む

2)TEL未支援は、TEL記載なしおよび留守等

生活習慣支援対象者は3,351名(4.6%)であった。要支援者3,351名のうち、男性は1,477名(44.1%)、女性は1,874名(55.9%)であった。

生活習慣要支援対象者のうち、電話番号の記載がなかった方や留守等の理由で電話支援ができなかった方1,068名(31.9%)を除く2,283名(68.1%)に電話支援を実施した。電話支援した方のうち、県内は、1,714名(75.1%)、県外が569名(24.9%)であった。

##### ② 支援済み要支援者状況 (表2)

支援済み要支援者の平均年齢は52.8歳であり、年代別は、60代が538名(23.6%)で、次いで50代が504名(22.1%)、40代が400名(17.6%)であった。10代は28名(1.2%)であった。

表2【生活習慣】 支援済み要支援者状況(県内外・年代別)

	全体 n=2,278 <sup>1)</sup>	県内 n=1,712	県外 n=566
年齢	52.8 ± 15.7	53.7 ± 15.8	50.1 ± 15.1
10代	28 ( 1.2 )	25 ( 1.5 )	3 ( 0.5 )
20代	140 ( 6.1 )	90 ( 5.3 )	50 ( 8.8 )
30代	357 ( 15.7 )	246 ( 14.4 )	111 ( 19.6 )
40代	400 ( 17.6 )	292 ( 17.1 )	108 ( 19.1 )
50代	504 ( 22.1 )	389 ( 22.7 )	115 ( 20.3 )
60代	538 ( 23.6 )	409 ( 23.9 )	129 ( 22.8 )
70代	214 ( 9.4 )	176 ( 10.3 )	38 ( 6.7 )
80代以上	97 ( 4.3 )	85 ( 5.0 )	12 ( 2.1 )

表中の値はn(%)もしくはmean±SD

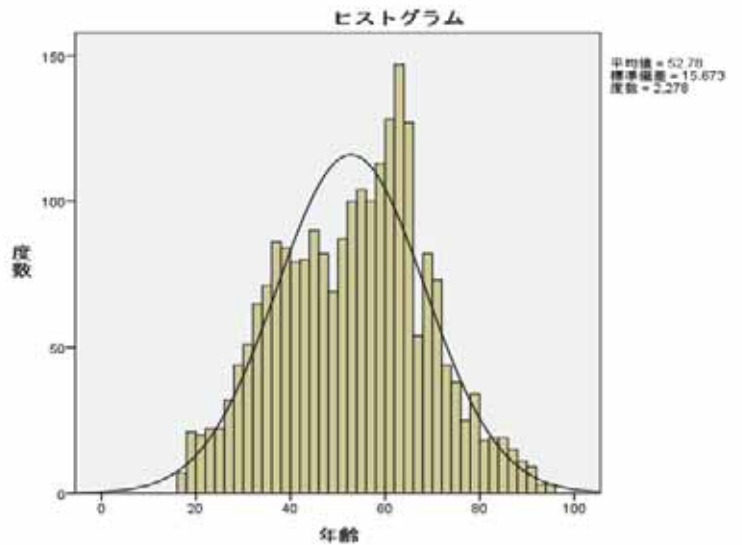
年代区分は、調査票記入時の実年齢

1)支援済みのうち、欠損5人を除く

### 支援済み(全体)

年齢

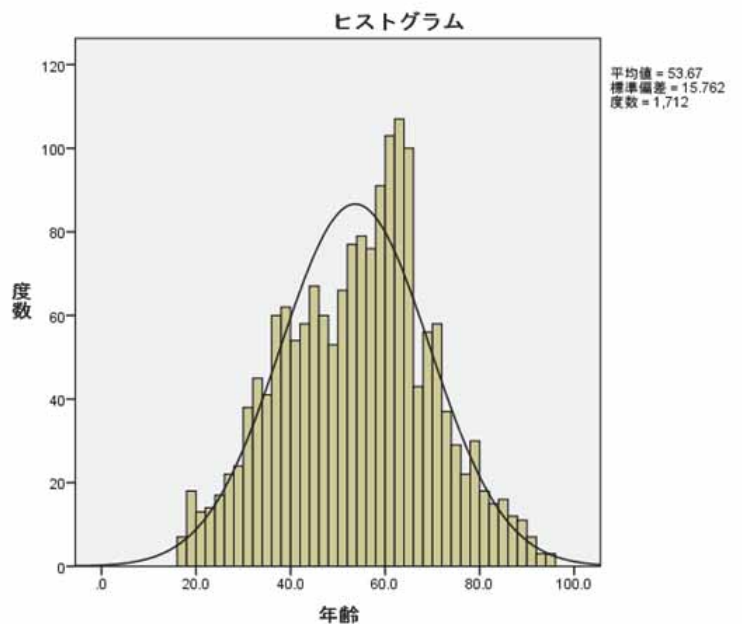
度数	有効	2278
	欠損値	5
平均値		52.8
中央値		54.0
最頻値		63.0
標準偏差		15.7
最小値		17
最大値		95



### 支援済み(県内)

年齢

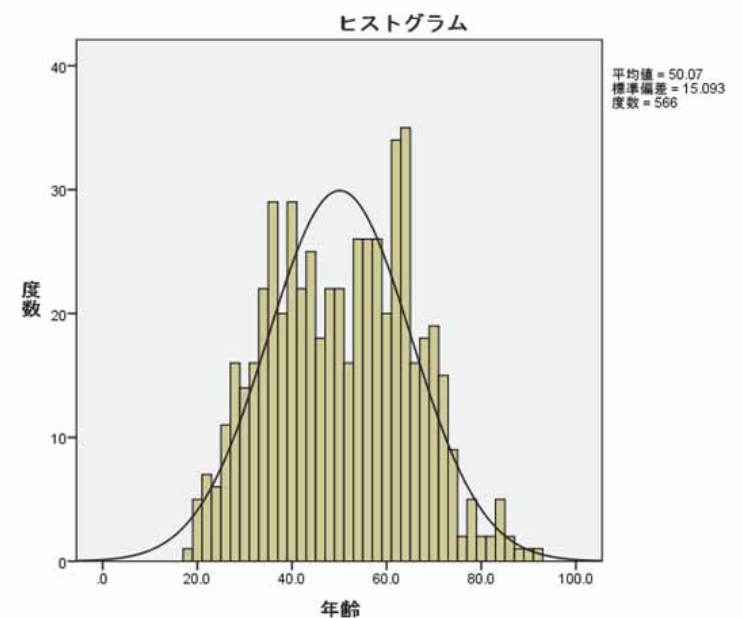
度数	有効	1712
	欠損値	2
平均値		53.7
中央値		55.0
最頻値		63.0
標準偏差		15.8
最小値		17
最大値		95



### 支援済み(県外)

年齢

度数	有効	566
	欠損値	3
平均値		50.1
中央値		50.0
最頻値		62.0
標準偏差		15.1
最小値		18
最大値		91





### ③ 支援済み要支援者結果（表3）

支援済み要支援者の電話支援の結果は、既に通院中または状況改善がみられた「解決」が1,575名（69.0%）、通院または状況改善がみられず、受診勧奨・保健相談などを実施した「相談・紹介」が672名（29.4%）、再度、電話支援が必要または地域の保健師につなぐ必要がある「要支援」が36名（1.6%）であった。

表3 【生活習慣】 支援済み要支援者結果(県内外別) n=2,283

	全体	県内	県外
	n=2,283	n=1,714	n=569
支援済み結果			
解決 <sup>1)</sup>	1,575 ( 69.0 )	1,231 ( 71.8 )	344 ( 60.5 )
相談・紹介 <sup>2)</sup>	672 ( 29.4 )	457 ( 26.7 )	215 ( 37.8 )
要支援 <sup>3)</sup>	36 ( 1.6 )	26 ( 1.5 )	10 ( 1.8 )

表中の値はn(%)

1) 通院中または状況改善

2) 受診勧奨・保健相談・保健師などの相談紹介

3) 再度、電話支援が必要または地域の保健師につなぐ必要あり

### ④ 電話支援状況（表4）

「支援基準該当あり」のうち、睡眠は1,058名（46.3%）、喫煙・飲酒は98名（4.3%）であった。また、喫煙・飲酒の受診勧奨・保健相談数は60名（61.2%）であった。

表4 【生活習慣】 支援済み要支援者の電話支援状況 n=2,283

	支援基準 該当なし	支援基準 該当あり	【支援基準該当あり内訳】	
			TEL前 解決済 <sup>1)</sup>	受診勧奨・ 保健相談 <sup>2)</sup>
高血圧	1,344 ( 58.9 )	939 ( 41.1 )	637 ( 67.8 )	302 ( 32.2 )
糖尿病	2,038 ( 89.3 )	245 ( 10.7 )	157 ( 64.1 )	88 ( 35.9 )
精神疾患	1,650 ( 72.3 )	633 ( 27.7 )	557 ( 88.0 )	76 ( 12.0 )
自覚症状	1,799 ( 78.8 )	484 ( 21.2 )	343 ( 70.9 )	141 ( 29.1 )
睡眠	1,225 ( 53.7 )	1,058 ( 46.3 )	782 ( 73.9 )	276 ( 26.1 )
喫煙・飲酒	2,185 ( 95.7 )	98 ( 4.3 )	38 ( 38.8 )	60 ( 61.2 )

表中の値はn(%)

1) 電話支援の連絡をするが、電話支援前に解決済み

2) 電話支援前は未解決のため、受診勧奨・保健相談をする

## 「妊産婦に関する調査」の実施状況について

## 1. 目的

妊産婦の皆様のからだやこころの健康度を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、現状や意見・要望等を的確に把握し、今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくことを目的に実施する。

## 2. 対象者

## 平成 24 年度調査

○平成 23 年 8 月 1 日から平成 24 年 7 月 31 日までに、県内各市町村において母子健康手帳を交付された方

○県外市区町村から母子健康手帳を交付された方のうち、県内で妊婦健診を受けた方や分娩した方（いわゆる里帰りをした方）

## 平成 23 年度調査

○平成 22 年 8 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日までに、県内各市町村において母子健康手帳を交付された方

○県外市区町村から母子健康手帳を交付された方のうち、県内に転入または滞在して 3 月 11 日以降に県内で妊婦健診を受けた方や分娩した方（いわゆる里帰りをした方）

## 3. 実施状況（平成 25 年 4 月 30 日現在）

## (1) 回答状況

平成 24 年度調査： 発送数 14,493 件、回答数 6,794 件（回答率 46.9%）

なお、平成 24 年度調査は、新生児の 1 ヶ月健診の結果を記入した後に回答の返送をお願いしている。

平成 23 年度調査： 発送数 16,001 件、回答数 9,316 件（回答率 58.2%）

## (2) 支援状況

回答内容から支援が必要と思われる方に対し、健康状況や育児状況等の不安に関して助産師・保健師等による電話支援を行っている。また、メールによる支援体制を整え相談に応じている。

## ① 電話支援

## 平成 24 年度調査

要支援者件数 1,041 件（要支援者率：15.3%）

支援終了件数 1,037 件

## 主な相談内容

（延べ件数（%））

母親の心身の状態に関すること	339 (32.7%)
子育て関連（生活）のこと	273 (26.3%)
放射線の影響や心配に関すること	244 (23.5%)
子どもの心身の健康に関すること	137 (13.2%)
家庭生活に関すること	112 (10.8%)
避難生活に関すること	20 (1.9%)
調査に関すること	12 (1.2%)
検査・健診に関すること	7 (0.7%)
その他	327 (31.5%)

## 平成 23 年度調査

要支援者件数 1,401 件（要支援者率：15.0%）

支援終了件数 1,401 件

## 主な相談内容

（延べ件数（%））

放射線の影響や心配に関すること	409 (29.2%)
母親の心身の状態に関すること	283 (20.2%)
子育て関連（生活）のこと	196 (14.0%)
子どもの心身の健康に関すること	147 (10.5%)
避難生活に関すること	130 (9.3%)
家庭生活に関すること	69 (4.9%)
その他	509 (36.3%)



② メール支援

平成 24 年度調査 メール相談件数 6 件

相談内容

育児相談	5
苦情	1

平成 23 年度調査 メール相談件数 13 件

相談内容 (延べ件数)

放射線の影響について	7
母乳検査について	4
尿検査について	1
児の異常	1
その他	3

③ その他

対象者全員に対し、心の健康の維持や放射線について分かりやすく解説した「お子さんと保護者のための心と身体の健康サポートブック」（福島県児童家庭課発行）を送付した。

(3) 自由記載欄の状況(重複あり)

平成 24 年度調査 自由記載欄に書かれた主な内容

(平成 25 年 4 月 30 日現在データエントリ終了 6,473 件中、自由記載があったもの 1,369 件)

胎児・子どもへの放射線の影響について	359 (26.2%)
放射線についての情報発信や調査結果の公表への要望について	176 (12.9%)
離乳食・食物への放射線の影響について	133 (9.7%)
外出・外遊びでの放射線の心配	107 (7.8%)
水への放射線の影響についての心配	105 (7.7%)
身体的不調	76 (5.6%)
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	58 (4.2%)
家族離散・避難に対する不安や不満	58 (4.2%)
県民健康管理調査への要望	53 (3.9%)
健診・検診への要望	53 (3.9%)
母乳・ミルクへの放射線の影響について	51 (3.7%)
育児相談	50 (3.7%)

平成 23 年度調査 自由記載欄に書かれた主な内容

(平成 25 年 3 月 31 日までの有効回答 8,812 件中、自由記載があったもの 3,722 件)

胎児・子どもへの放射線の影響について	1,102 (29.6%)
放射線についての情報発信や調査結果の公表への要望について	725 (19.5%)
母乳・ミルクへの放射線の影響について	668 (17.9%)
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	542 (14.6%)
家族離散・避難に対する不安や不満	506 (13.6%)
離乳食・食物への放射線の影響について	476 (12.8%)
水への放射線の影響についての心配	441 (11.8%)
母乳検査の要望	425 (11.4%)
外出・外遊びでの放射線の心配	382 (10.3%)
経済的支援の要望	363 (9.8%)
医療サービスの不足への不安や不満	348 (9.3%)
内部被ばく(ホールボディカウンタ等)検査の要望	305 (8.2%)

(4) 平成 24 年度調査より新たに加わった主な項目

- ◆ 次回妊娠・出産をお考えですか? 有効回答数 n=6,372 人(無回答 101 人)
  - ・ はい 3,423 人(53.7%)
  - ・ いいえ 2,935 人(46.1%)
  - ・ どちらともいえない 14 人(0.2%)

- ◆ 上記質問で「はい」と答えられた方について、  
 次回の妊娠・出産に関することであつたらよいと思つているサービスはどれですか？  
 （複数回答あり）
  - ・ 育児や小児医療に関する情報やサービス 2,348人(68.6%)
  - ・ 保育所・延長保育・病児保育などの拡充 2,205人(64.4%)
  - ・ 放射線と健康リスクに関する情報 2,028人(59.2%)
  - ・ 産休・育児休暇などの充実 1,710人(50.0%)
  - ・ その他 328人(9.6%)
- ◆ 上記質問で「いいえ」と答えられた方について、  
 その理由はどれに当てはまりますか？（複数回答あり）
  - ・ 希望していない 1,365人(46.5%)
  - ・ 今いる子どもに手がかかるため 1,033人(35.2%)
  - ・ 年齢や健康上の理由のため 871人(29.7%)
  - ・ 収入が不安定なため 703人(24.0%)
  - ・ 放射線の影響が心配なため 429人(14.6%)
  - ・ 家事・育児の協力者がいないため 269人(9.2%)
  - ・ 保育所など子どもの預け先がないため 206人(7.0%)
  - ・ 避難生活をしているため 74人(2.5%)
  - ・ 家族と離れて生活しているため 72人(2.5%)
  - ・ その他 432人(14.7%)

#### 4. 調査の評価等について

- ・ 回答状況では、平成23年度の58.2%に比べ、平成24年度は46.9%と10%程度減少している。なお、平成24年度は調査票受け取り直後の回答ではなく、1カ月健診終了後の回答をお願いしていることもあるが、今後も福島県産婦人科医会・学会等と連携して回答率の向上を図っていく。
- ・ 支援状況では、要支援率が平成23年度は15.0%、平成24年度は15.3%とほぼ同様であるが、主な相談内容は、「母親の体調や子育てに関すること」、「家庭生活に関すること」が多くなってきている。放射線に関することは少なくはなつてきているが、23.5%と未だ高率であり、今後も放射線に関する情報発信は重要である。
- ・ 自由記載欄の内容では、平成24年は記載件数は減少しているが、未だ「胎児・子どもへの放射線の影響について」、「放射線についての情報発信や調査結果の公表への要望について」が上位を占め、今後も継続した情報発信は重要である。一方、「母乳検査の要望」は県の無料検査実施の効果もあり、425件から17件へ激減している。
- ・ 平成24年度調査より新たに加わつた項目として、「次回妊娠・出産をお考えですか？」を設けたが、53.7%の方が「はい」と答えている。「はい」と答えられた方の中で、希望されるサービスとして、「育児や小児医療に関する情報やサービス」、「保育所・延長保育・病児保育などの拡充」、「産休・育児休暇などの充実」といった一般的な要望とともに、未だ「放射線と健康リスクに関する情報」を希望されている方が59.2%もいる。現在、「お子さんと保護者のための心と身体健康サポートブック」や電話支援を通じて情報提供は行つているものの、今後も継続した支援が必要である。また、「いいえ」と答えられた理由のうち最も多かつたものは「希望していない」46.5%であつたが、「放射線影響が心配なため」を挙げられた方が14.6%おり、この心配を取り除き福島で産み育てていただける環境づくりが重要である。
- ・ 平成23年度の集計をみると、県内各地域で若干の差は認めるものの、全国平均と比べ早産率は高くなかつた。また、単胎出生児の先天奇形・異常の発生率は全県で2.7%であり、一般的な出生児の先天奇形・異常の発見率3-5%と同様であつた。先天奇形・異常の中で最も高かつたものは「心臓奇形」0.86%であつたが、これは心臓奇形の自然発生率約1%と変わらなかつた。

## 5. 平成 25 年度実施計画（案）

### 対象者

○平成 24 年 8 月 1 日から平成 25 年 7 月 31 日までに、福島県各市町村の母子健康手帳を交付された方

○福島県外の市区町村から母子健康手帳を交付された方でも、福島県内で妊婦健診を受けた方や分娩した方（いわゆる里帰りをした方）

### 調査手法及び時期

質問紙による調査を行い、平成 25 年 10 月下旬の実施を予定

### 主な調査事項

- ・ 母親の妊娠分娩経過
- ・ 妊産婦の心理健康状態
- ・ 次回妊娠に対する意識
- ・ 避難生活、家族離散の状況
- ・ 育児上の不安や課題
- ・ 今後、福島県で産み育てていくことへの意見・要望  
（自由記載）

### 調査時とその後の対応

- ・ 調査票送付時に心の健康を保つことや放射線について分かりやすく解説した「心と身体の健康サポートブック（福島県児童家庭課発行）」を同封する。
- ・ うつ項目や育児などに関して支援が必要と判断される方に対し、保健師・助産師等が電話相談を行うとともに、メールを通じた相談に応じる。

### 【参考資料】

#### 平成 24 年度調査（4/30 現在）

地域	送付数	回答数	回答率	要支援者数	要支援率
県北	3,347	1,753	52.4%	264	15.1%
県中	4,243	1,975	46.5%	319	16.2%
県南	1,164	531	45.6%	69	13.0%
会津	1,844	756	41.0%	121	16.0%
南会津	157	77	49.0%	9	11.7%
相双	1,145	488	42.6%	92	18.9%
いわき	2,501	1,122	44.9%	159	14.2%
県外	92	92	100.0%	8	8.7%
合計	14,493	6,794	46.9%	1,041	15.3%

#### 平成 23 年度調査

地域	送付数	回答数	回答率	要支援者数	要支援率
県北	3,647	2,288	62.7%	349	15.3%
県中	4,819	2,857	59.3%	411	14.4%
県南	1,256	631	50.2%	98	15.5%
会津	1,919	957	49.9%	109	11.4%
南会津	152	85	55.9%	2	2.4%
相双	1,468	962	65.5%	207	21.5%
いわき	2,711	1,513	55.8%	219	14.5%
県外	29	23	79.3%	6	26.1%
合計	16,001	9,316	58.2%	1,401	15.0%